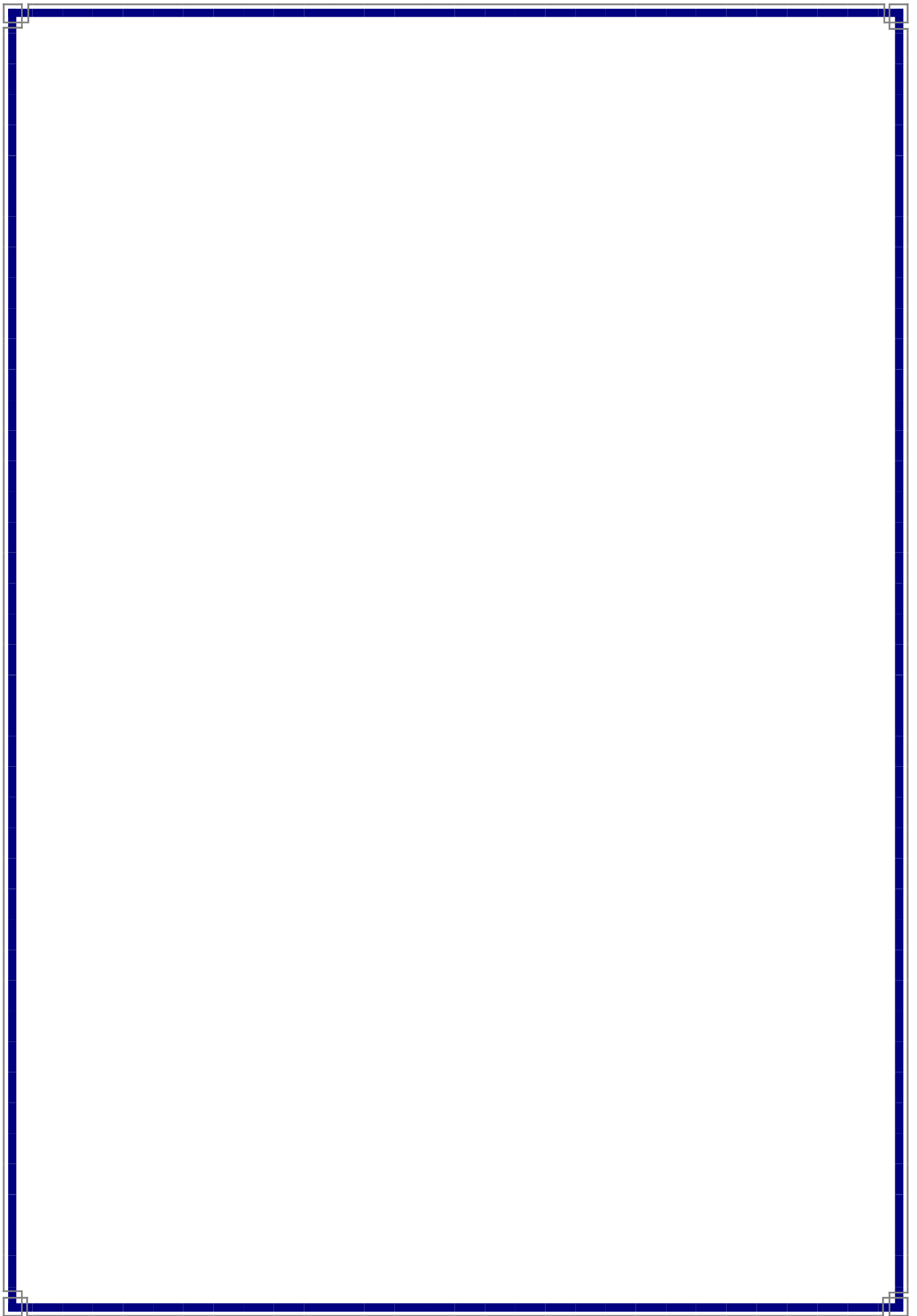


【資料1】

泉佐野市ひと・まち・しごと創生
市民アンケート調査 結果報告書

平成27年8月



目 次

1. 市民アンケート調査.....	2
①配布数・回答数・回収率.....	2
②回答者の属性について.....	2
③設問別集計結果報告.....	6
2. 高校生世代アンケート調査.....	28
①配布数・回答数・回収率.....	28
②回答者の属性について.....	28
③設問別集計結果報告.....	31
3. 事業所アンケート調査.....	37
①配布数・回答数・回収率.....	37
②回答者の属性について.....	37
③設問別集計結果報告.....	39
4-1. 転出者アンケート調査.....	57
①配布数・回答数・回収率.....	57
②回答者の属性について.....	57
③設問別集計結果報告.....	59
4-2. 転入者アンケート調査.....	64
①配布数・回答数・回収率.....	64
②回答者の属性について.....	64
③設問別集計結果報告.....	66
5. 中学生アンケート調査.....	71
①配布数・回答数・回収率.....	71
②回答者の属性について.....	71
③設問別集計結果報告.....	73

<アンケート調査について>

■調査の種類と概要

調査の種類	概要
1. 市民アンケート調査	【対象】泉佐野市にお住まいの18歳以上の人から無作為に抽出した3,000人
2. 高校生世代アンケート調査	【対象】泉佐野市にお住まいの15歳以上18歳以下の人から無作為に抽出した500人
3. 事業所アンケート調査	【対象】泉佐野市内の企業から無作為に抽出した1,000社
4-1. 転出者アンケート調査	【対象】泉佐野市からの18歳以上の転出者から約300人
4-2. 転出者・転入者アンケート調査	【対象】泉佐野市への18歳以上の転入者から約300人
5. 中学生アンケート調査	【対象】泉佐野市内の中学生約970人

■調査票配布 平成27年 6月上旬随時

■回答の期限 平成27年 6月30日

(注記)

- ・回答結果の構成比は、回答数に対してそれぞれの占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または、回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表のn値(number of case)は、有効回収数(集計対象者総)を表しています。

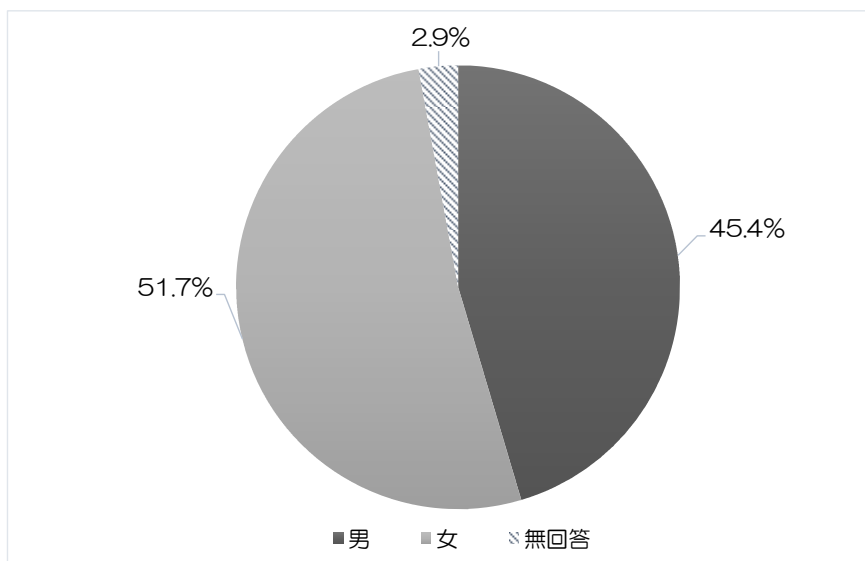
1. 市民アンケート調査

①配布数・回答数・回収率

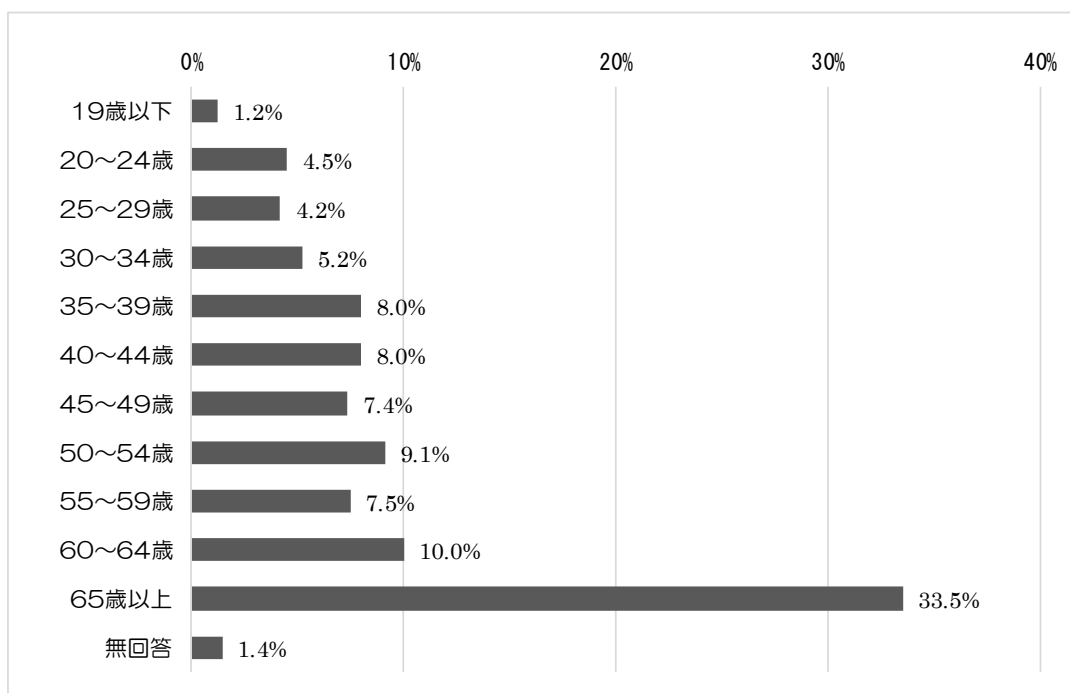
- 配布数 3,000件
- 回答数 978件
- 回収率 32.6%

②回答者の属性について

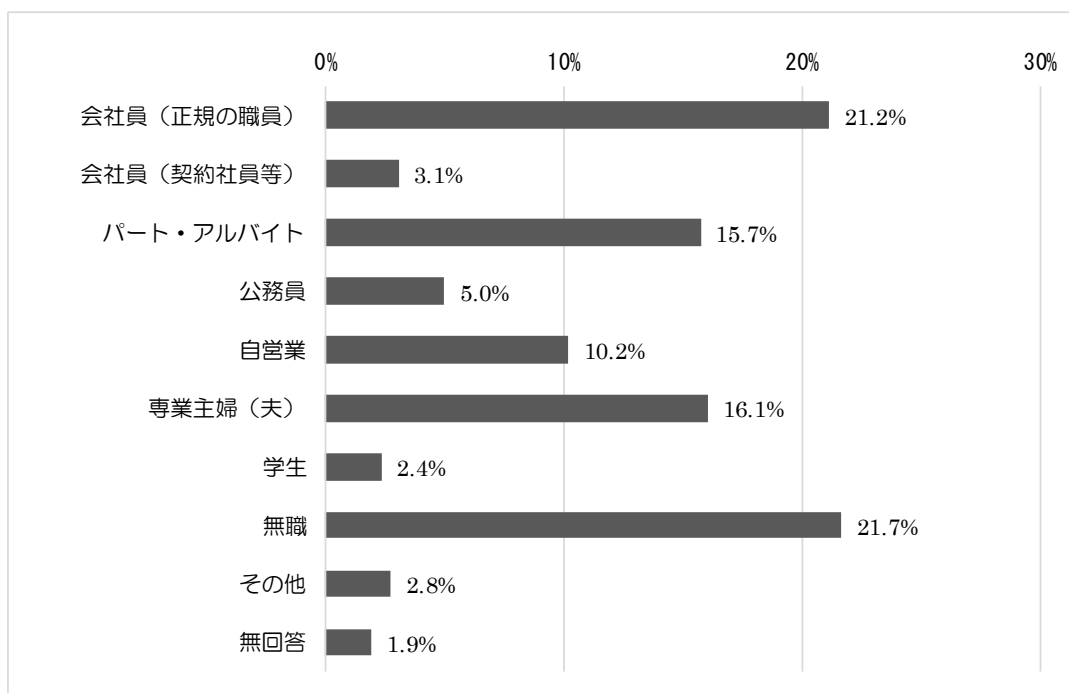
(1) 性別 (n=978)



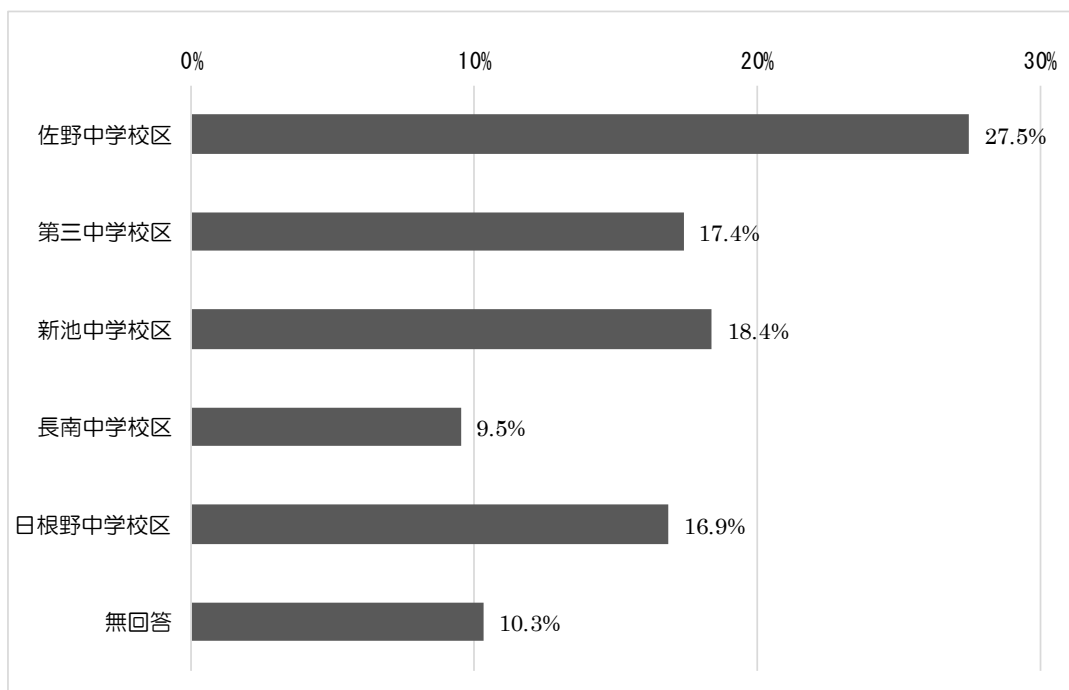
(2) 年齢別 (n=978)



(3) 職業別 (n = 978)

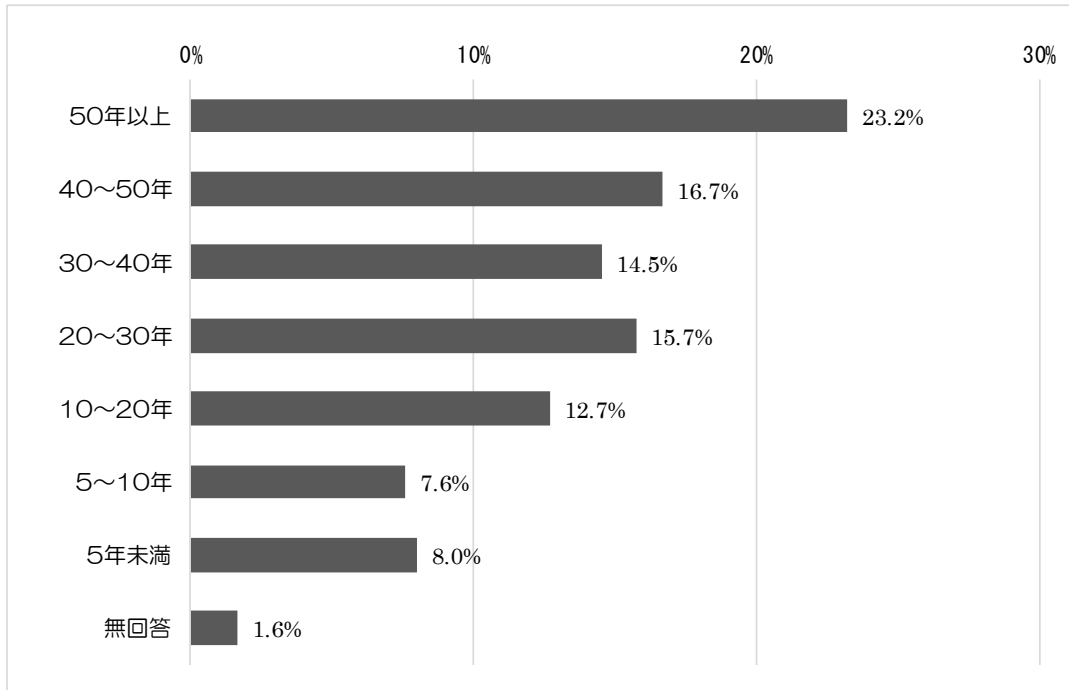


(4) 居住区別 (n = 978)

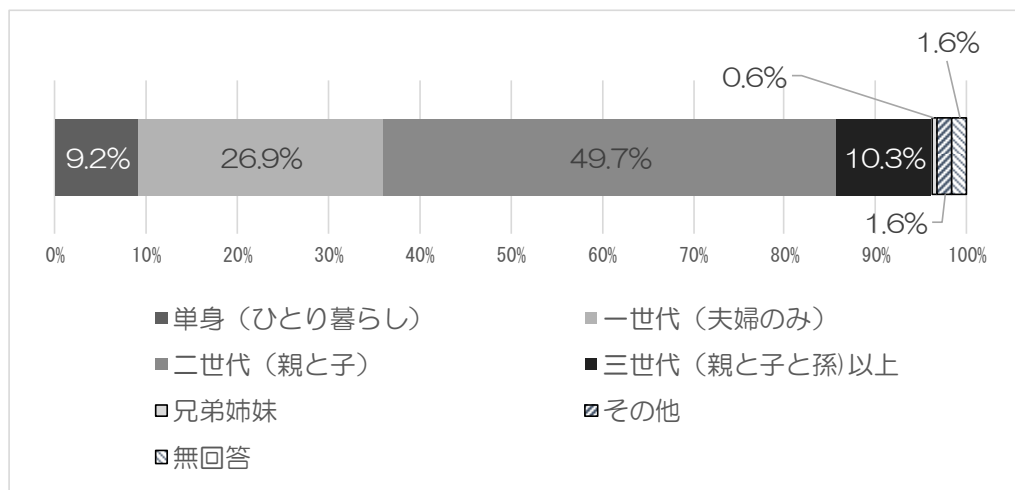


(5) 家族構成等について

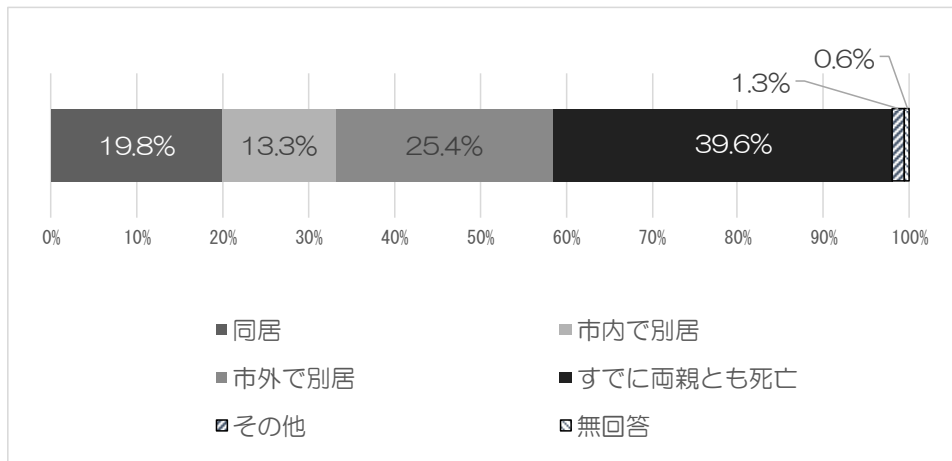
i) 泉佐野市の居住年数 (n=978)



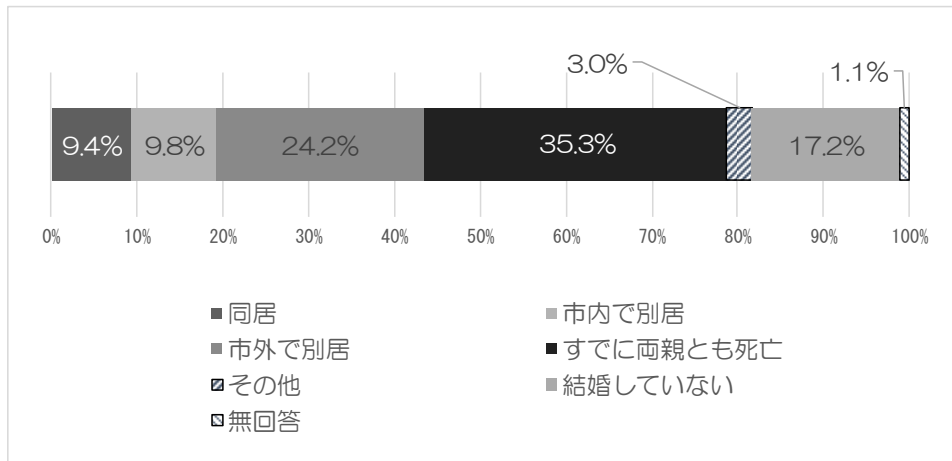
ii) 家族構成 (世帯構成) (n=978)



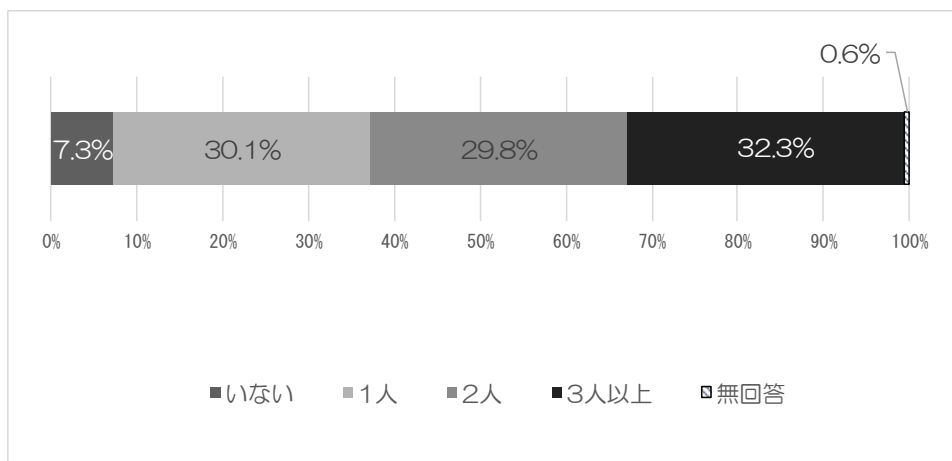
iii) 親との同居等 (n=978)



iv) 配偶者の親の状況等 (n=978)



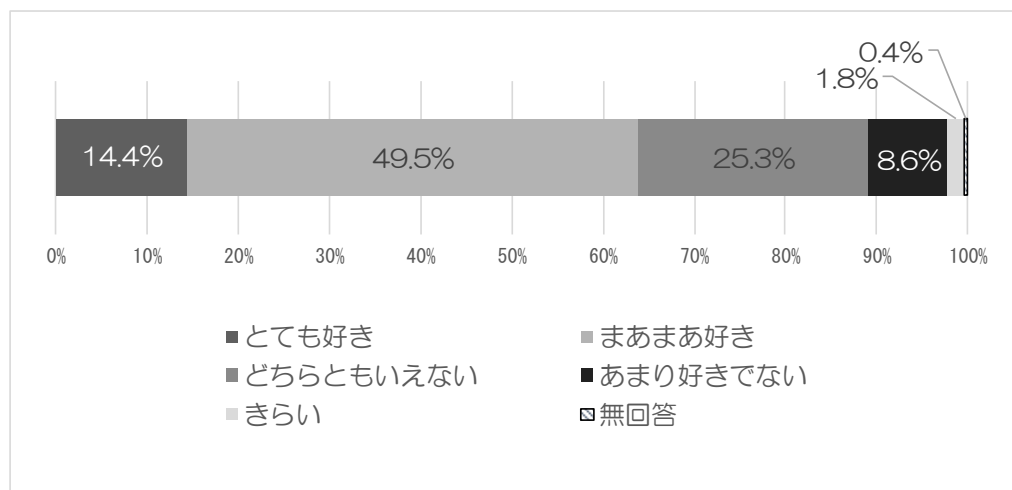
v) 兄弟・姉妹 (n=978)



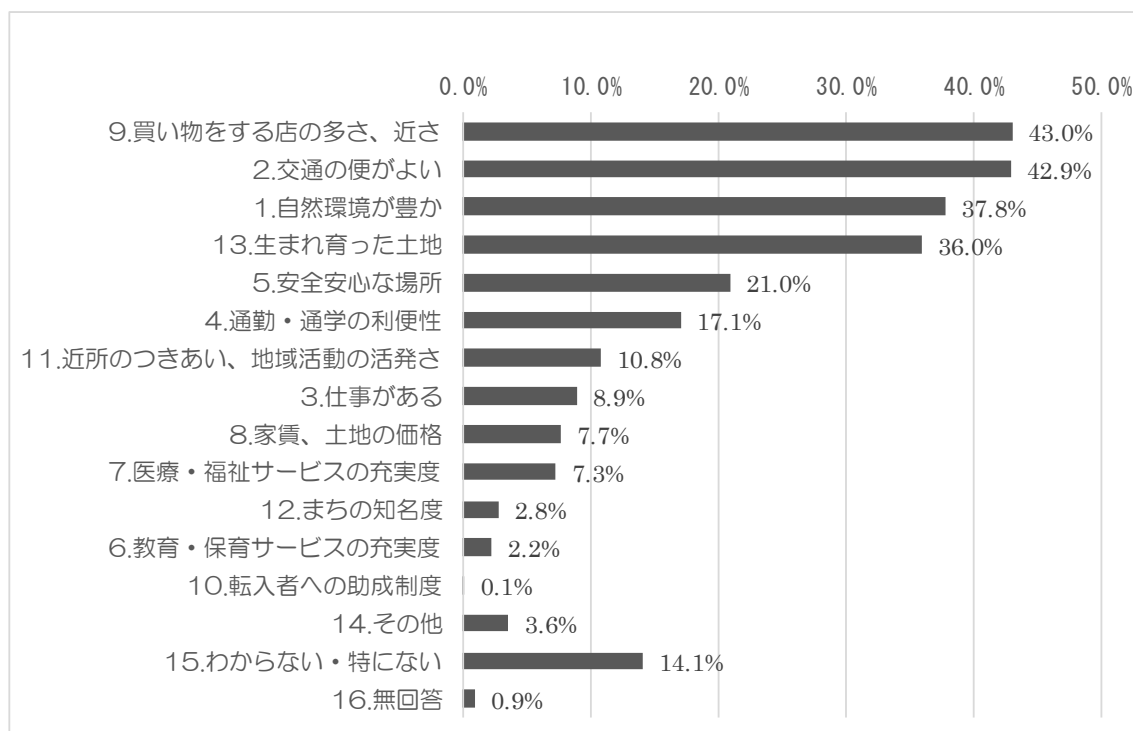
③設問別集計結果報告

(1) 住みやすさについて

問 10. 『あなたは、泉佐野市のことが好きですか。』 (n = 978)



問 11.『泉佐野市が住みやすいと感じる点はどういった点ですか。』（複数回答可）（n = 978）



<住みやすさに関する市内の居住地別の比較>

住みやすさを感じる点について、泉佐野市内の居住地区間で違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

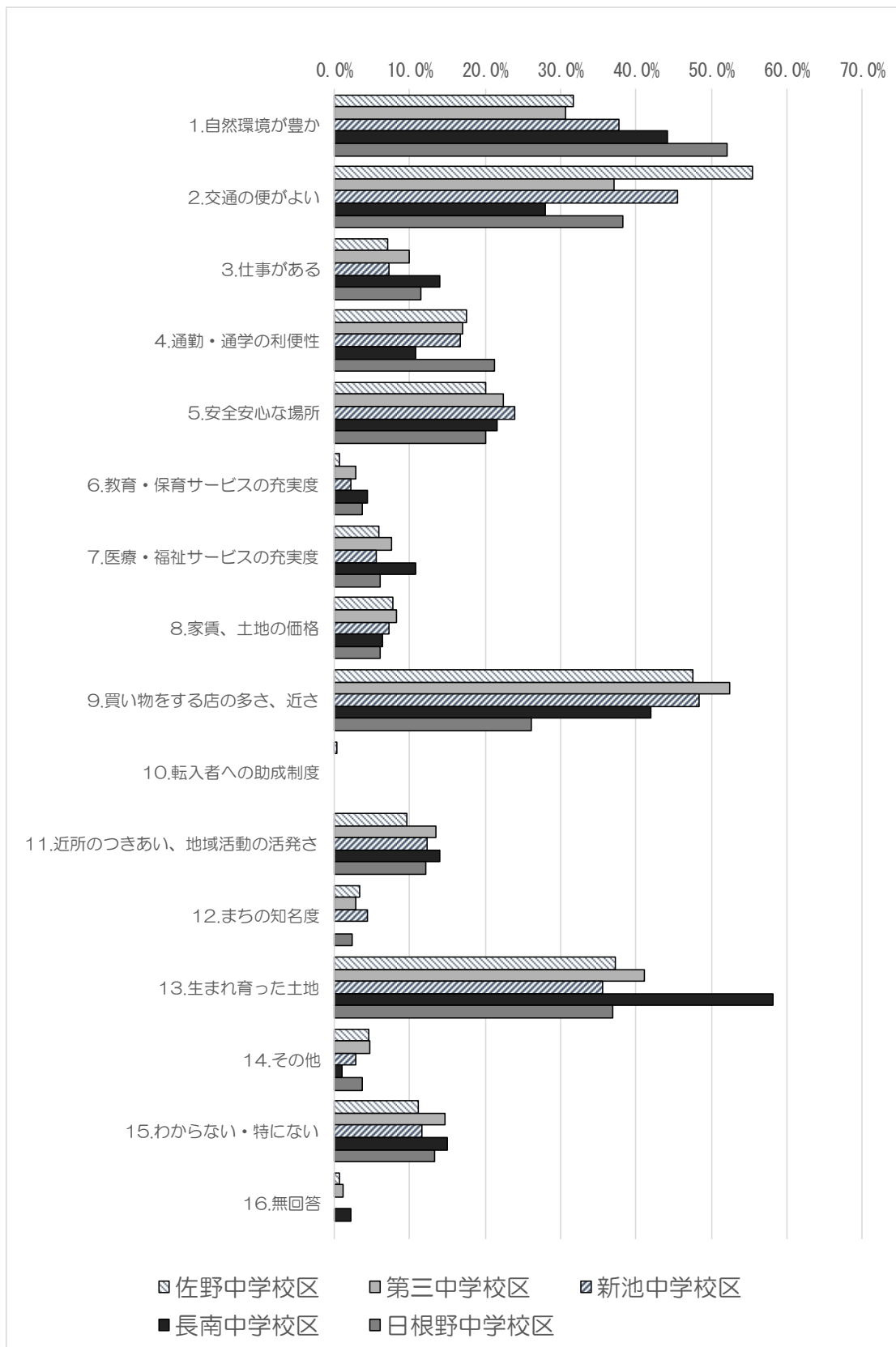
（参照：次ページ「【参考】問 11.居住区別クロス集計」）

問 11 で最も回答が多かった「9.買い物をする店の多さ、近さ」については、第三、佐野、新池中学校区が多く、逆に日根野中学校区は少なく、他地区の半分程度となっています。このことから、日根野中学校区の方は「買い物をする店が多い、近い」といった住みやすさをあまり感じていないと推察されます。

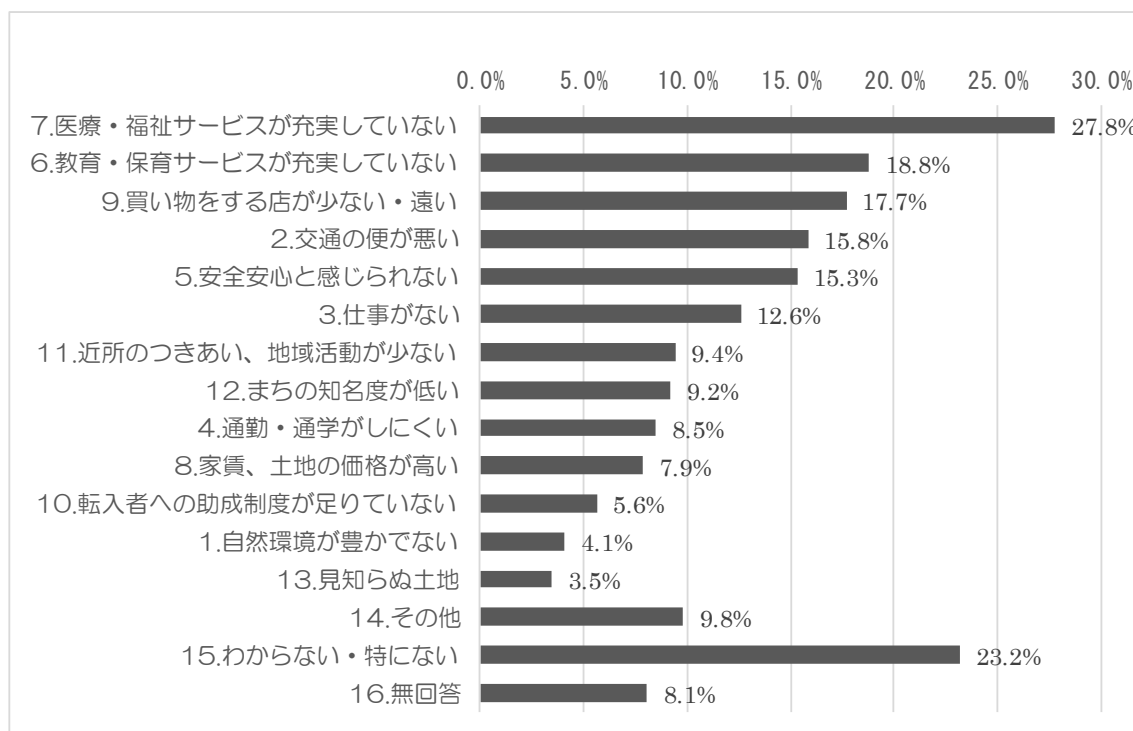
また、次点の「2.交通の便がよい」については、長南中学校区が最も少ない結果となっています。一方、日根野中学校区は、交通の便については得票数を伸ばし、中間順位となっています。

第 3 位の「1.自然環境が豊か」については、日根野、長南中学校区が多く、「9.買い物をする店の多さ、近さ」と逆相関の関係が見られます。

【参考】問 11. 居住区別クロス集計 (n=978)



問 12.『泉佐野市が住みにくいと感じる点はどういった点ですか。』（複数回答可）（n = 978）



<住みにくさに関する市内の居住地別の比較>

住みやすさを感じる点と同様に、泉佐野市内の居住地区間で違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

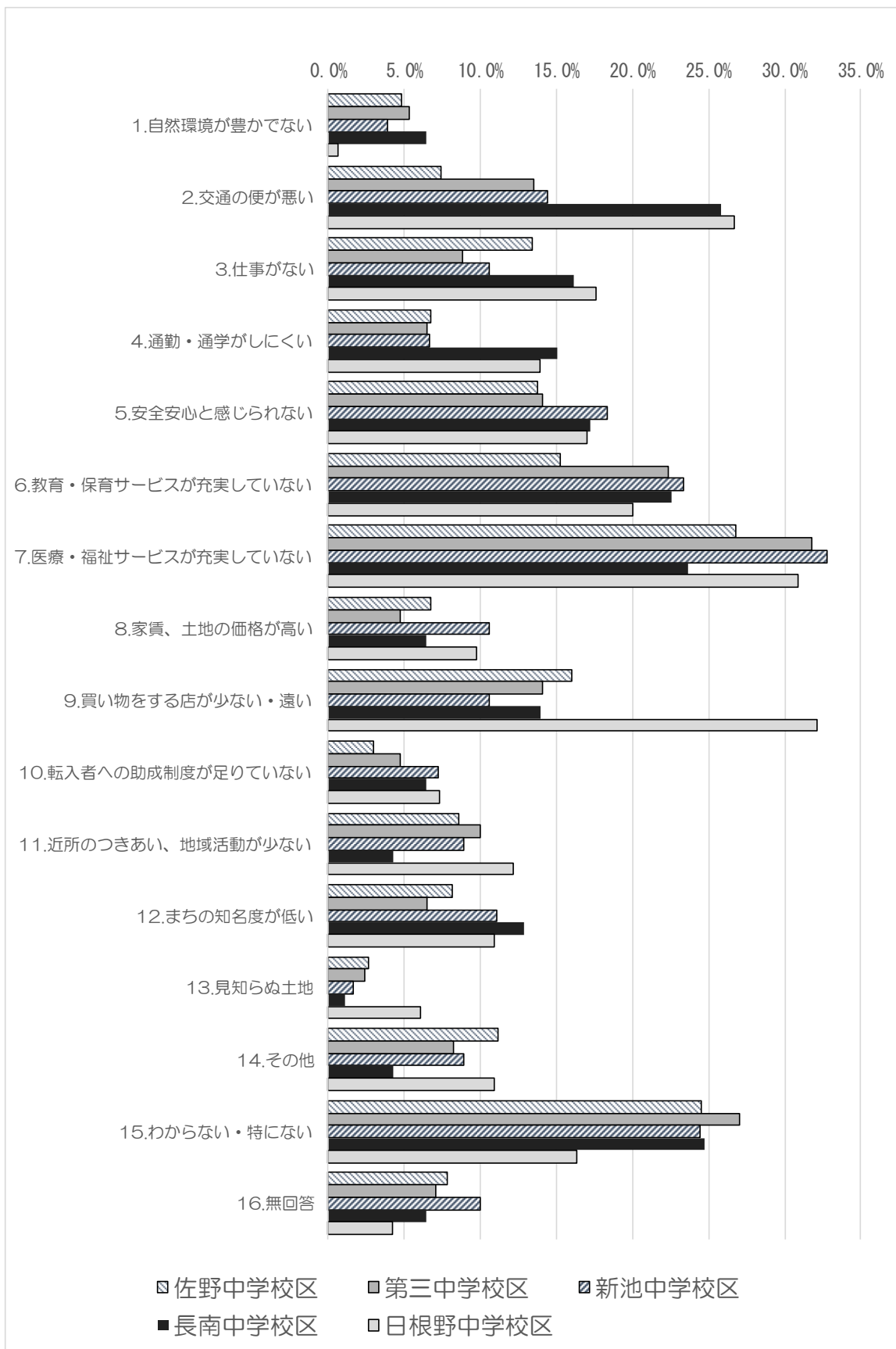
（参照：次ページ「【参考】問 12.居住区別クロス集計」）

問 12 で最も回答が多かった「7.医療・福祉サービスが充実していない」については、新池、第三、佐野中学校区が多い結果となっています。

「6.教育・保育サービスが充実していない」については、佐野中学校区は他地区より少なく、「9.買い物をする店が少ない・遠い」については、日根野中学校区がダントツで多い結果となっています。

その他、居住地区間で差が顕著なのは、「2.交通の便が悪い」及び「4.通勤通学がしにくい」で長南と日根野地区が多く、何らかのアクセスの改善策を講じる必要性が高いと推察されます。

【参考】問 12. 居住区別クロス集計 (n=978)



問 12-1. 『具体的なサービス内容をご記入ください。』

(問 12 で「6」、「7」を選んだ方)

<主な回答>

◆充実していない教育・保育サービスについて

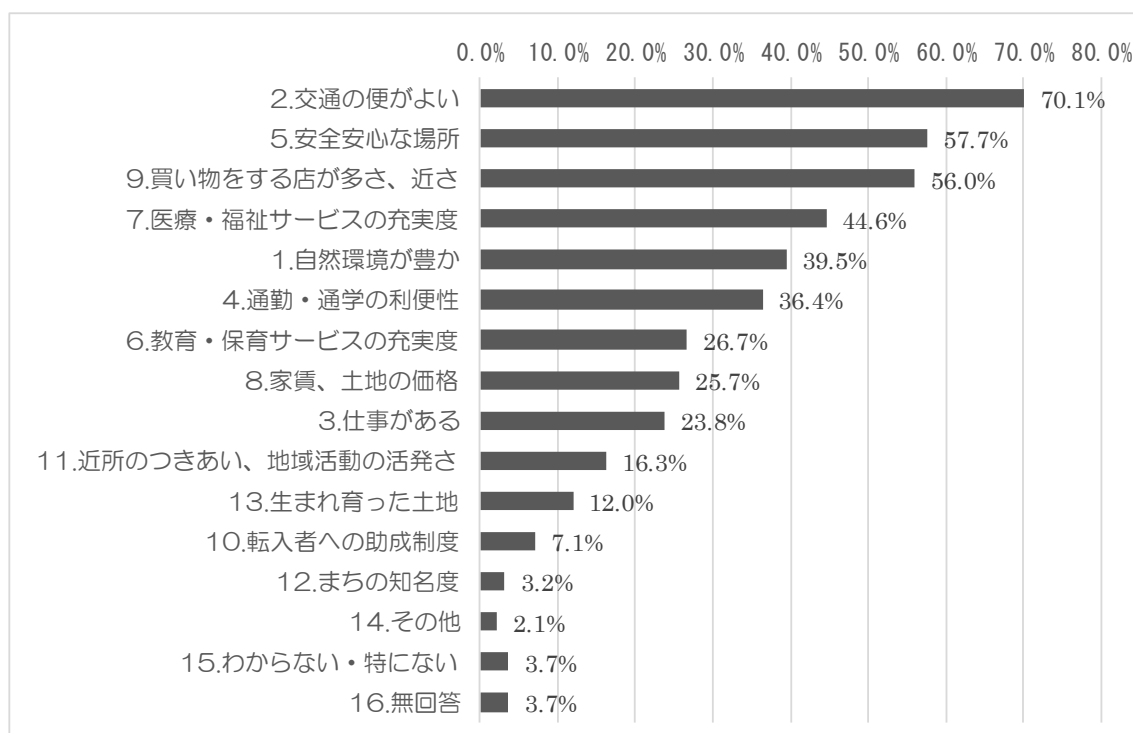
- ①義務教育の間は医療費を無料にして欲しい。
- ②大阪南部は北部に比べ教育（学力）が低い。
- ③学童保育を6年生まで引き上げてほしい。
- ④病児保育設備がない。延長保育の時間が短い。
- ⑤未就園児の一時保育制度がない。

◆充実していない医療・福祉サービスについて

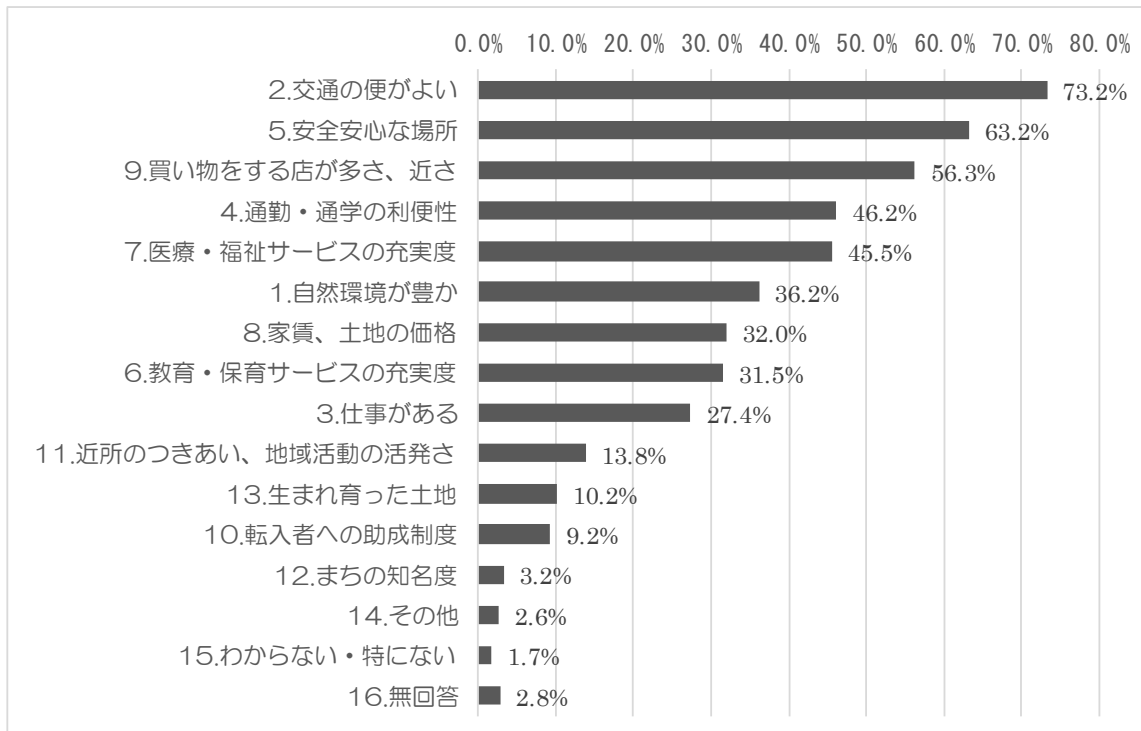
- ①こども医療費助成の対象年齢が低い。
- ②夜間、休日診療をしてもらえるところが少ない。

問 13. 『あなたが、住む場所を検討する際に、重視する点は何ですか。』（複数回答可）

(n = 978)



【参考】問 13. 老年人口（65 歳以上）を除いた集計 （n = 650）



※ この結果から、問 13 については、65 歳以上の回答者が多いことの影響は、あまりないと思われます。

問 13-1. 『具体的なサービス内容をご記入ください。』

<主な回答>

◆教育・保育サービスの充実度

①学習塾に使う場合の月謝を一部補助して欲しい。

◆医療・福祉サービスの充実度

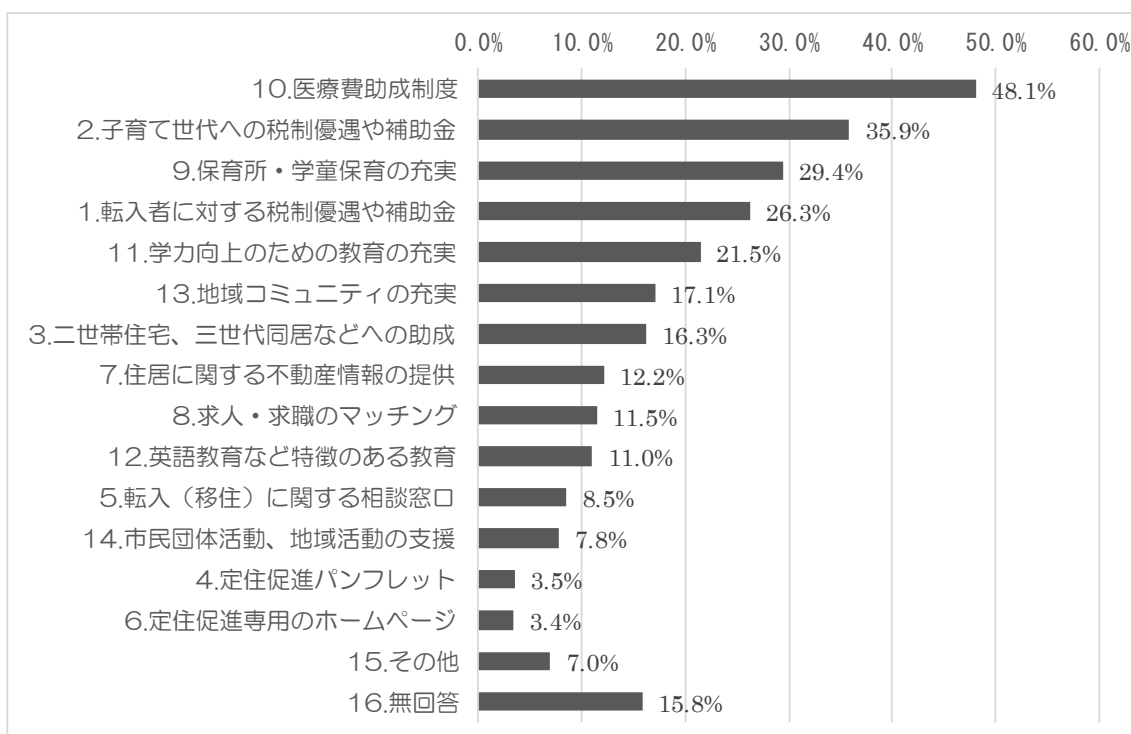
①病院通い等の送迎や、その無料化など。

②休日、夜間診療をしてもらえる医療機関数。

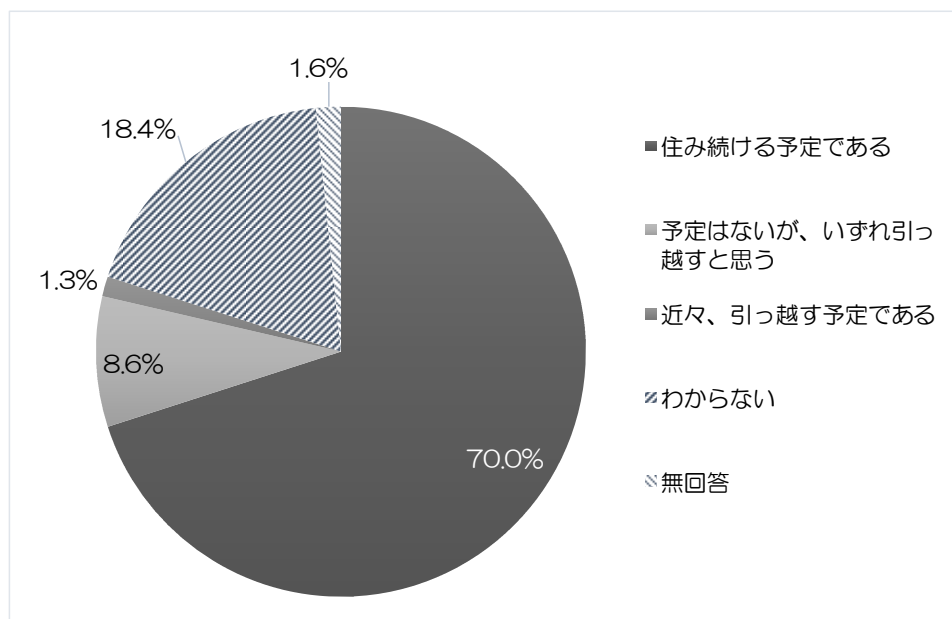
③車などがなくても病院に通院しやすいようなサービスがあると嬉しい。

④高齢者を含めて「未病」にするための施策がないように思う。

問 14. 『あなたが、住む場所を決めたり、住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービスは何ですか。』（複数回答可）（n = 978）

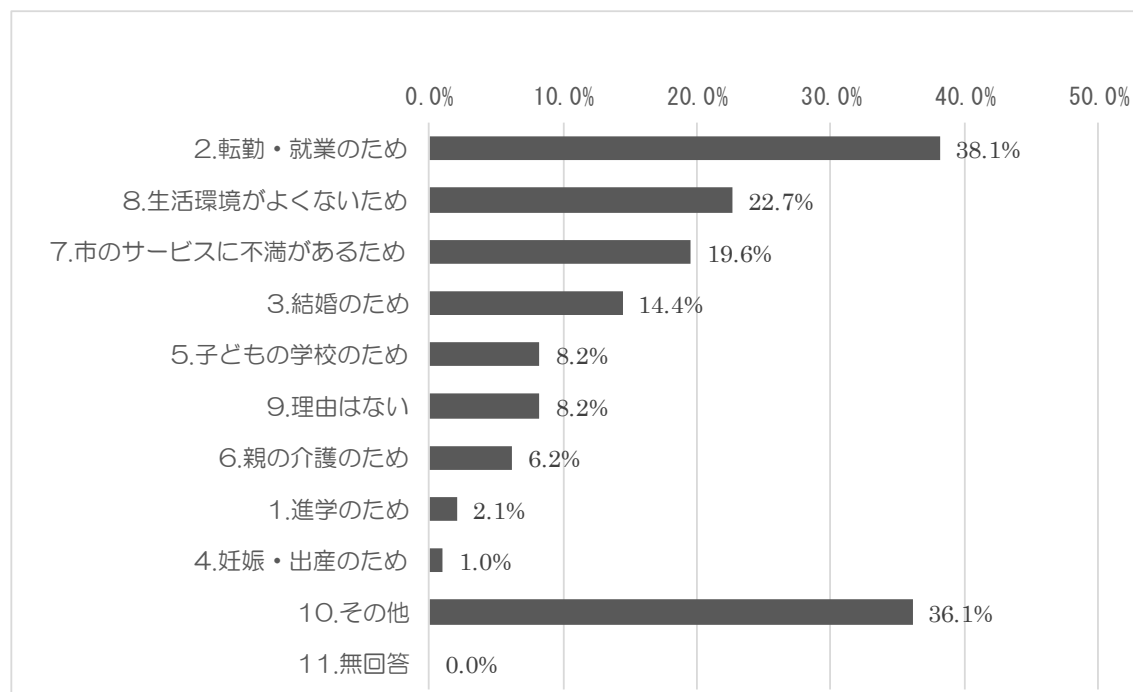


問 15. 『あなたは、今後も泉佐野市に住み続けるご予定ですか。』 (n = 978)



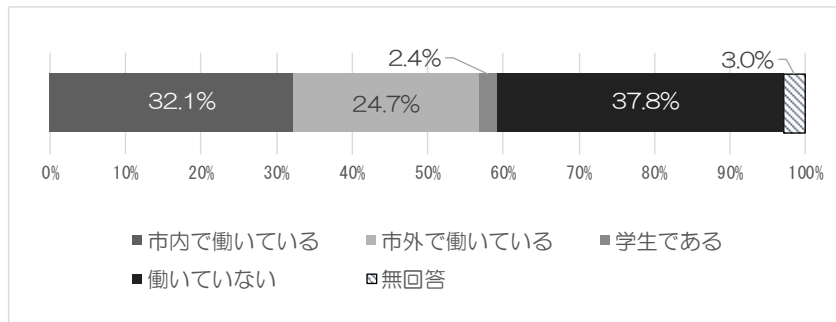
問 15-1. 『引っ越す理由は何ですか。』 (複数回答可) (n = 97)

(問 15 で「2」, 「3」の回答者)

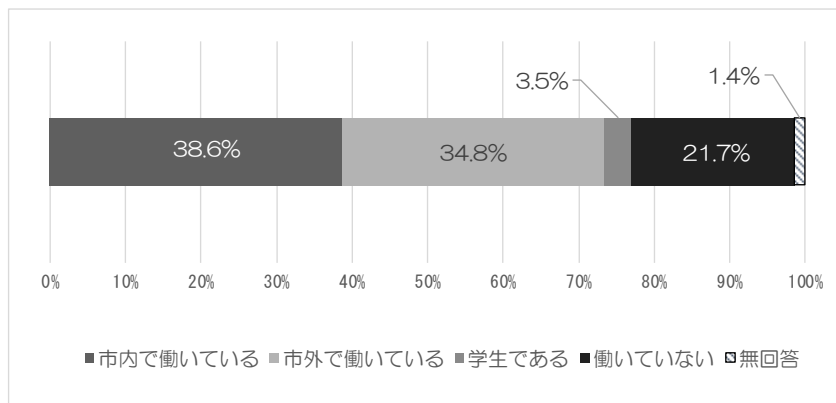


(2) 働くことについて

問 16. 『あなたは、現在、どこで働いていますか（就労形態は問わない）。』 (n = 978)



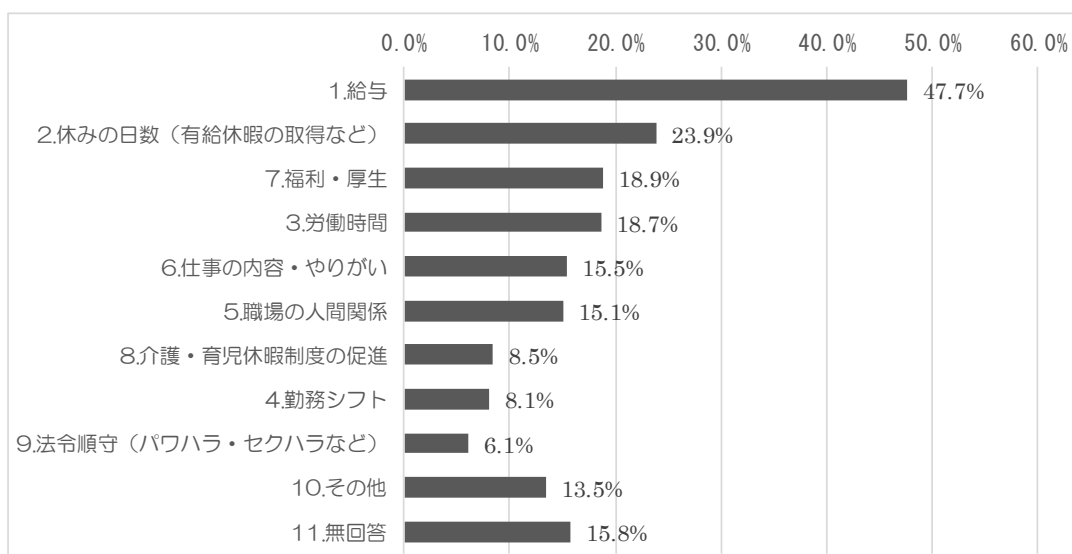
【参考】問 16. 老年人口（65 歳以上）を除いた集計 (n = 650)



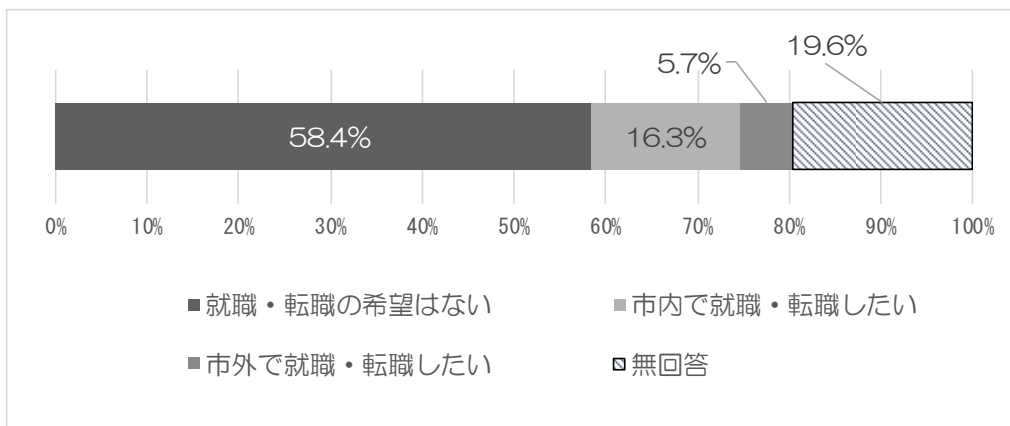
※ 市内外で働いている、および、学生であるの割合が増え、働いていないの割合が減っているため、65 歳以上の回答者は、働いていない方が多いことが伺えます。

問 16-1. 『現在、働いている環境で改善してほしい点は何ですか。』（複数回答可）

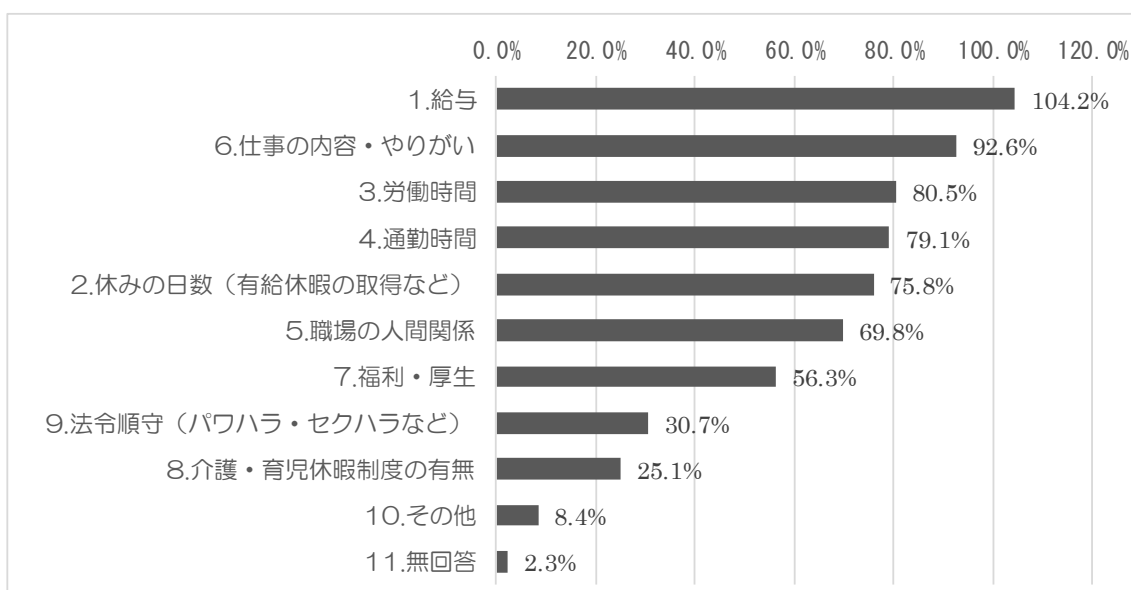
(問 16 で「1」, 「2」の回答者) (n = 556)



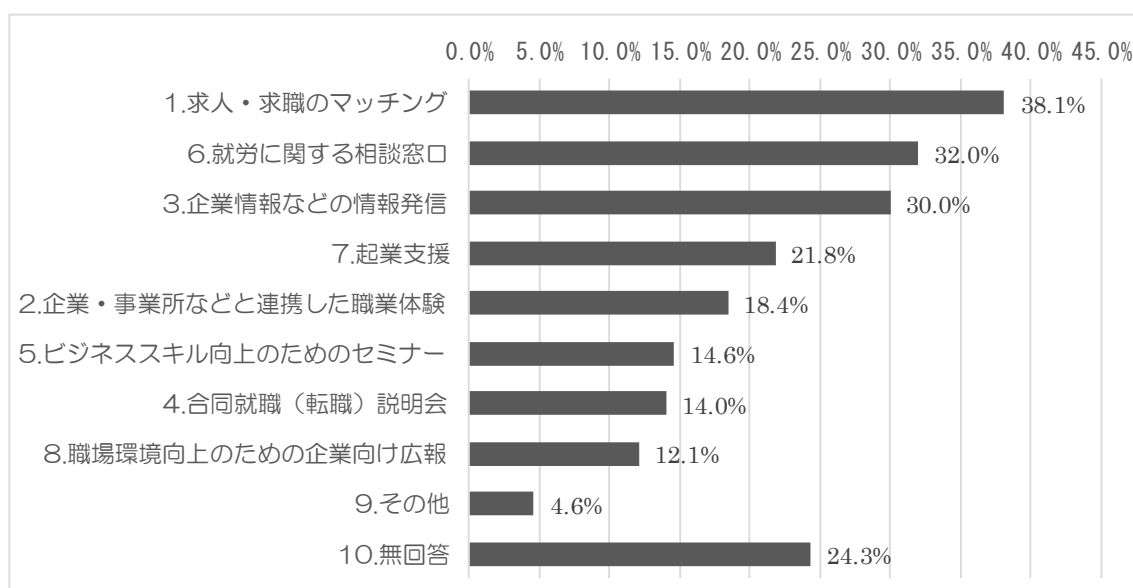
問 17. 『あなたは、今後、新たに職に就く、もしくは転職の希望はありますか。』 (n = 978)



問 17-1. 『あなたが（将来的に）仕事を選択する上で何を重視しますか。』（複数回答可）
 (問 17 で「2」, 「3」の回答者) (n = 215)

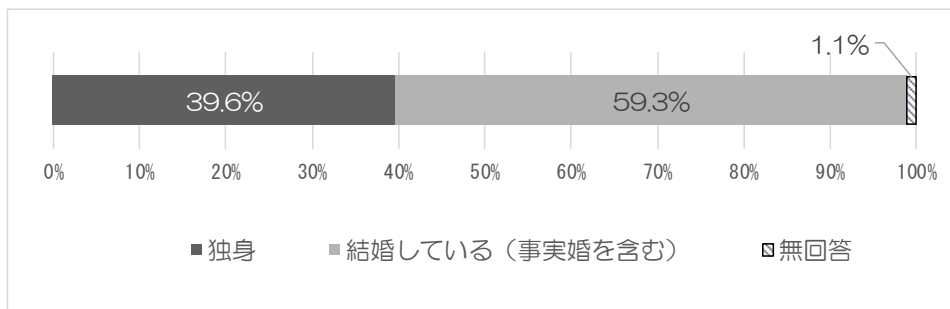


問 18. 『就労機会の向上等に向けて、泉佐野市が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか。』（複数回答可）（n = 978）



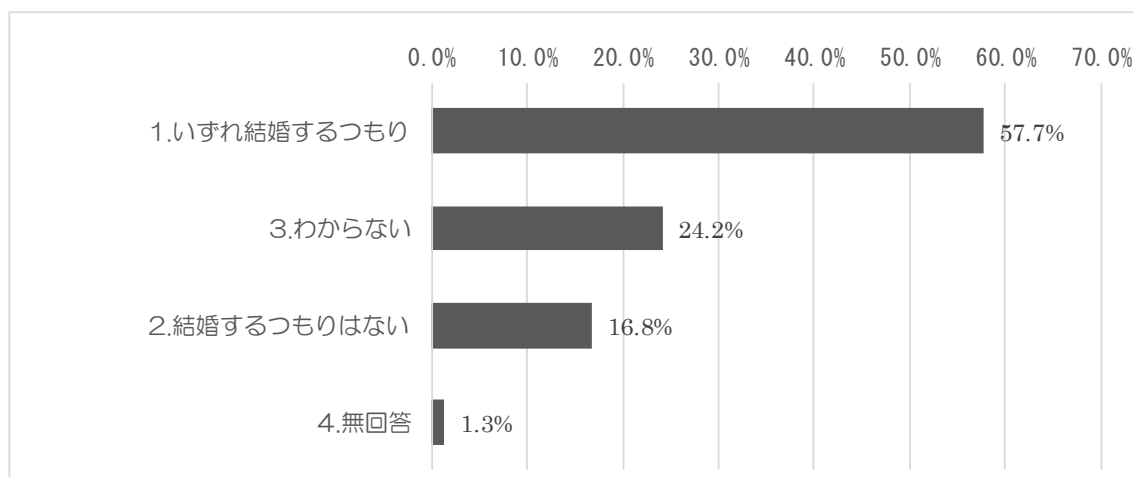
(3) 結婚について (※50歳未満を対象とする質問 (問29まで))

問19. 『あなたは、結婚していますか。』 (n=376)

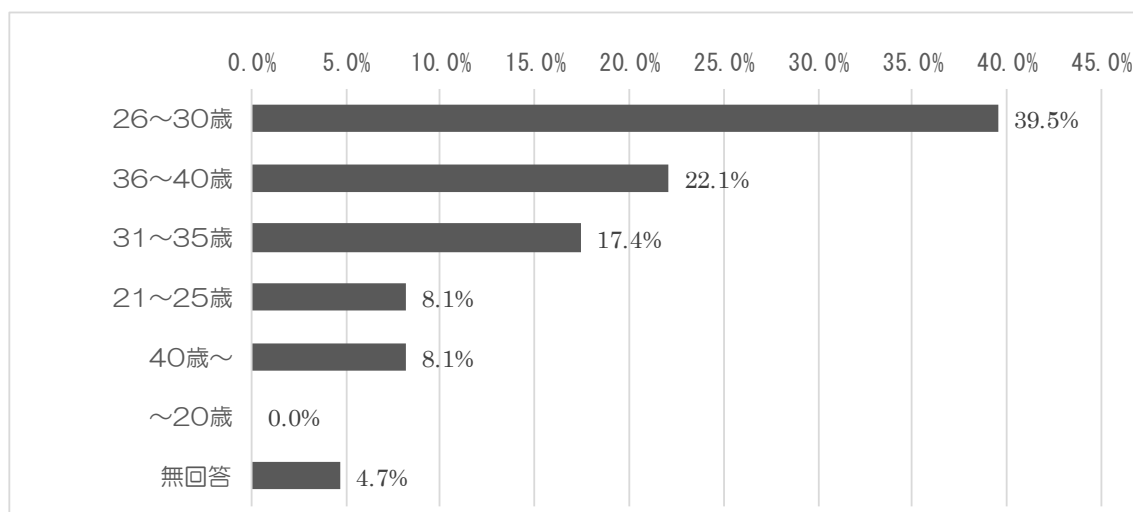


問19-1. 『今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。』

(問19で「1」の回答者) (n=149)

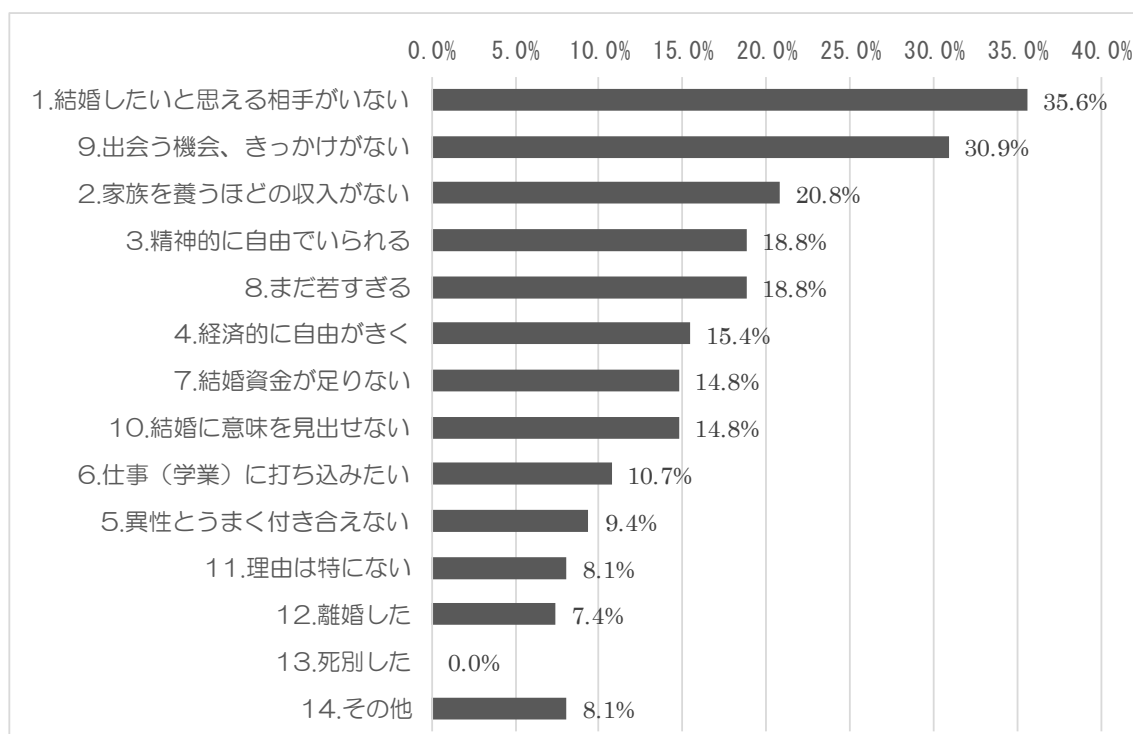


(問19-1で「1」の回答者) 『結婚希望年齢について』 (n=86)



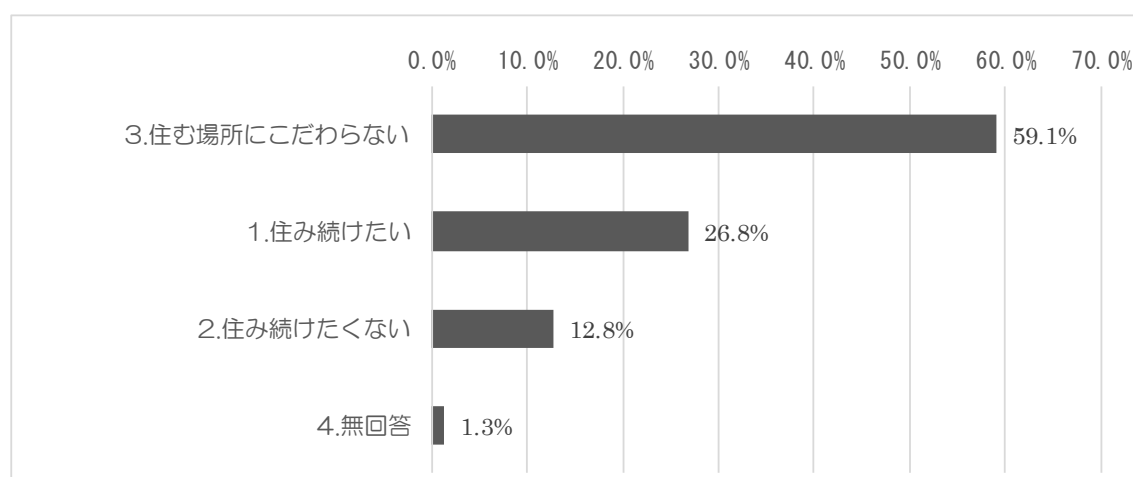
問 19-2. 『結婚していない理由は何ですか。』（複数回答可）

（問 19 で「1」の回答者） （n = 149）

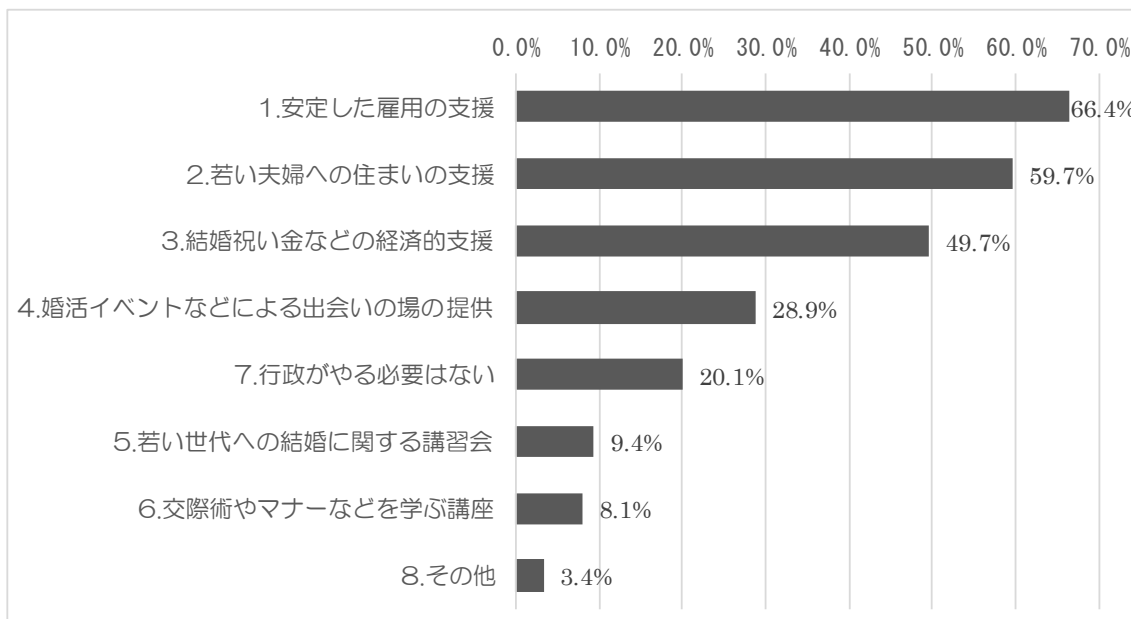


問 19-3. 『結婚した場合、泉佐野市に住み続けたいと思いますか。』

（問 19 で「1」の回答者） （n = 149）



問 20. 『泉佐野市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思えますか。』（複数回答可）
 (n = 149)

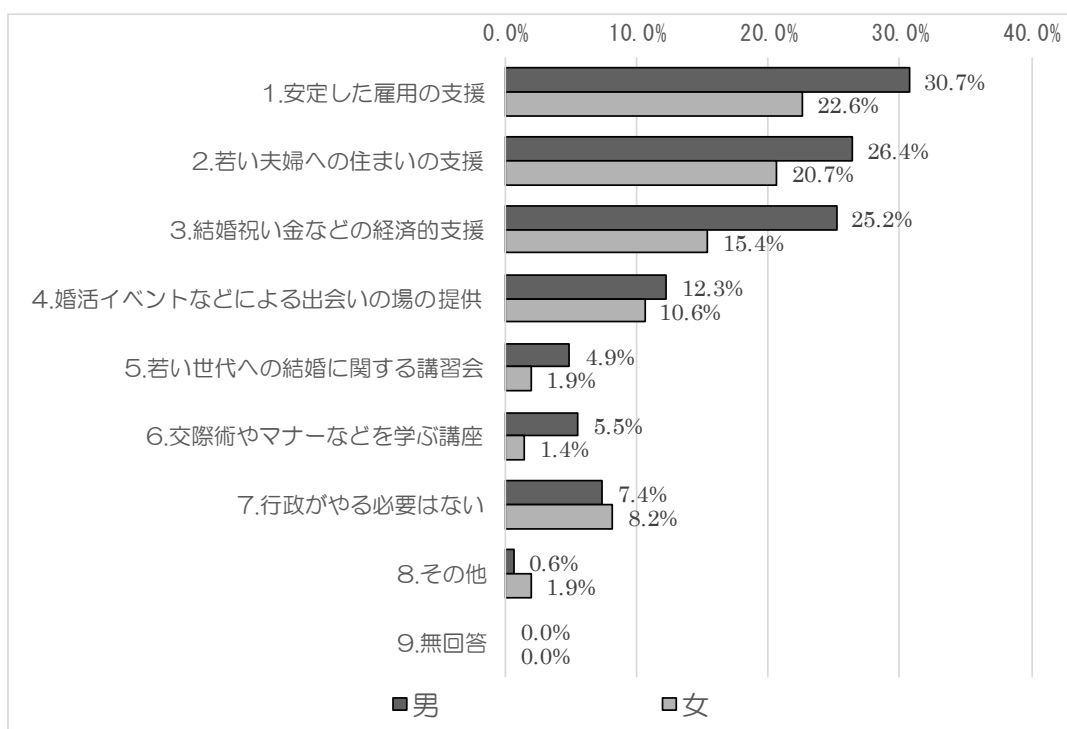


<市が重点的に取り組むべき結婚支援事業に関する男女別の比較>

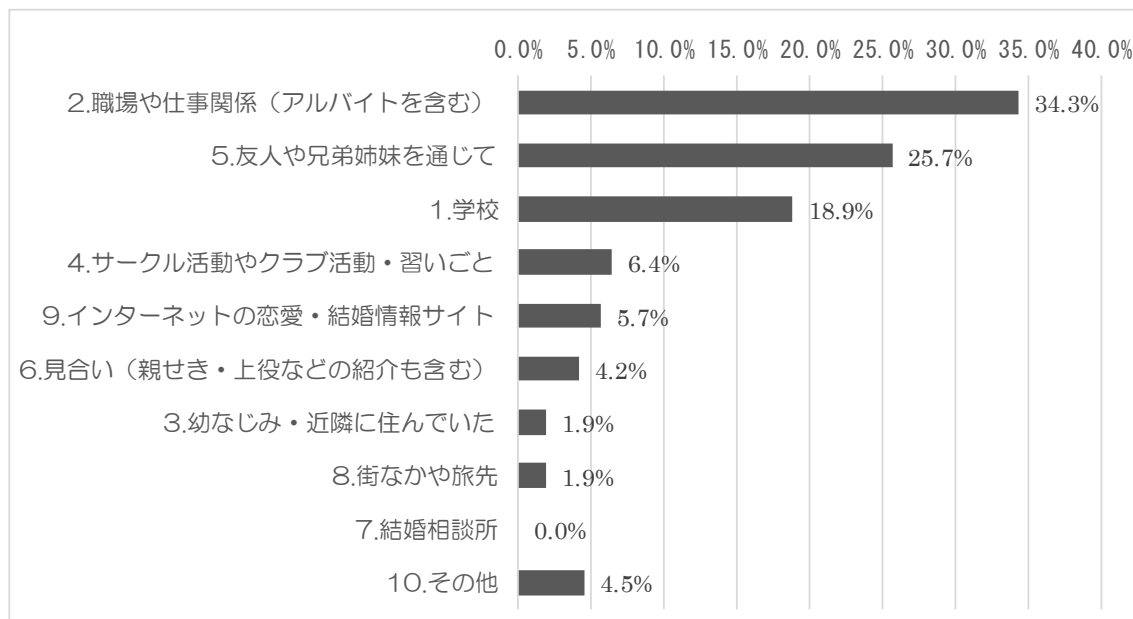
市が重点的に取り組むべき結婚支援事業について、男女間で意向に違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。（参照：下記「【参考】問 20.性別クロス集計」）

男女とも順位の逆転は無く、男女間の差は見られませんでした。

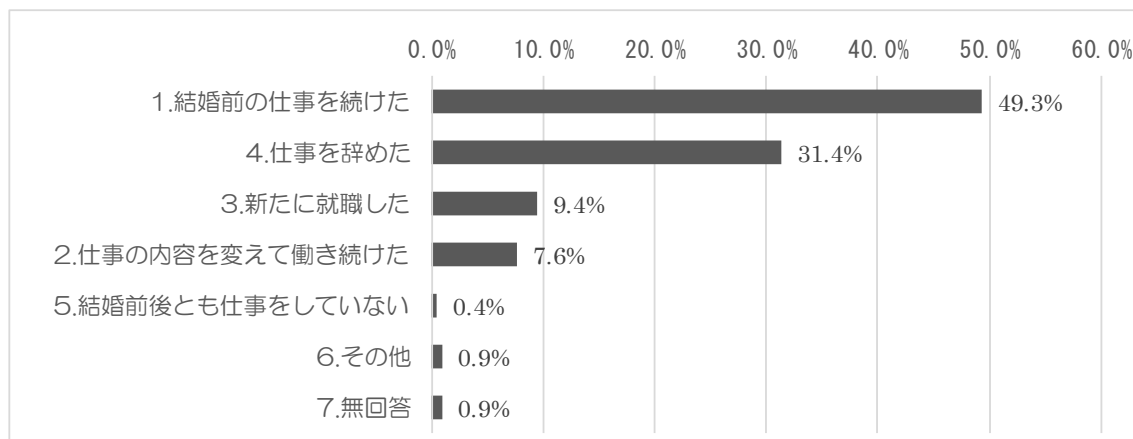
【参考】問 20. 性別クロス集計



問 21. 『「ご夫婦の方(事実婚含む)」と「独身の方で交際相手がいる方」におうかがいします。どのようなきっかけでお知り合いになりましたか。』(複数回答可) (n=265)



問 22. 『「ご夫婦の方(事実婚含む)」におうかがいします。結婚を機に働き方はどうなりましたか。』 (n=223)



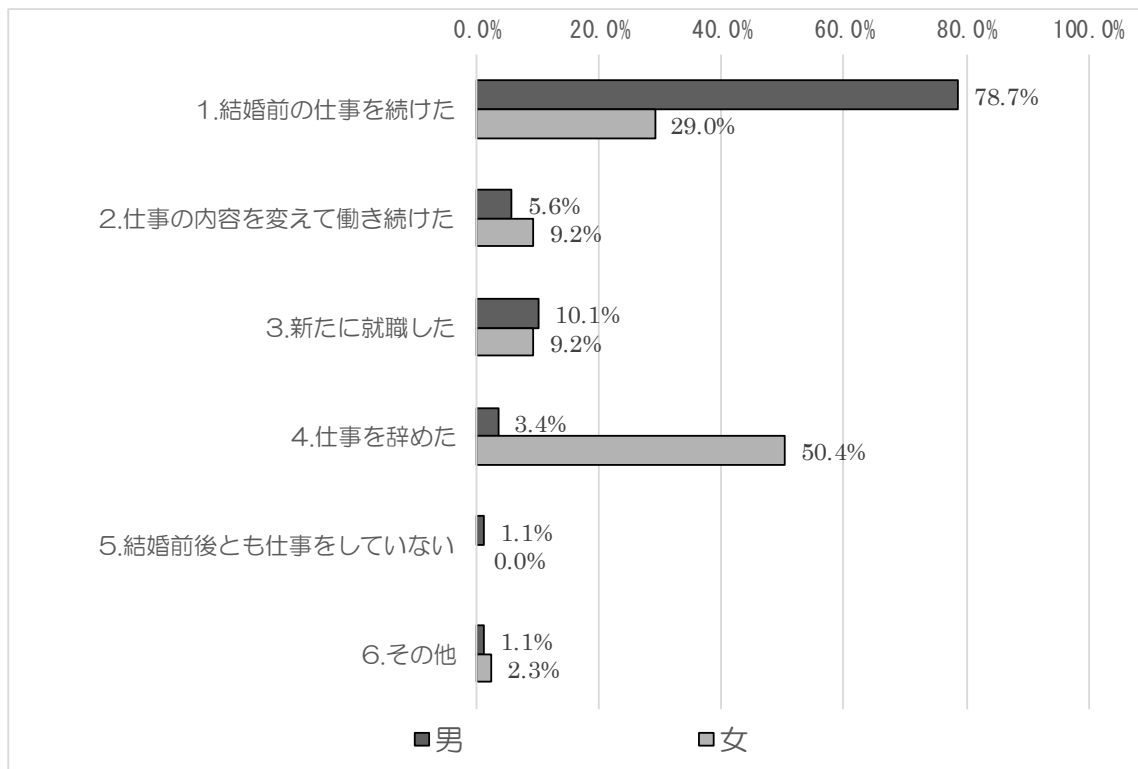
<結婚を機とした働き方の変化に関する男女別の比較>

ご夫婦の方に対して尋ねた「結婚を機とした働き方の変化」について、男女間に違いがあるかどうか、クロス集計を行いました。

(参照：次ページ【参考】問 22.性別クロス集計)

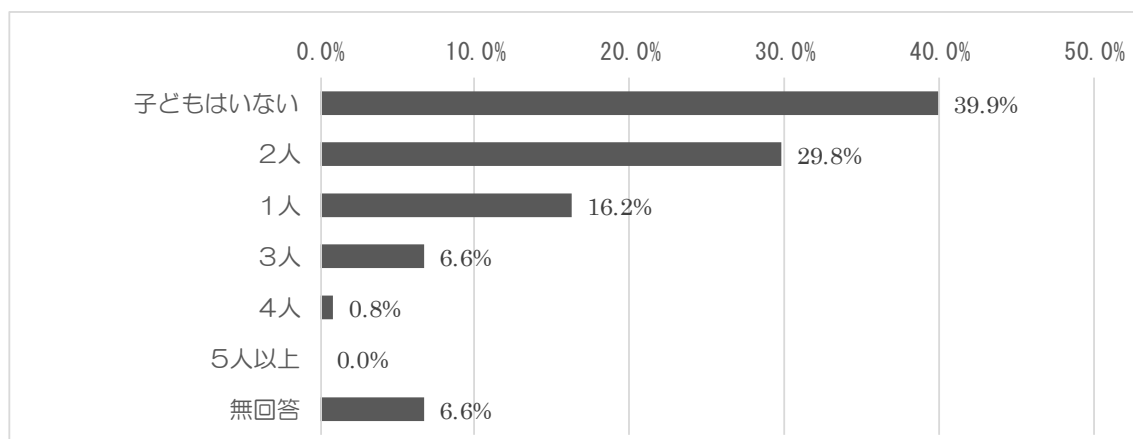
「1.結婚前の仕事を続けた」は、ほとんどが男性で、結婚前の仕事を続けた女性は約 30%でした。一方、「4.仕事を辞めた」男性は 3.4%しかおらず、結婚を機に仕事を辞めるのは、ほとんどが女性でした。

【参考】問 22. 性別クロス集計

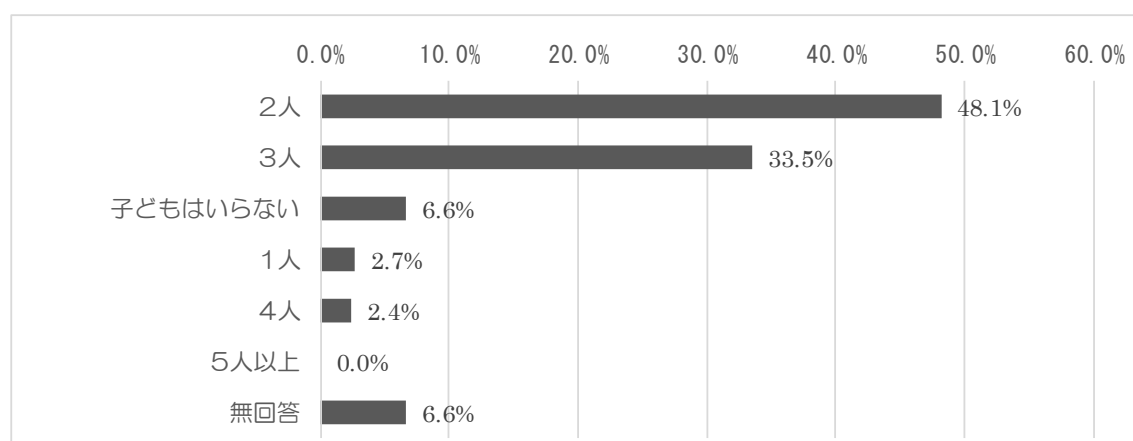


(4) 出産・育児について

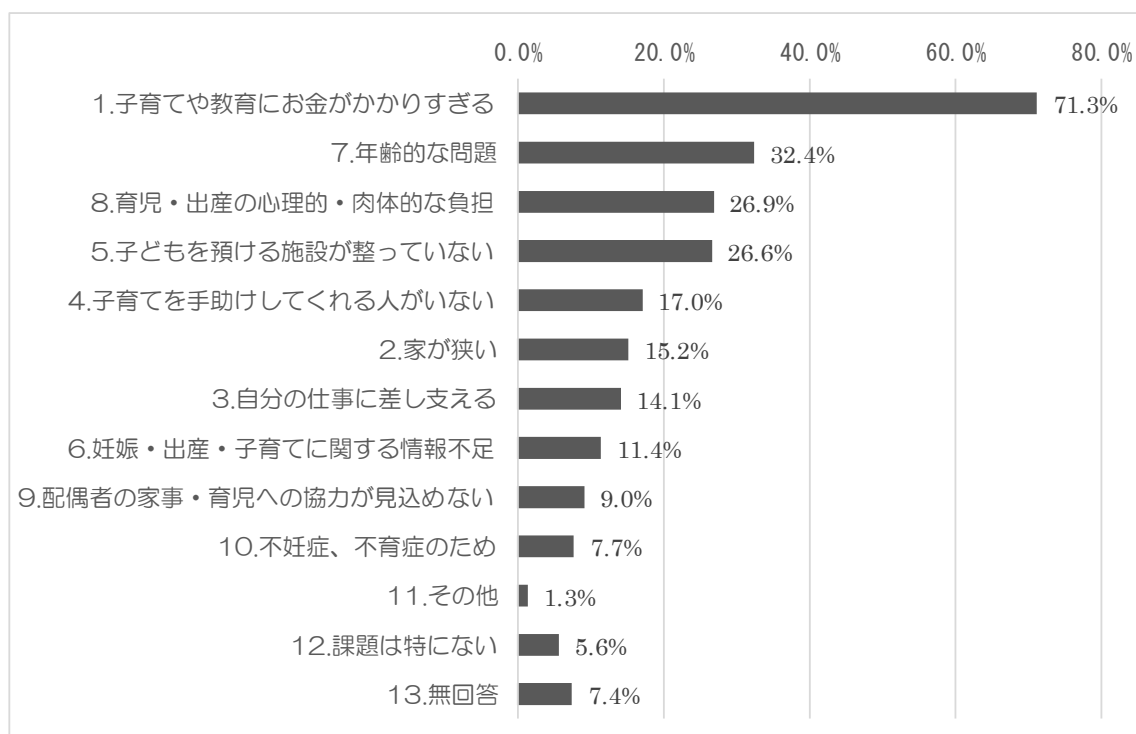
問 23. 『あなたは、お子さんが何人いますか。』 (n = 376)



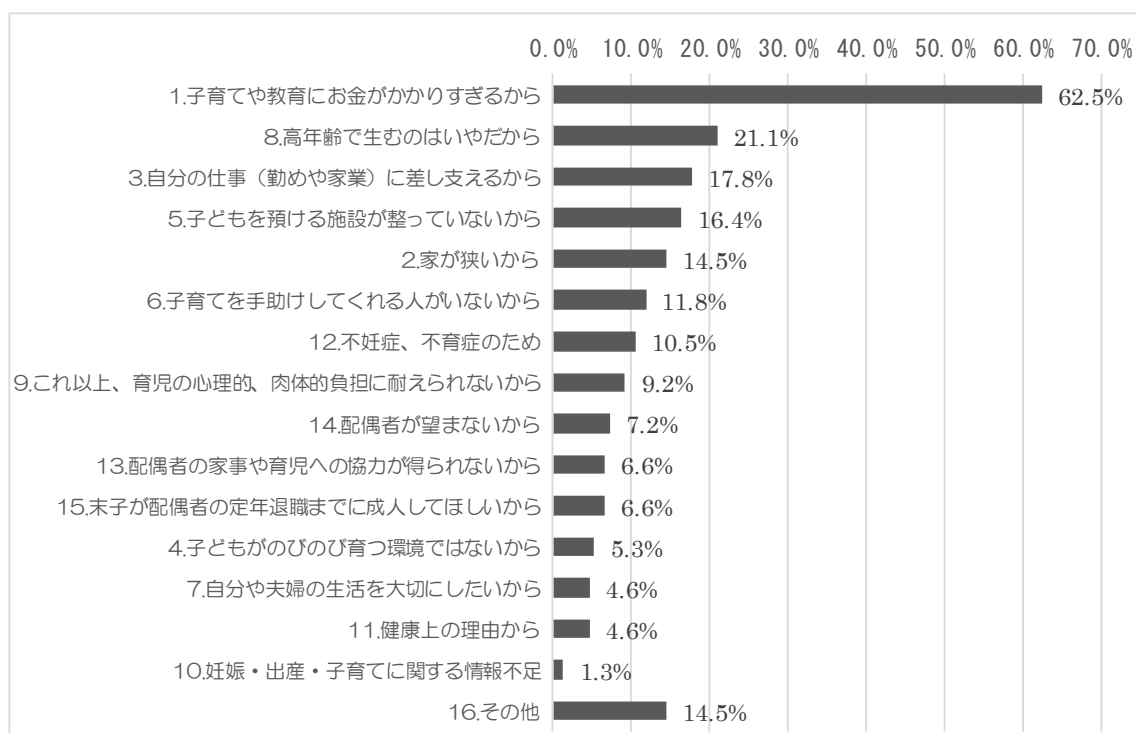
問 24. 『あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。』 (n = 376)



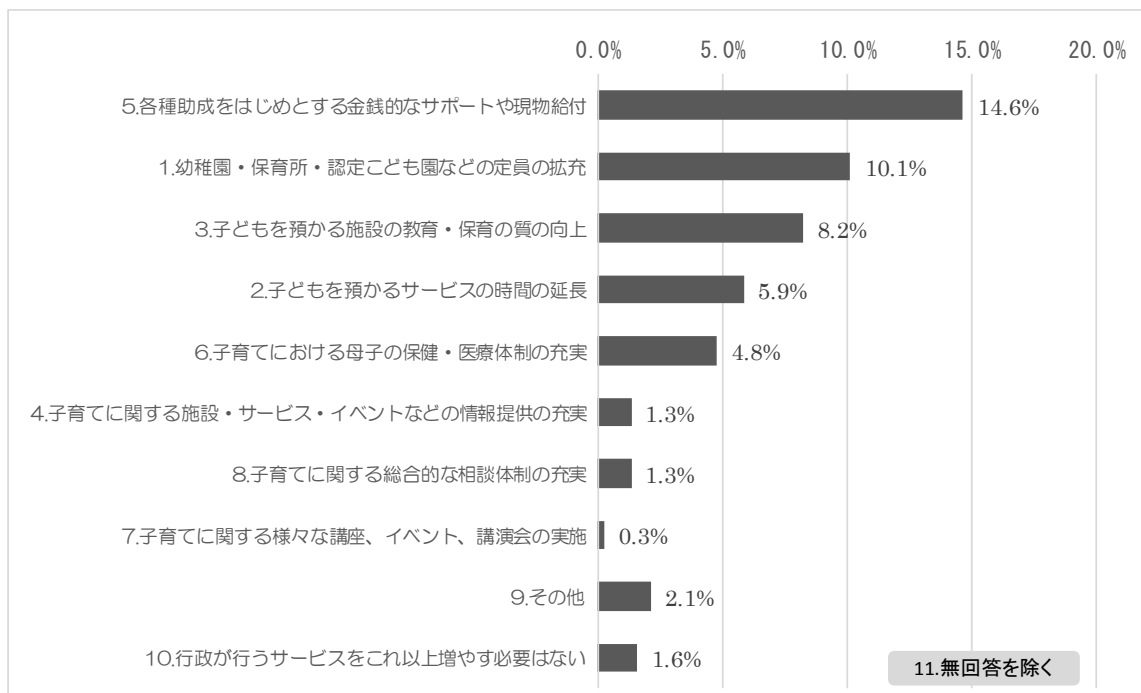
問 25. 『理想的な子どもの数を実現するために、課題となること（なりそうなこと）は何ですか。』（複数回答可）（n = 376）



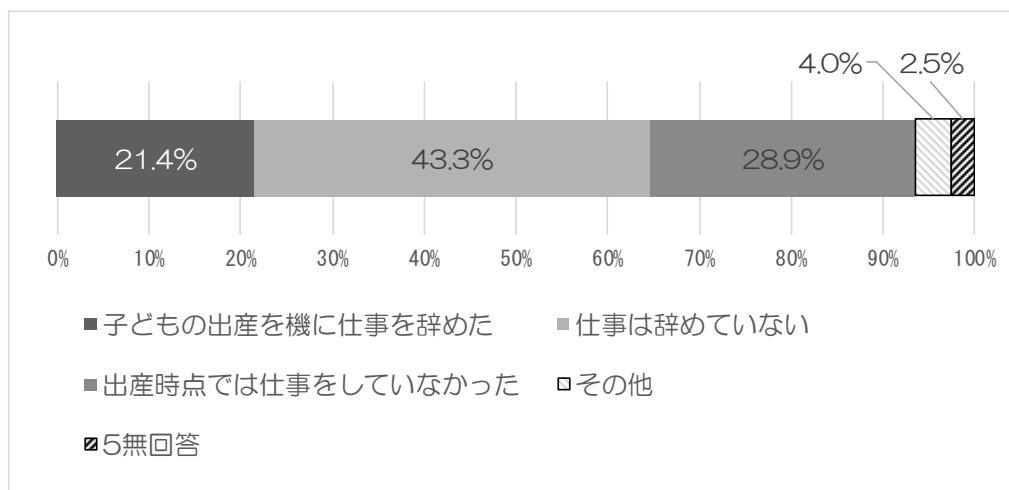
問 26. 『「理想とする子どもの数より実際の子どもの数が少ない方」にお聞きします。理想の子ども数と差があるのはどうしてですか。』（複数回答可）（n = 152）



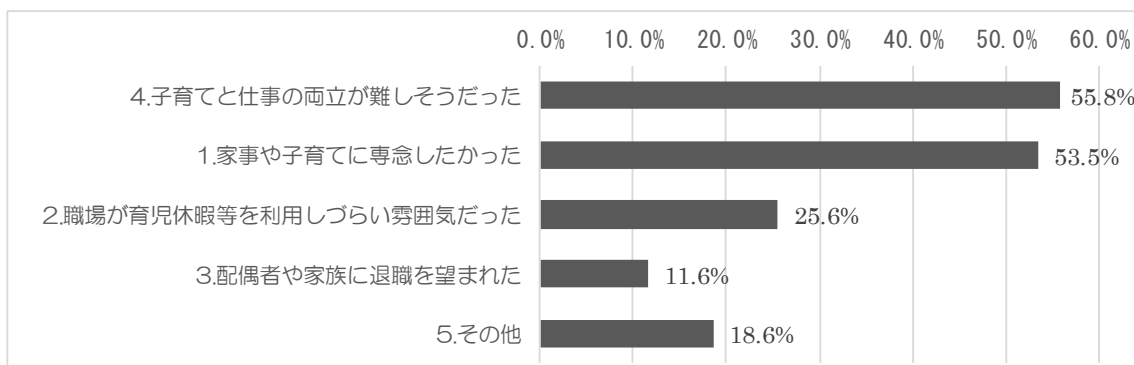
問 27. 『今後、育児に関するサービスとして、泉佐野市が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか。』 (n=376)



問 28. 『「お子さんがいる方」におうかがいします。出産を機にあなたの働き方はどうなりましたか。』 (n=201)

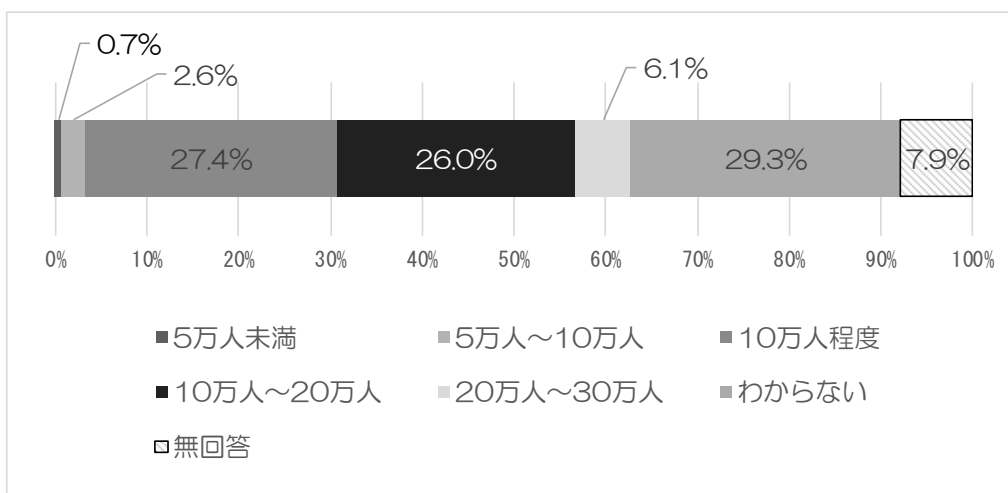


問 29. 『「子どもの出産を機に仕事を辞めた方」におうかがいします。仕事を辞めた理由は何ですか。』（複数回答可）（n = 43）



(5) 人口減少社会におけるまちづくりについて

問 30. 『現在（平成 27 年 3 月）、泉佐野市の人口は 101,221 人です。あなたは将来何人くらいが本市の人口としてちょうどよいと思いますか。』（n = 978）



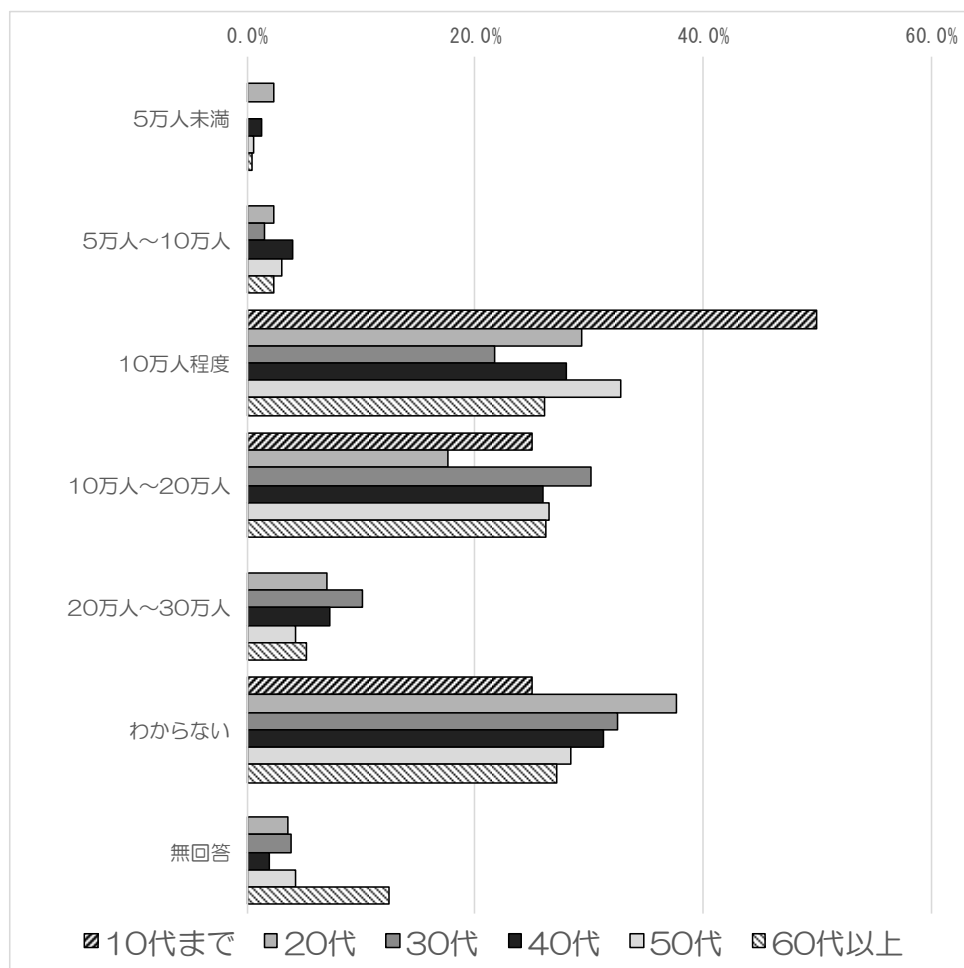
<泉佐野市の将来のちょうど良い人口に関する年代別の比較>

本市の将来のちょうど良い人口について、年代による違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

(参照：次ページ「【参考】問 30.年代別クロス集計」)

20 代以上は、おおむね同じような回答割合で推移していますが、10 代は「10 万人程度」に回答が集中しています。

【参考】問 30. 年代別クロス集計



問 31. 『今後、人口減少が進んでいくと、あなたにとって最も困ることは何だとお考えでしょうか。』

＜主な回答＞

- ①介護サービスの従事者が減少し、十分な介護サービスが受けられない。
- ②近所が高齢者ばかりで、災害が生じた時にどれだけ力になれるか心配。
- ③いつか車の運転ができなくなり、買物難民になるのではと不安。

問 32. 『泉佐野市が活性化し、人口減少に歯止めをかけるためには、市としてどのようなことを重点的に進めるべきだと思いますか。あなたが普段感じていることを教えてください。』

＜主な回答＞

- ①泉佐野駅周辺の商業地域とりんくうタウンを結ぶ地域をあわせ、魅力ある商業地域を作り活気を取り戻す。商店街に空き家が目立つ今だからこそ、新しい町を作り直すチャンス。
- ②医療の充実と並行して、病気にならない身体づくりを行政としてスポーツ施設や指導者を増やしていく努力が必要。

2. 高校生世代アンケート調査

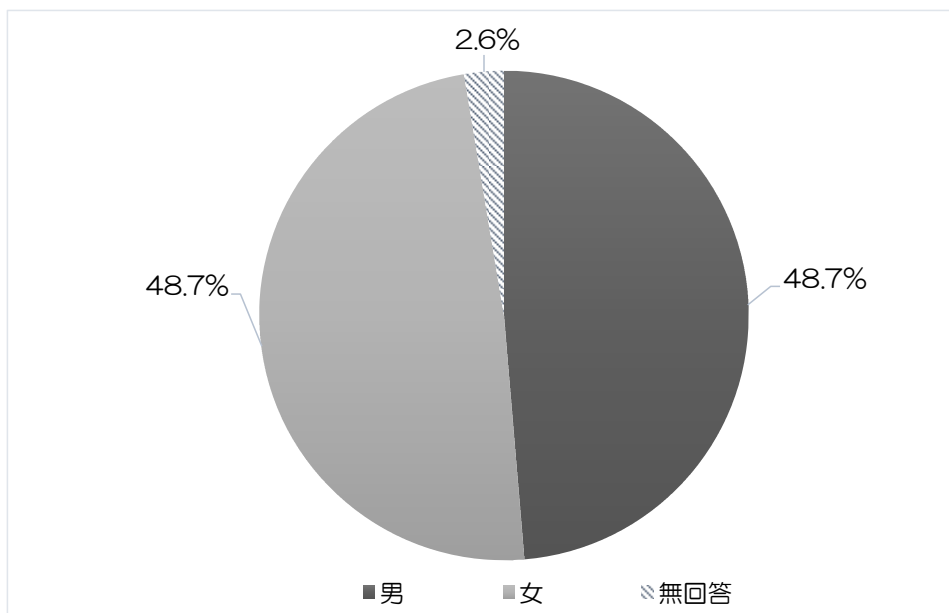
(対象：平成9年4月2日生～平成12年4月1日生)

①配布数・回答数・回収率

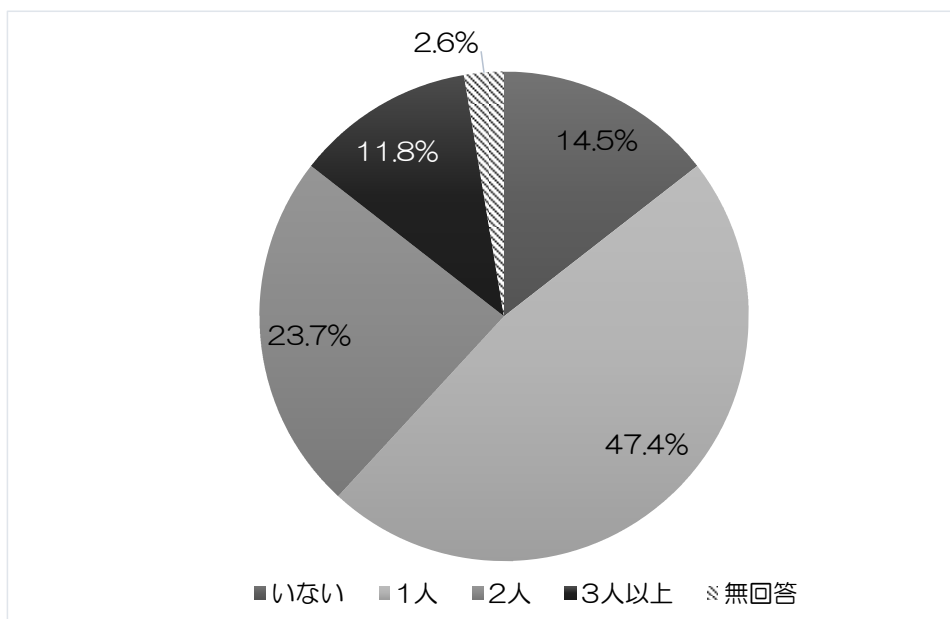
・配布数	500件
・回答数	76件
・回収率	15.2%

②回答者の属性について

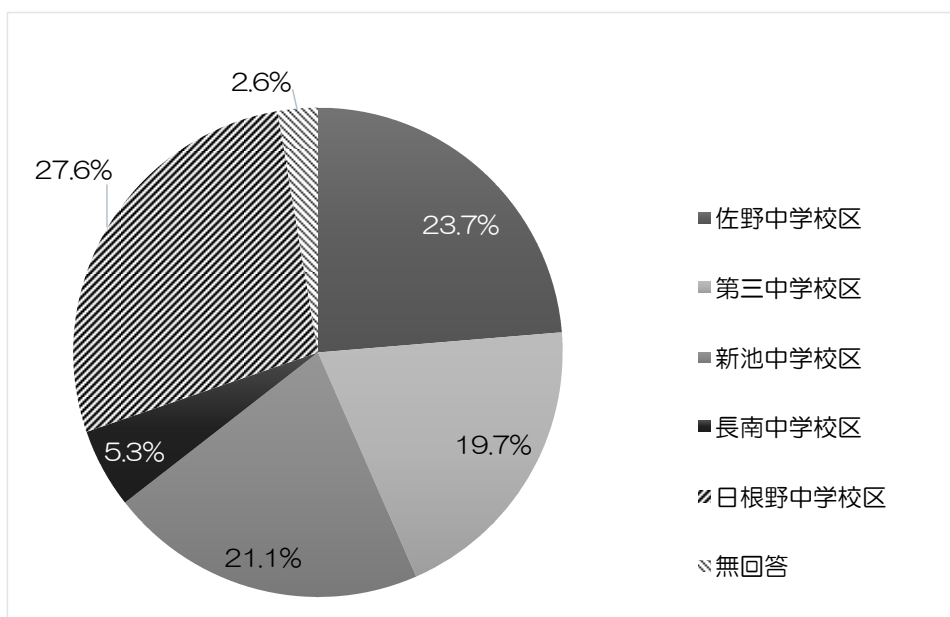
(1) 性別 (n=76)



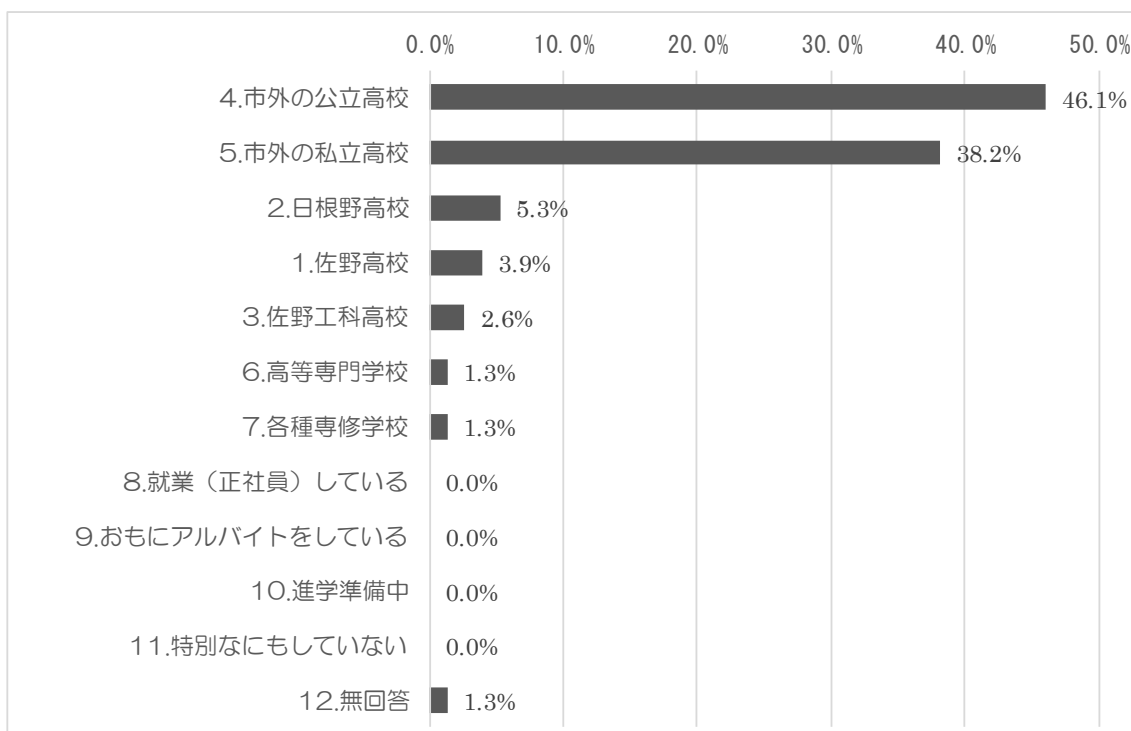
(2) 兄弟・姉妹構成別 (n=76)



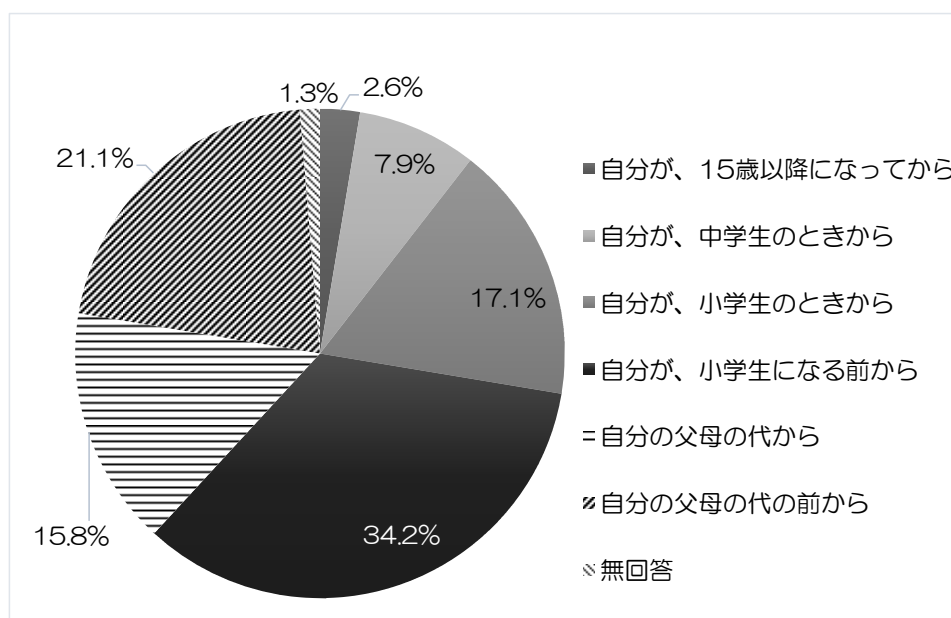
(3) 居住区別 (n=76)



(4) 通学校等別 (n = 76)



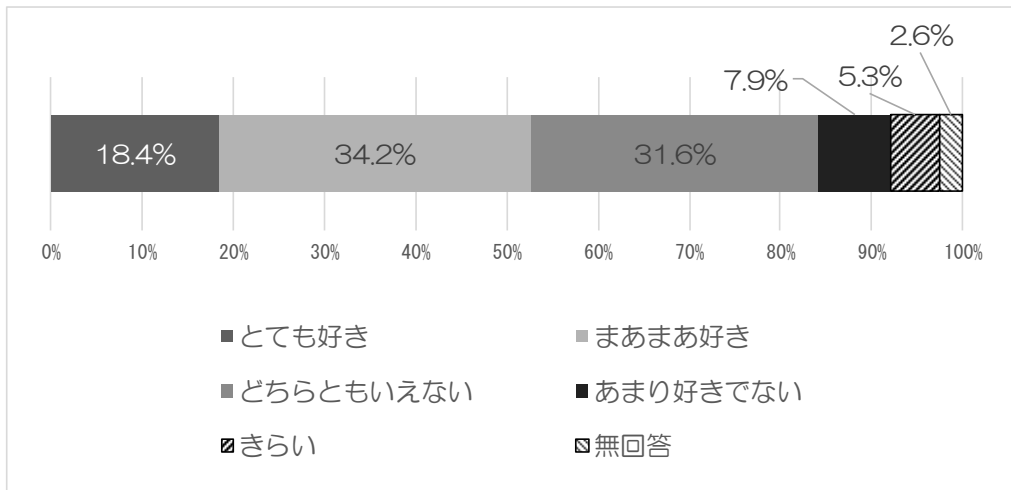
(5) 居住年数別 (n = 76)



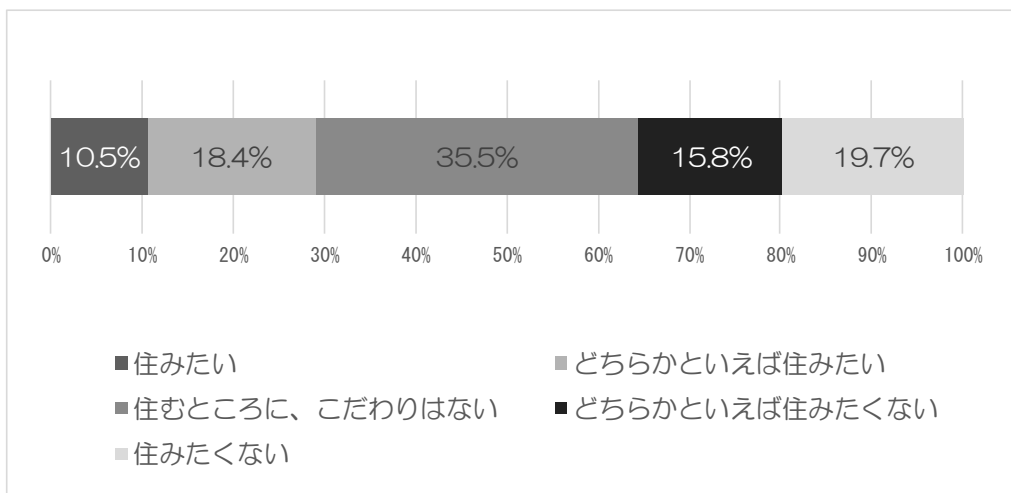
③設問別集計結果報告

(1) 泉佐野市について

問 6. 『あなたは、泉佐野市が好きですか。』 (n = 76)

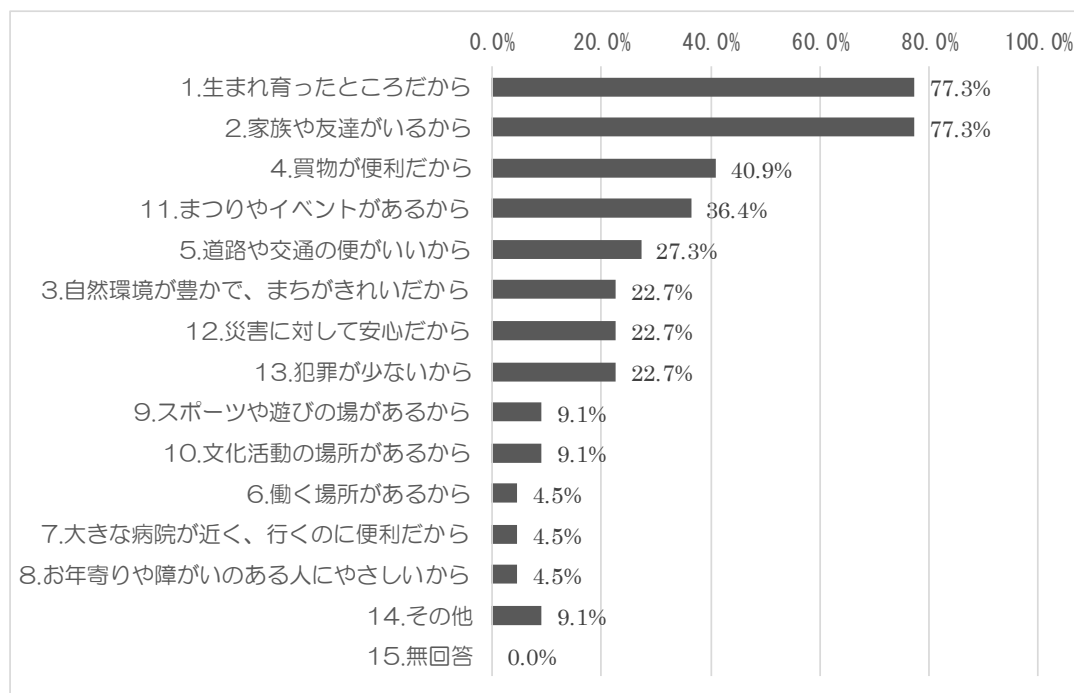


問 7. 『あなたは、将来も泉佐野市に住みたいと思いますか。』 (n = 76)



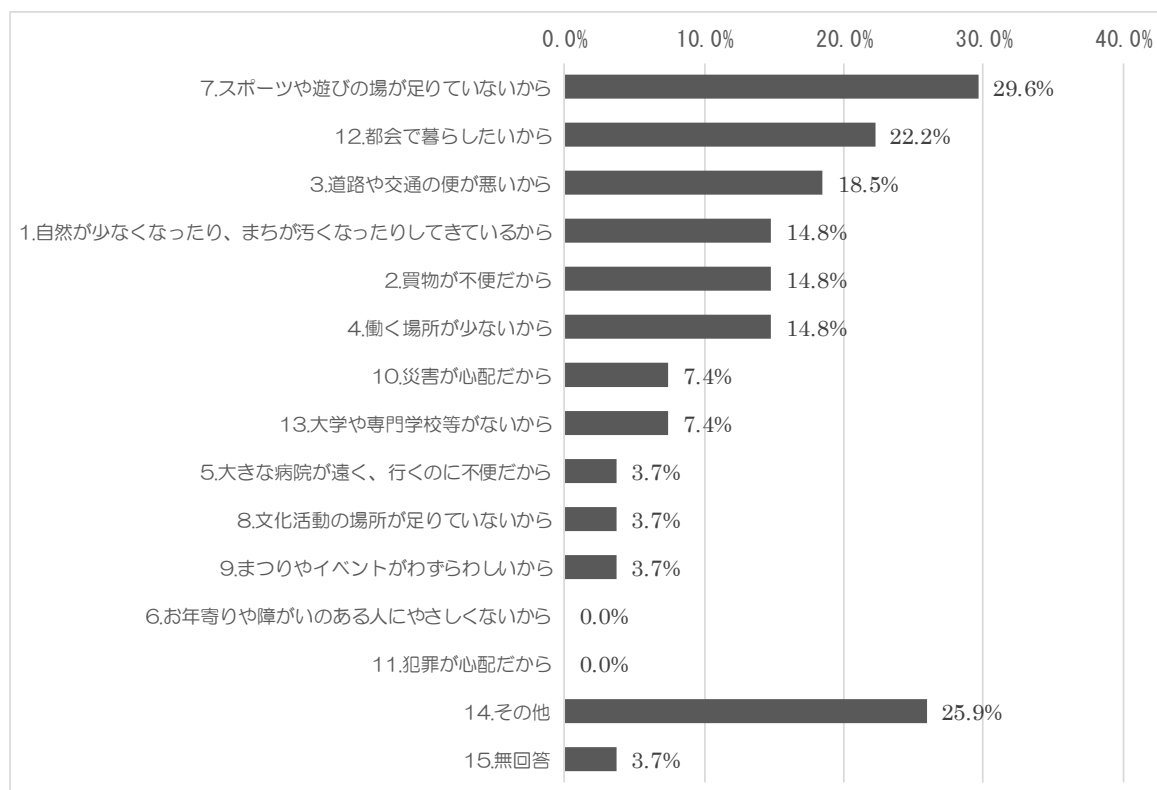
問 7-1. 『住みたい理由は何ですか。』（複数回答可）

（問 7 で「1」、「2」の回答者） （n = 22）



問 7-2. 『住みたくない理由は何ですか。』（2つまで回答可）

（問 7 で「4」、「5」の回答者） （n = 27）



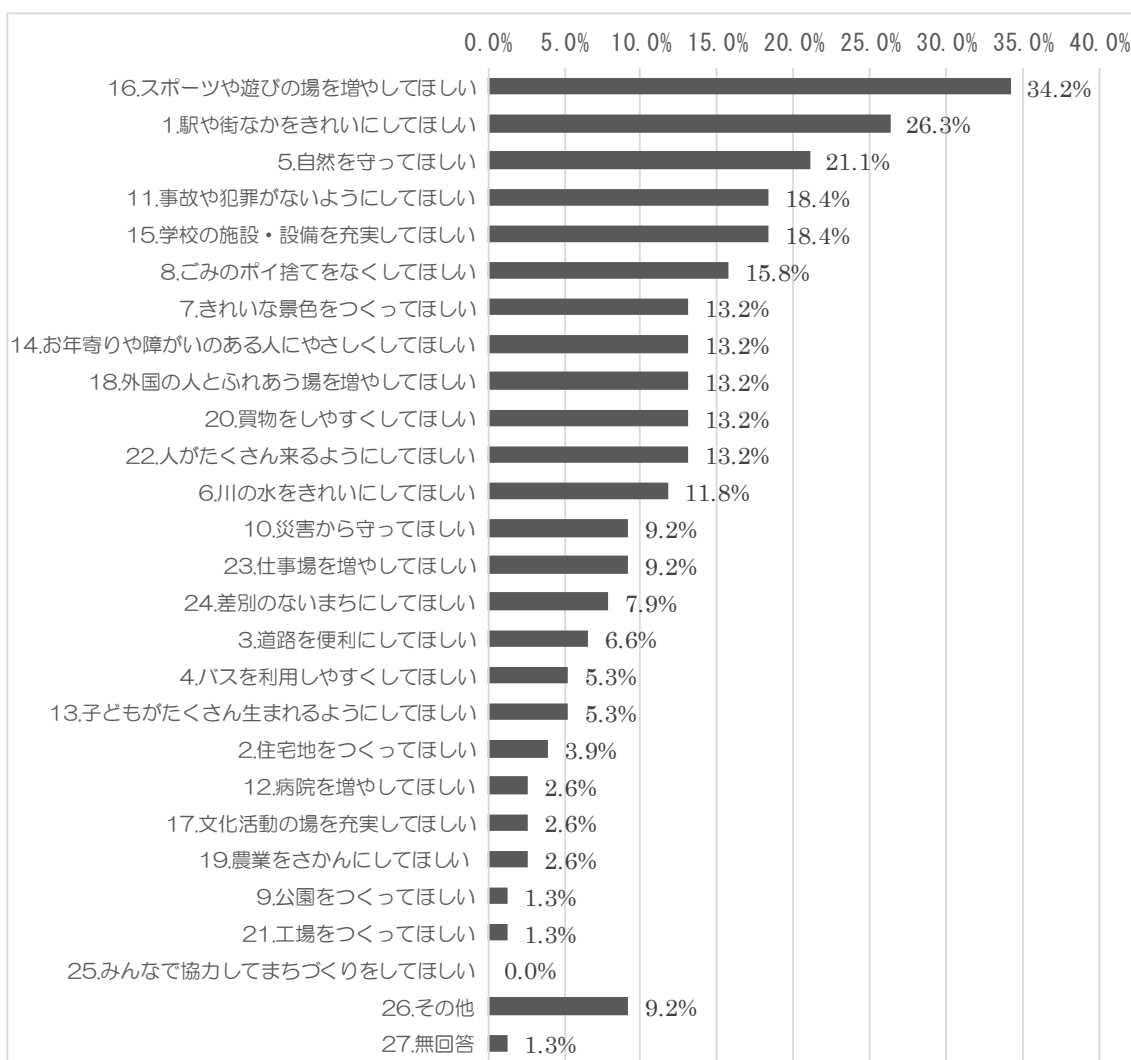
問 8. 『あなたが、泉佐野市で「自慢したい・次世代に伝えたい」と思うものは何ですか。場所、施設、イベント、産業、食べ物、人物、物語や方言など、何でも自由にあげてください。特別なければ、なしと書いてください。』

＜主な回答＞

- ①畑や山、海などが近くにあり、昔ながらの環境も残っていて住みやすい。
- ②関西国際空港
- ③泉州タオル
- ④水ナス・たまねぎ
- ⑤だんじり

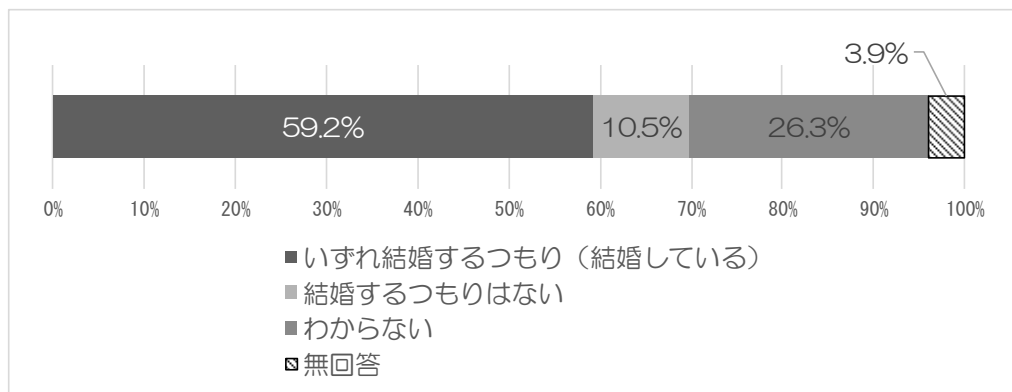
問 9. 『将来に向けて、泉佐野市にどのようなことを望みますか。』（3つまで回答可）

(n = 76)



(2) 未来について

問 10. 『想像でかまいません。結婚に関して、将来どれにあてはまりますか。』 (n = 76)



<将来の結婚感に関する男女別の比較>

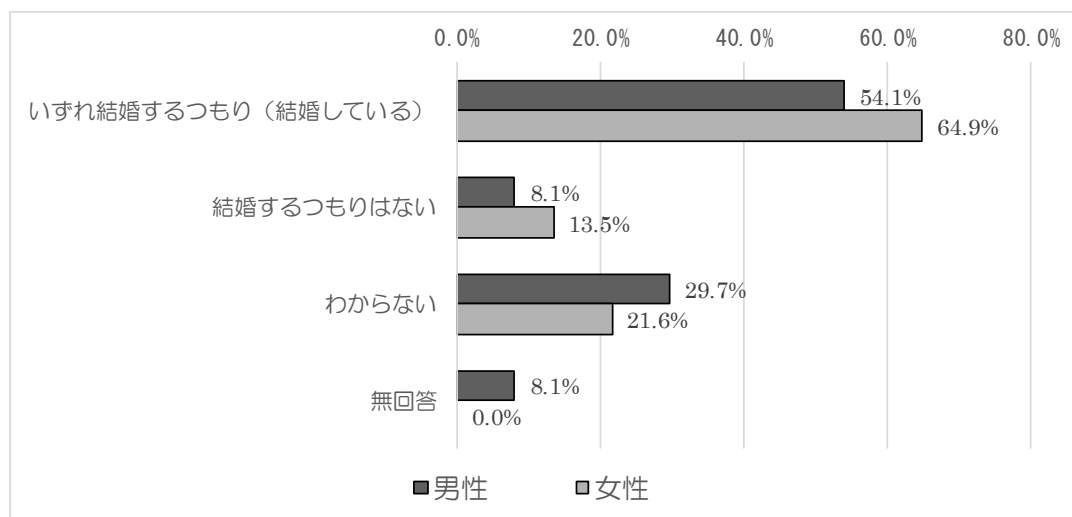
ご夫婦の方に対して尋ねた「結婚を機とした働き方の変化」について、男女間に違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

(参照：下記「【参考】問 10.性別クロス集計」)

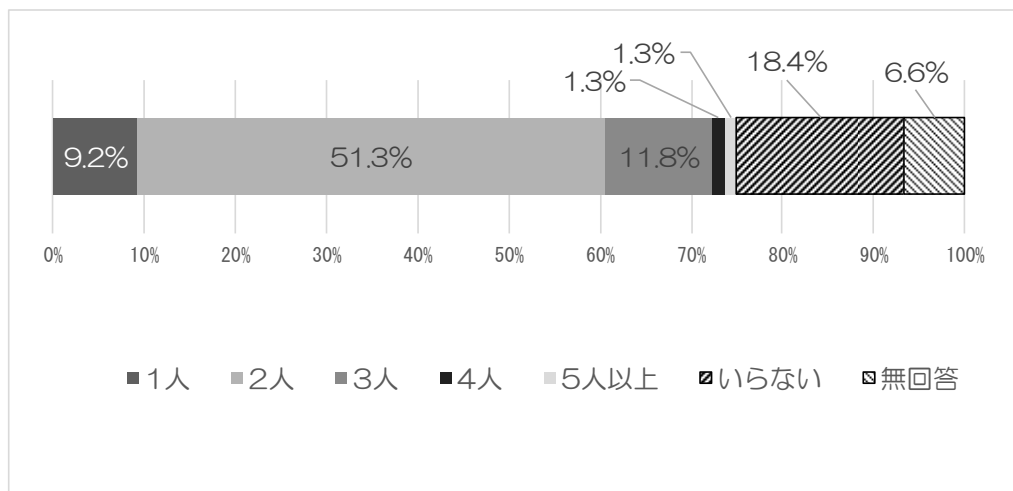
「いずれ結婚するつもり」、「結婚するつもりはない」は、ともに女性の回答の方が多く、一方「わからない」は男性の方が多い結果となっています。

結婚するつもりの有無にかかわらず、女性の方が将来の結婚について具体的に考えていることが伺えます。

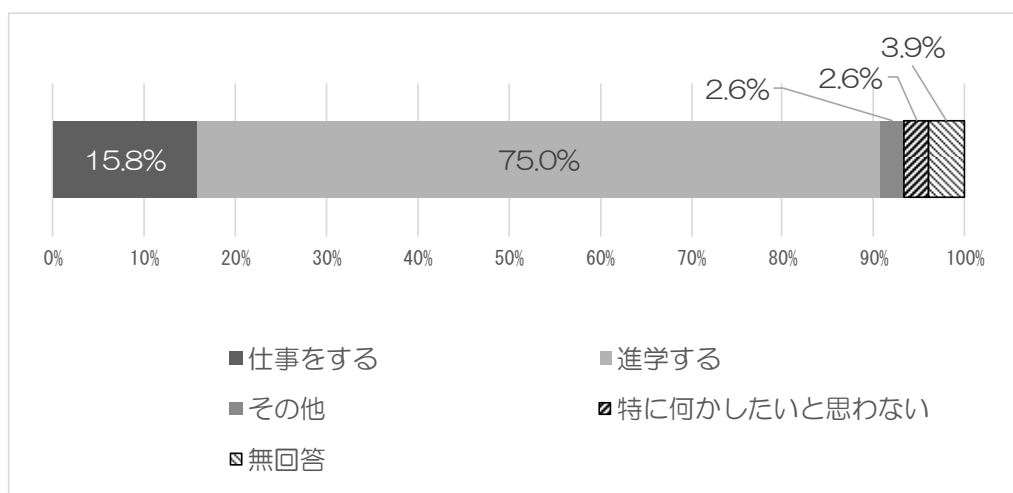
【参考】問 10性別クロス集計



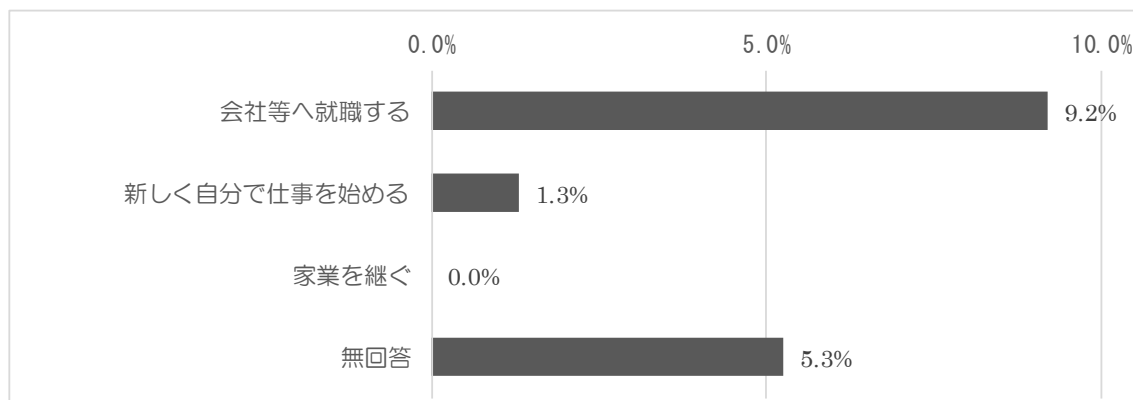
問 11. 『将来、何人の子どもを持つイメージですか。』 (n = 76)



問 12. 『あなたが、18歳になったら、どんな進路をとりたいですか。』 (n = 76)

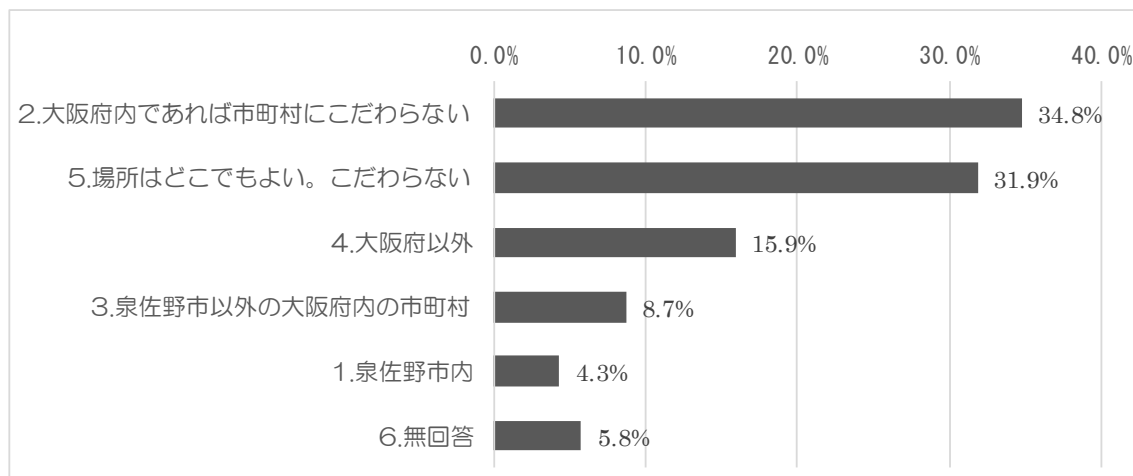


(問 12 で「1」の回答者) 『仕事をする場合の方向性』 (n = 12)



問 12-1. 『仕事に就いたり、進学する場合、どの場所を希望しますか。』

(問 12 で「1」、「2」の回答者) (n=69)



問 13. 『最後に、2060 年までに泉佐野市が「こうなっていてほしい」、「こうしてほしい」、「こうしたらいいのに」ということがありましたら、1つだけ記入してください。』

<主な回答>

①関空が近くに立地しているので外国人に来てもらい、泉佐野市を通過点にせずに来客していただくのにもっと頭を使うべきでしょう。

例えば、医療ツーリズムに力を注ぐことで、りんくう総合医療センターの活性化など。

3. 事業所アンケート調査

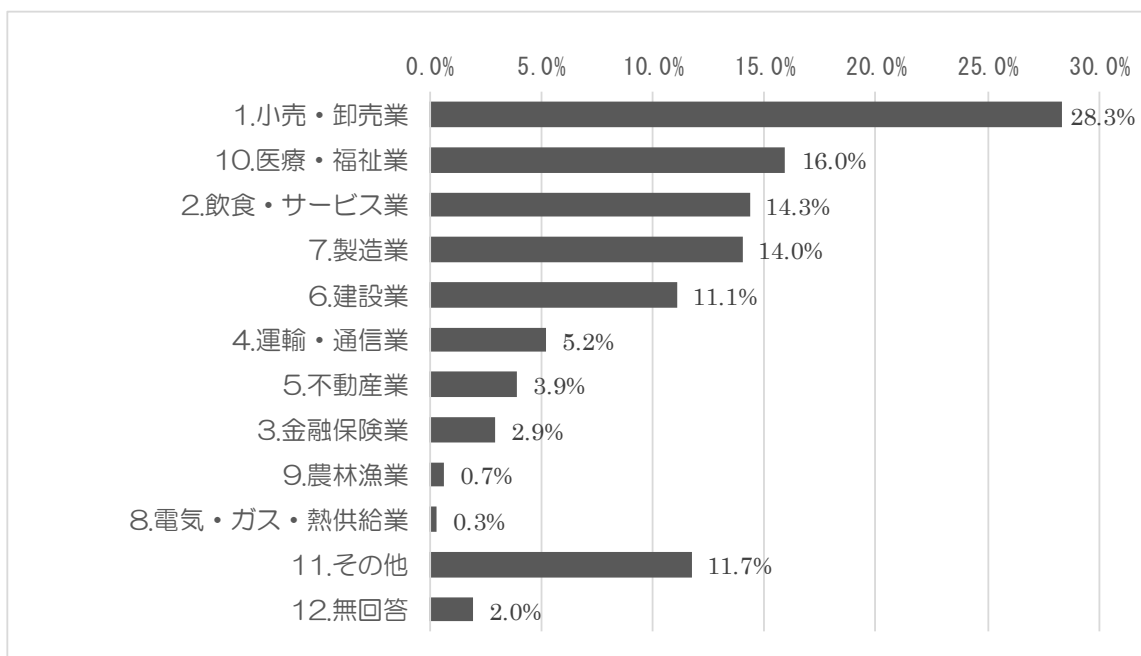
(対象：市内事業所)

①配布数・回答数・回収率

- 配布数 1,000件
- 回答数 307件
- 回収率 30.7%

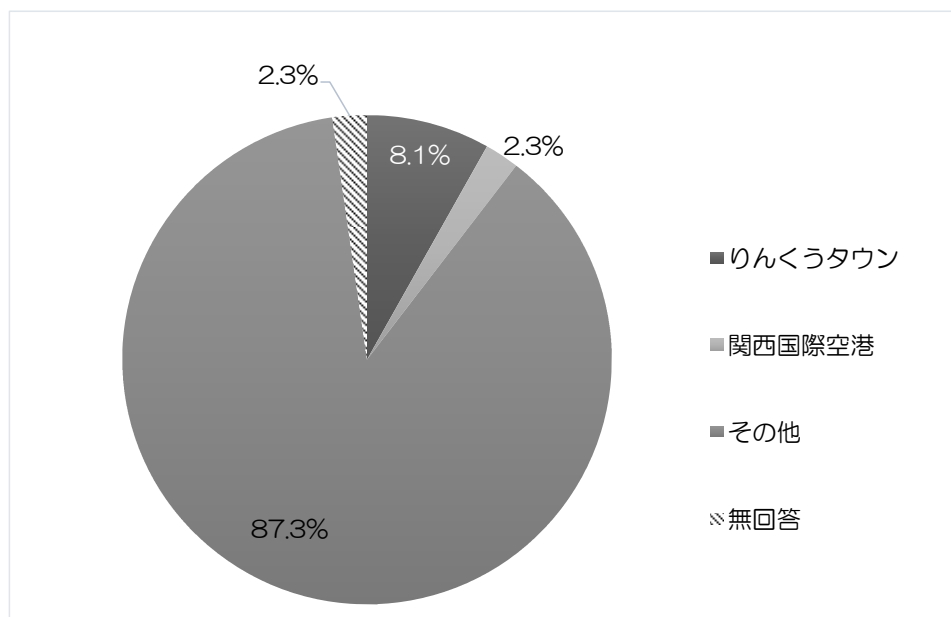
②回答者の属性について

(1) 業種別 (n=307)

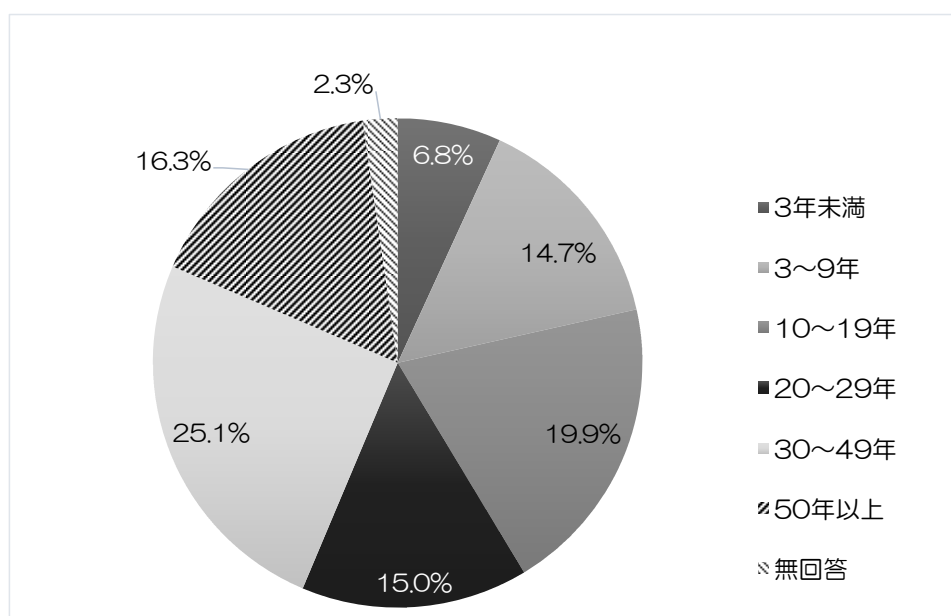


(複数回答あり)

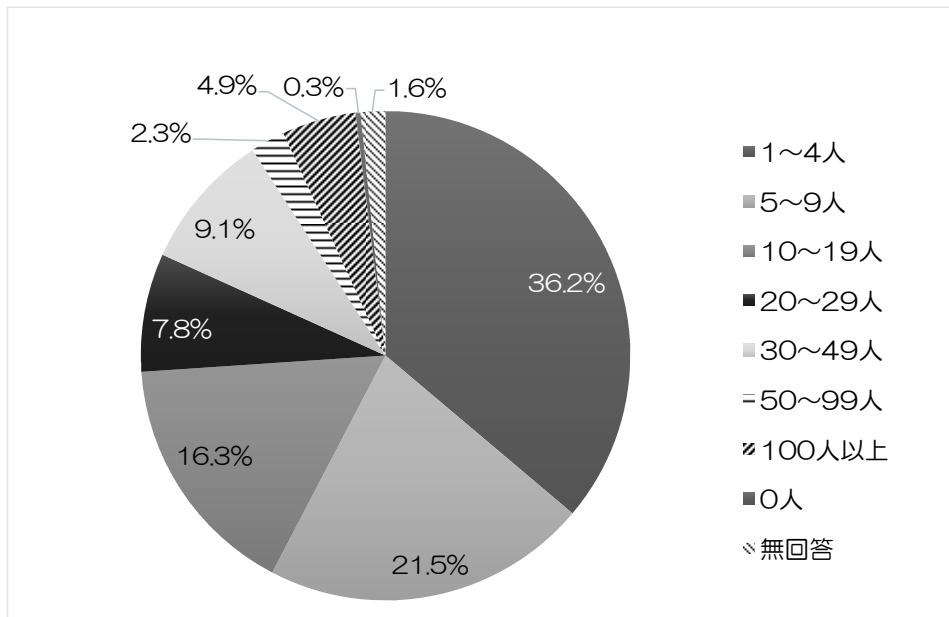
(2) 事業所所在地別 (n = 307)



(3) 操業年数別 (n = 307)



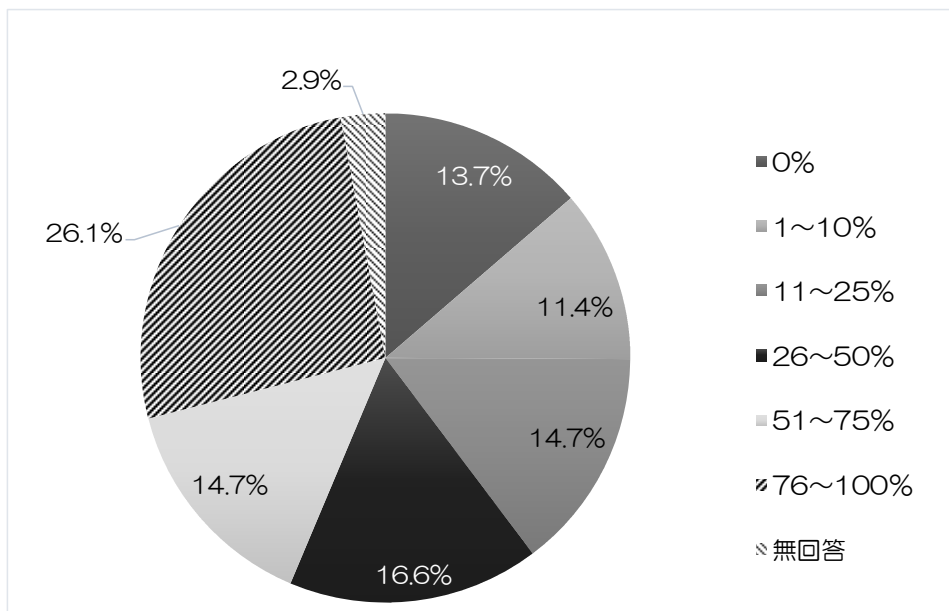
(4) 従業員数別 (n=307)



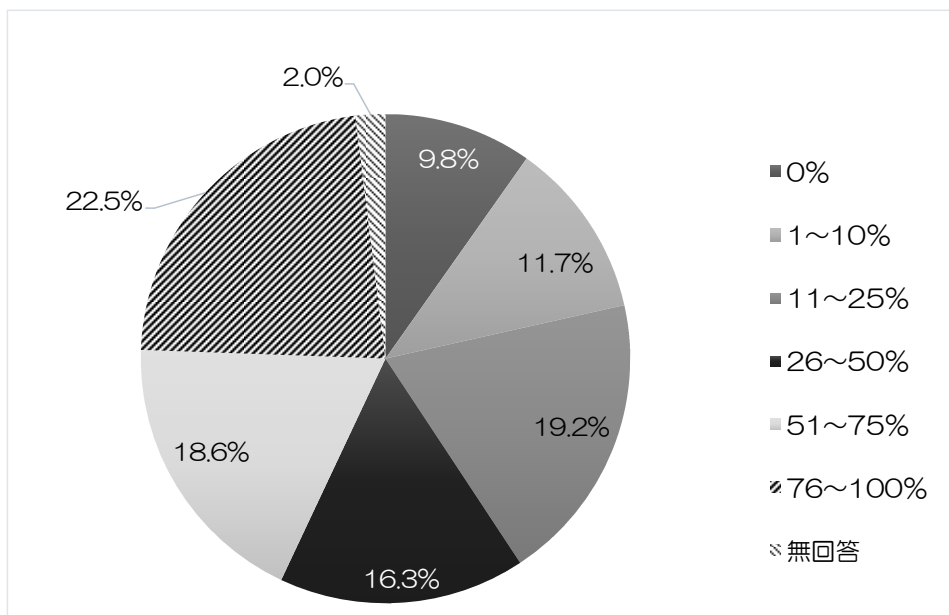
③設問別集計結果報告

(1) 貴事業所の現状について

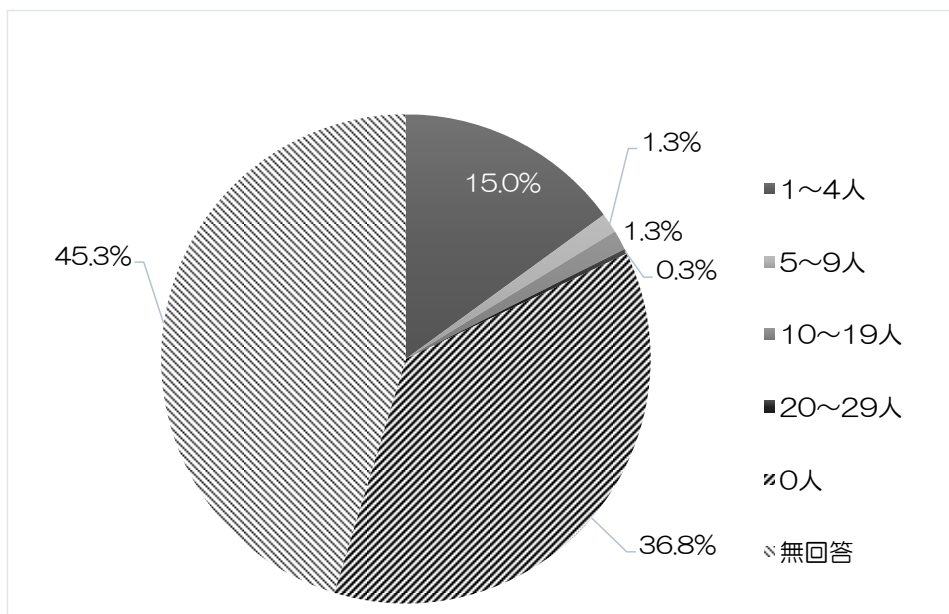
問5. 『貴事業所の全従業員の中で、泉佐野市内在住の社員（パート・アルバイト等を含む）の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。』 (n=307)



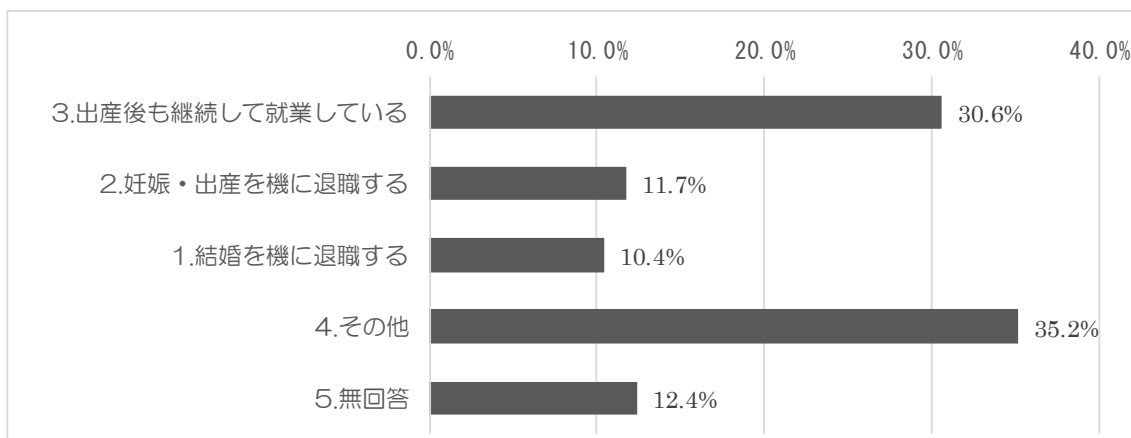
問 6. 『貴事業所の全従業員の中で、女性社員（パート・アルバイト等を含む）の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。』（n=307）



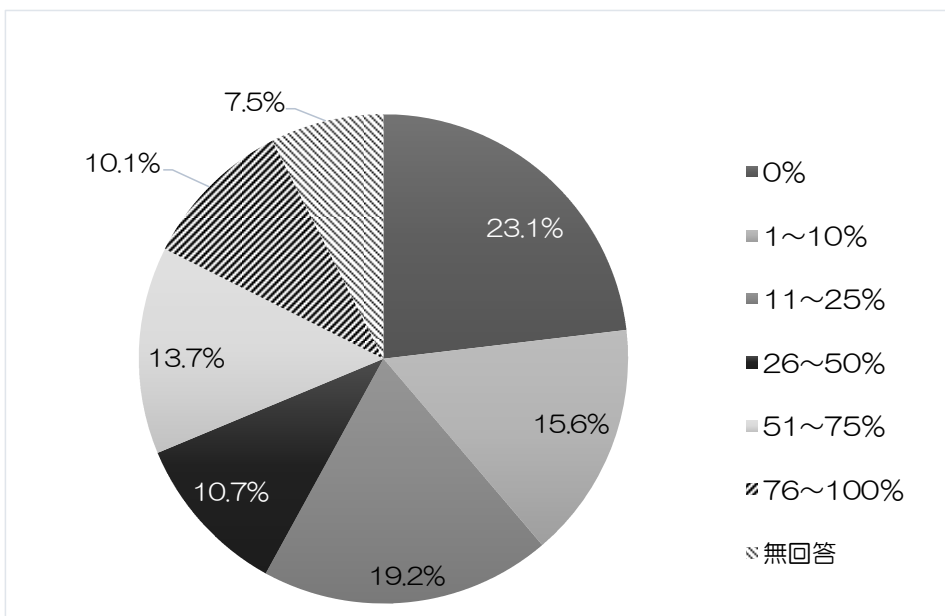
問 7 『貴事業所の全従業員の中で、外国籍の従業員数（パート・アルバイト等を含む）は次のうちどれにあてはまりますか。』（n=307）



問 8. 『貴事業所の女性正社員は、どのようなパターンが最も多いですか。』 (n = 307)



問 9. 『貴事業所の有給休暇取得率は次のうちどれにあてはまりますか。』 (n = 307)



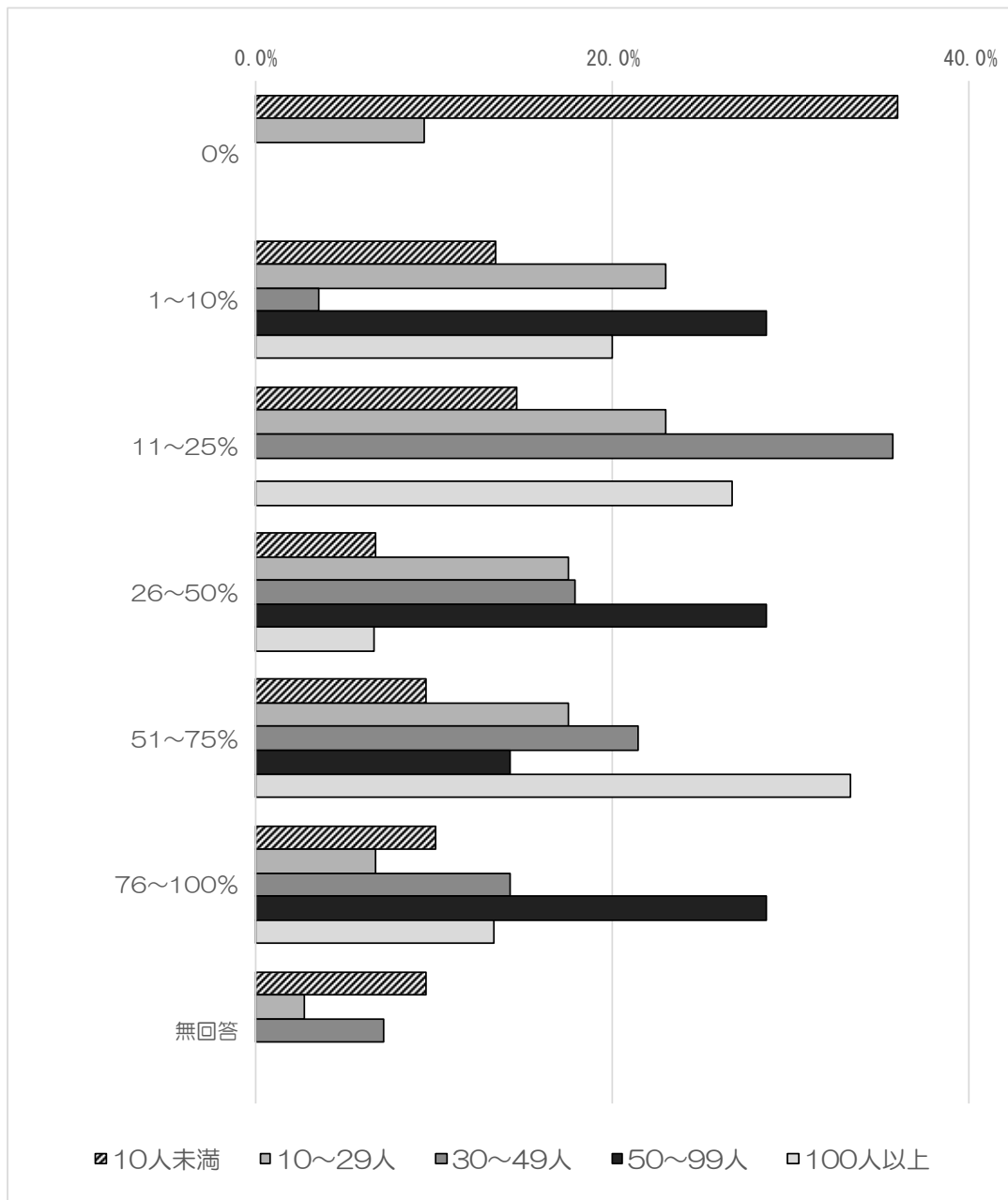
<有給休暇取得率に関する従業員数別の比較>

有給休暇取得率について、事業所の規模による違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

(参照：次ページ【参考】問 9.従業員数別クロス集計)

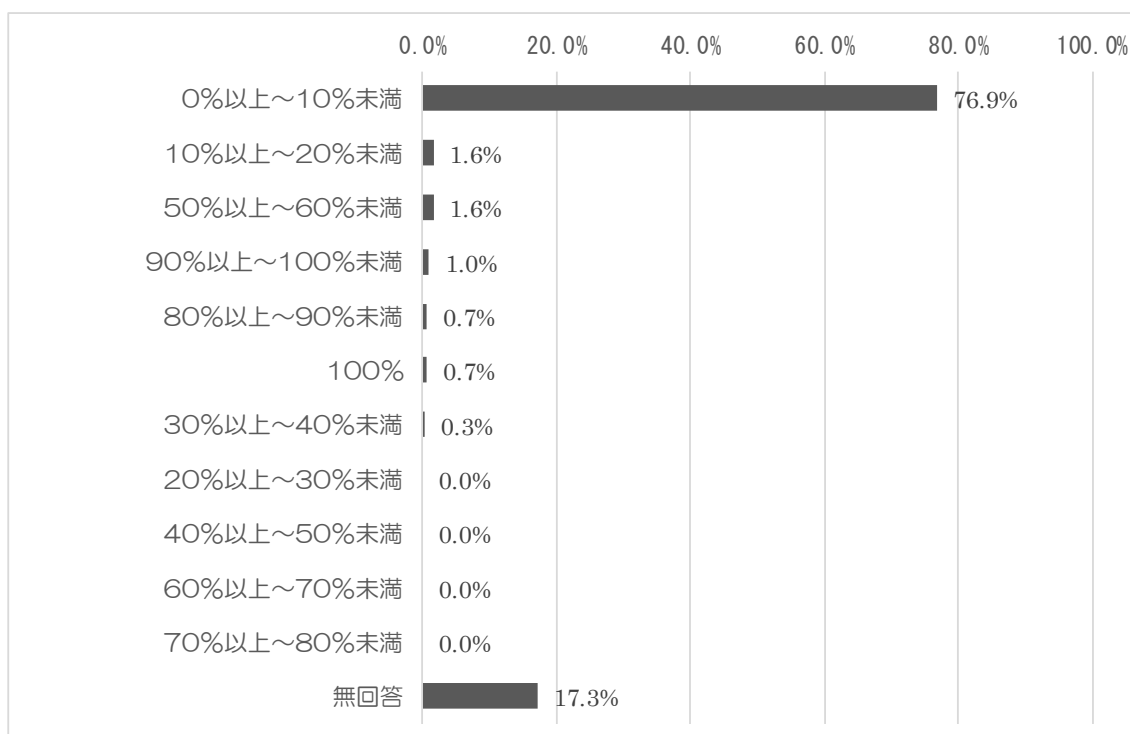
有給休暇取得率が 0% の事業所は、10 人未満、もしくは、10~29 人の事業所で、30 人以上の事業所では有給休暇が取得されています。

【参考】問9. 従業員数別クロス集計

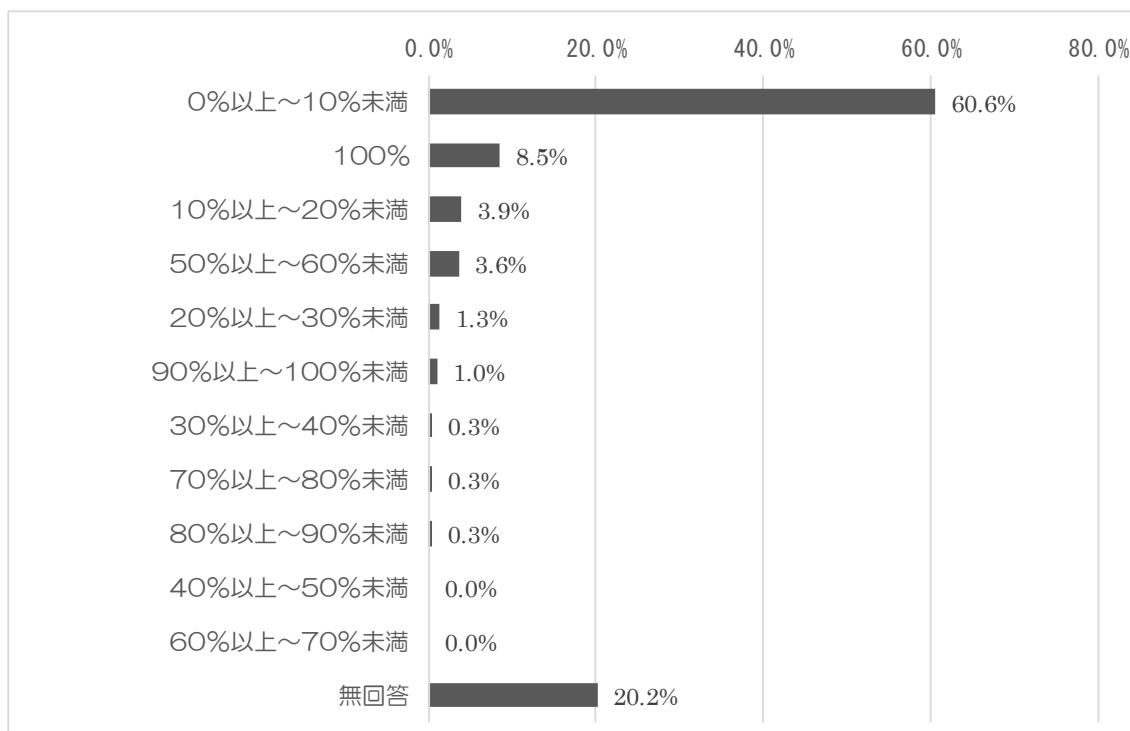


問 10. 『貴事業所における男性・女性の育児休業取得率はおおよそ何%ですか。』 (n = 307)

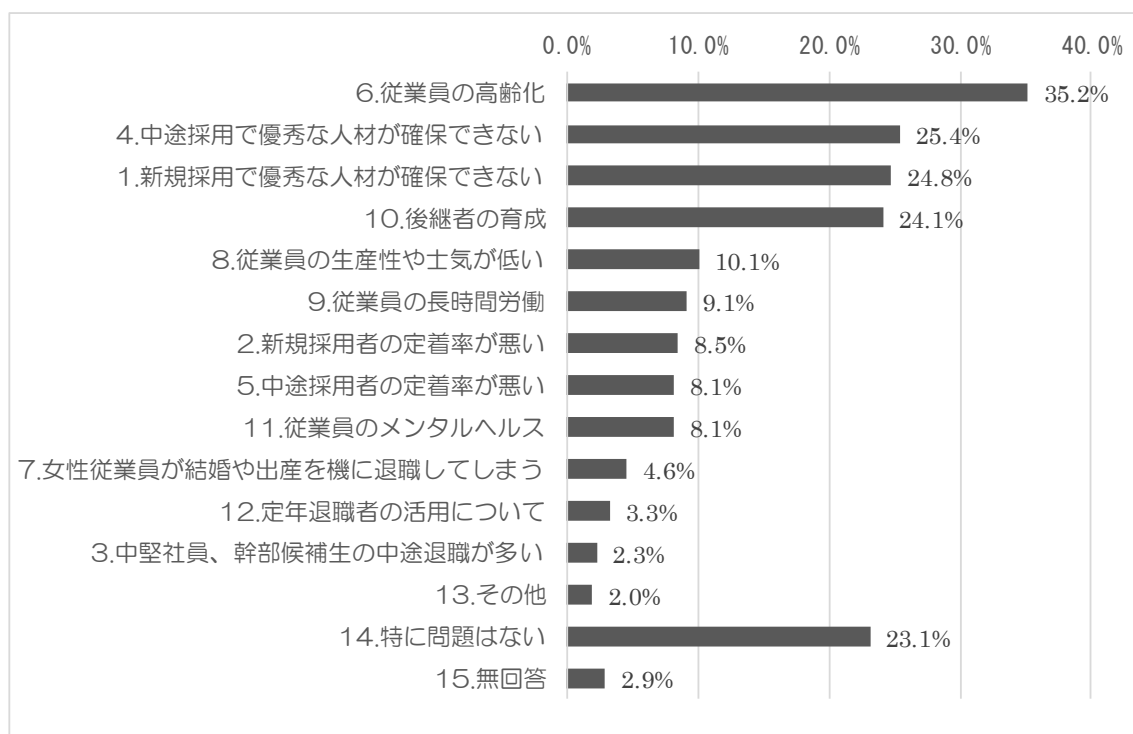
【男性】



【女性】



問 11. 『貴事業所では日ごろ労務管理上どのようなことが課題としてありますか。』（3つまで回答可）（n = 307）



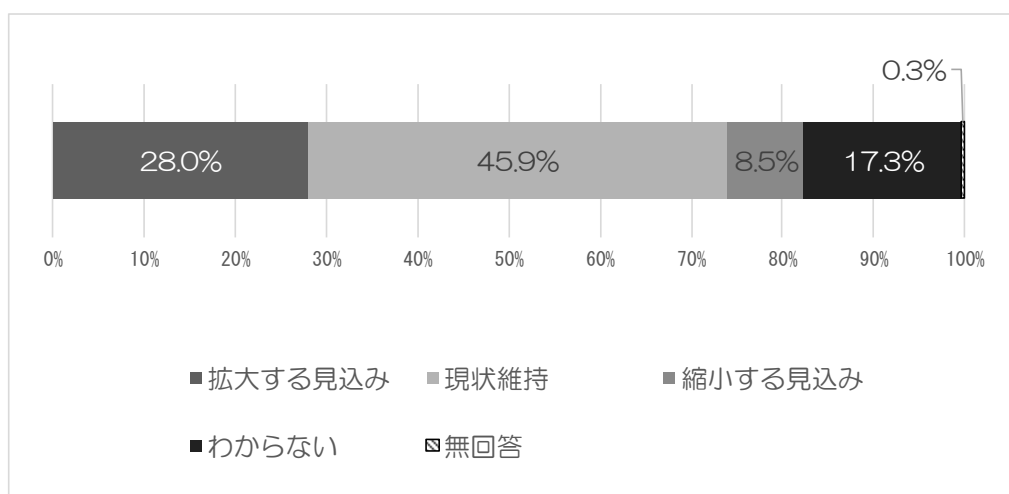
問 12. 『結婚、妊娠、出産後も継続して女性が働くためにどのようなことが必要だと思いますか。』（複数回答可）（n = 307）



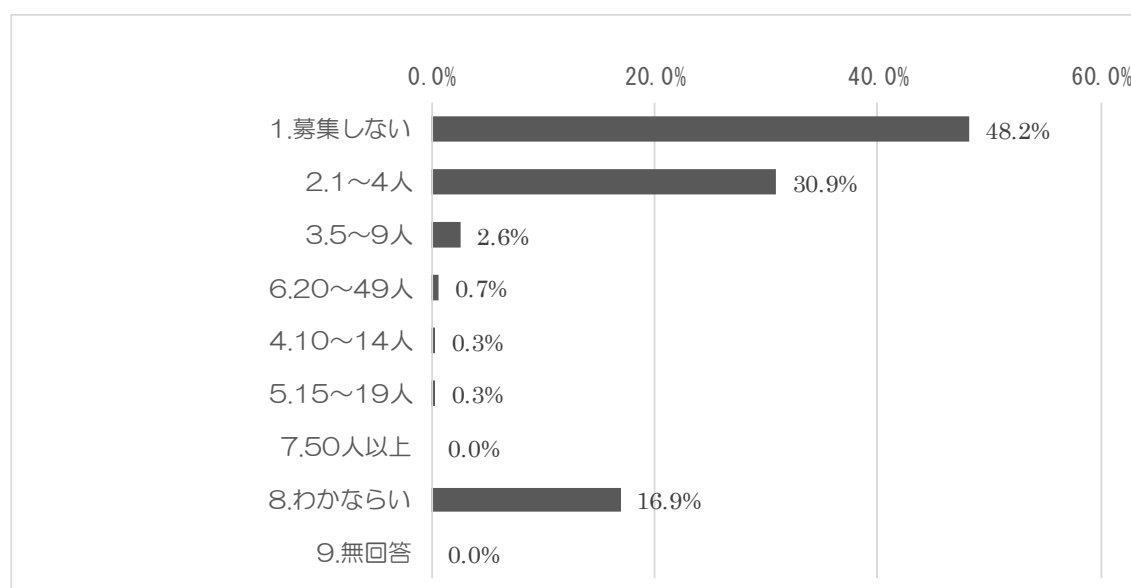
※ 選択肢中の‘子育てを行う従業員’は、男性社員を対象として含む。

(2) 貴事業所の今後の意向について

問 13. 『今後の事業規模の見込みを教えてください。』 (n = 307)



問 14. 『貴事業所で1年間以内に正規雇用を募集する予定はありますか。』 (n = 307)



< 1年間以内に正規雇用を募集する予定に関する所在地別の比較 >

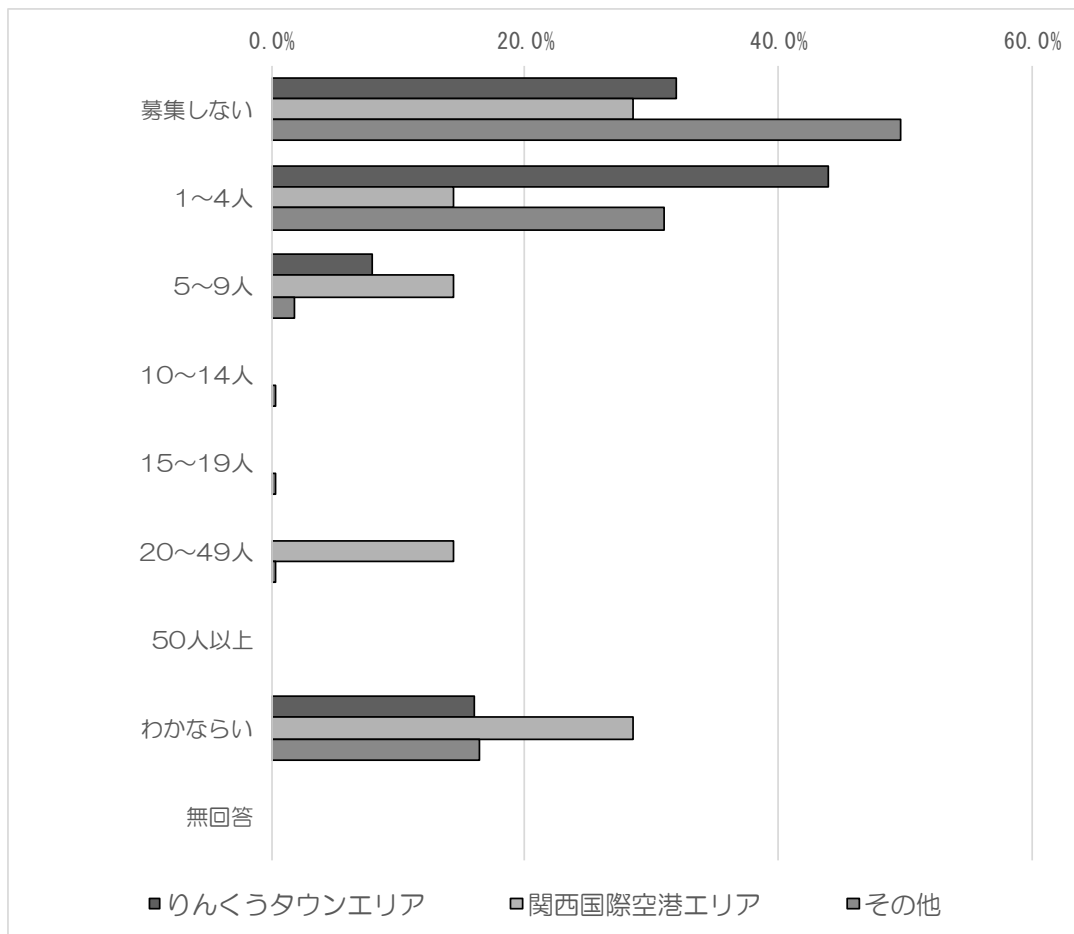
1年間以内に正規雇用を募集する予定について、事業所の所在地による違いがあるのかどうか、クロス集計を行いました。

(参照：次ページ「【参考】問 14.年代別クロス集計」)

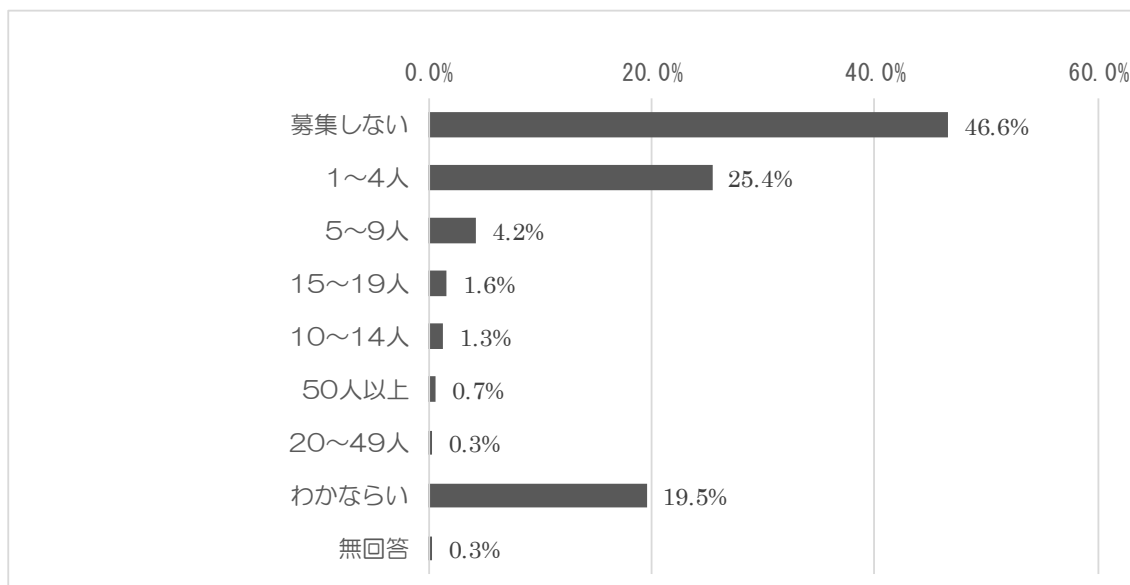
1~5人の雇用予定とするところは、りんくうタウンエリアの事業所が多く、関空エリアの事業所は、5人より多い雇用予定とするところは事業所となっています。

また、「募集しない」予定の事業所は、りんくうタウン及び関空以外のエリアが多い結果となっています。

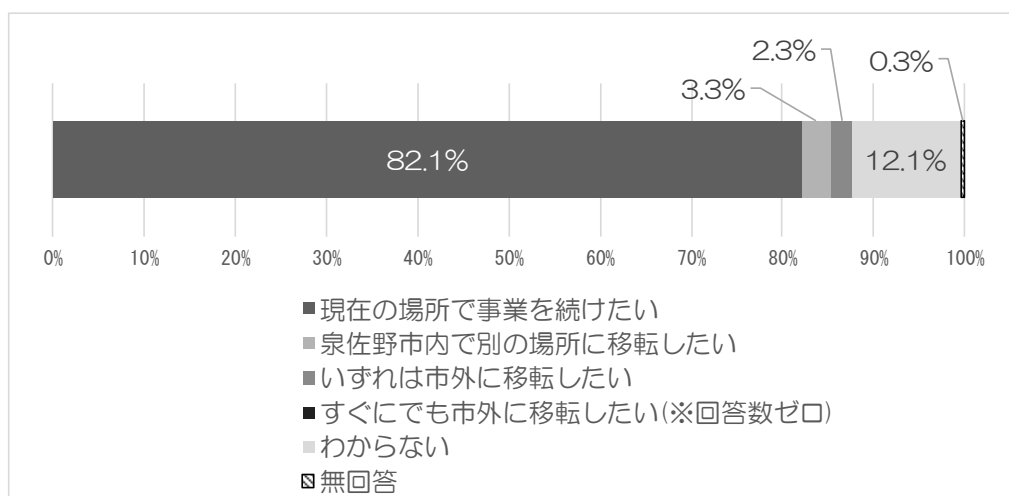
【参考】問 14. 事業所所在地別クロス集計



問 15. 『貴事業所 1 年間以内に非正規雇用を募集する予定はありますか。』 (n = 307)

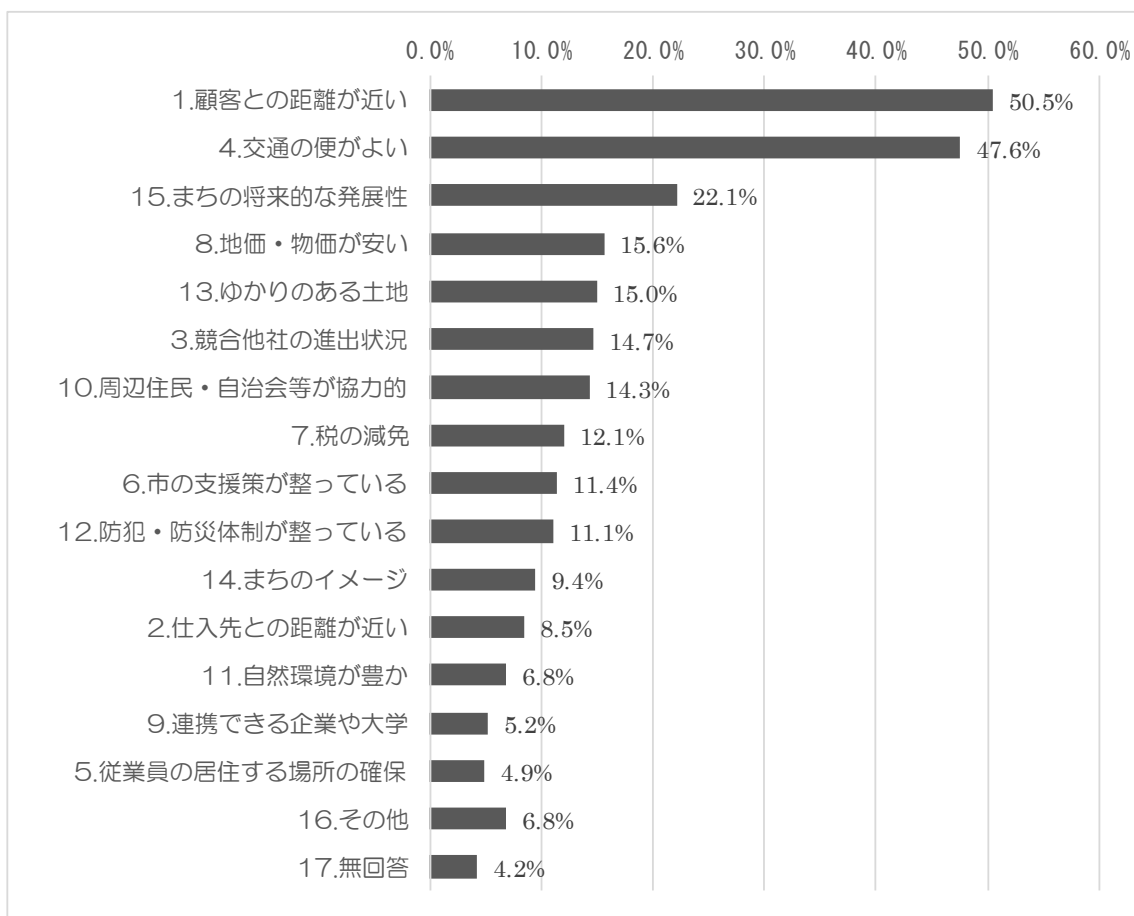


問 16. 『今後も現在の場所で事業を続けたいと思われませんか。』 (n = 307)

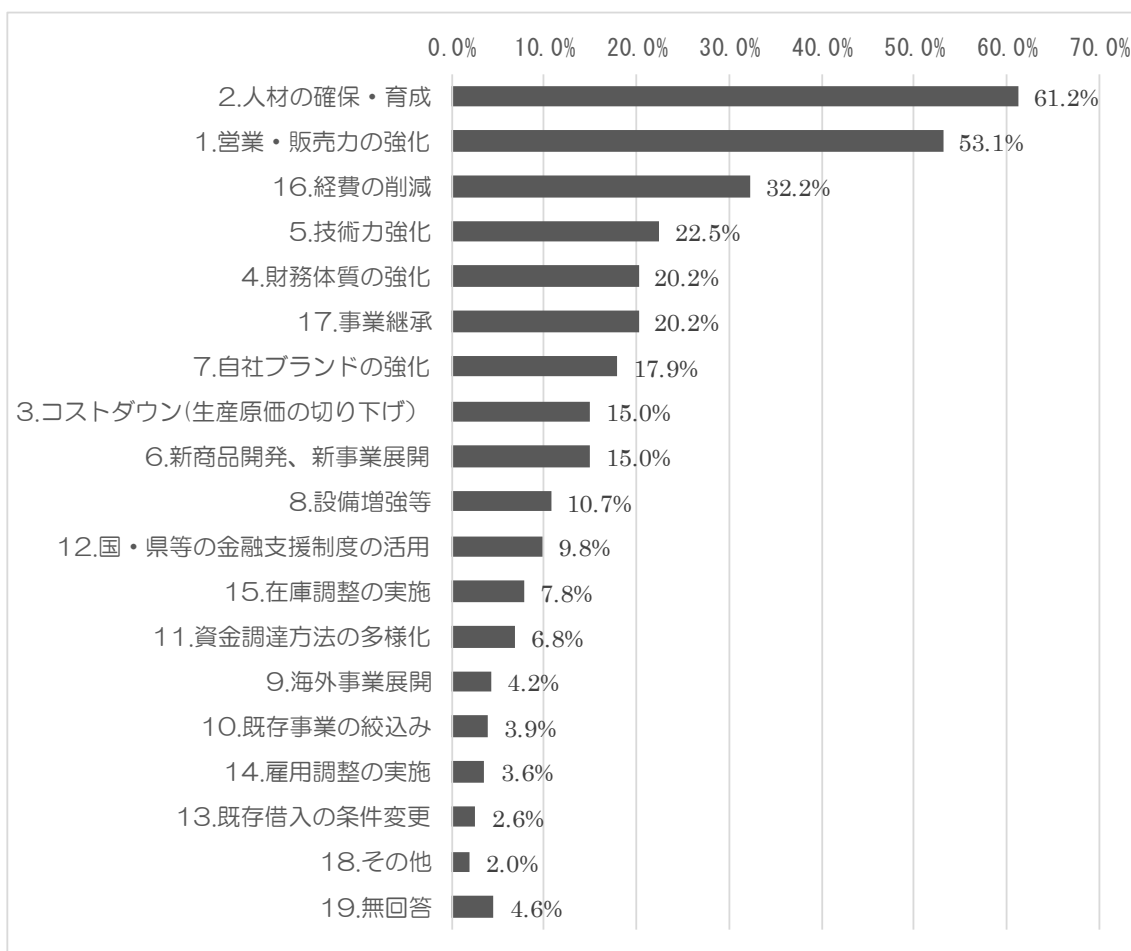


問 17. 『貴事業所が拠点の立地を検討する際に重視する点は何ですか。』（複数回答可）

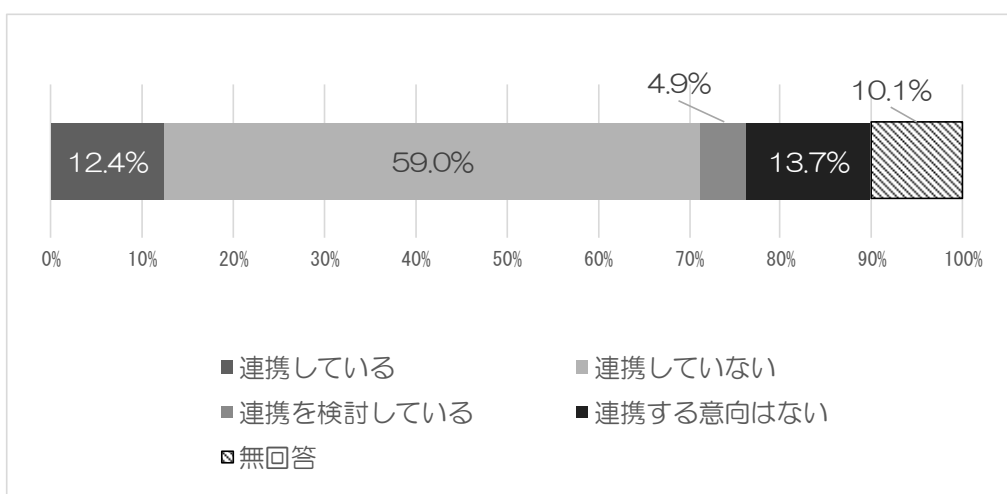
(n = 307)



問 18. 『今後貴事業所が重要視する経営上の課題は何ですか。』（複数回答可） (n = 307)

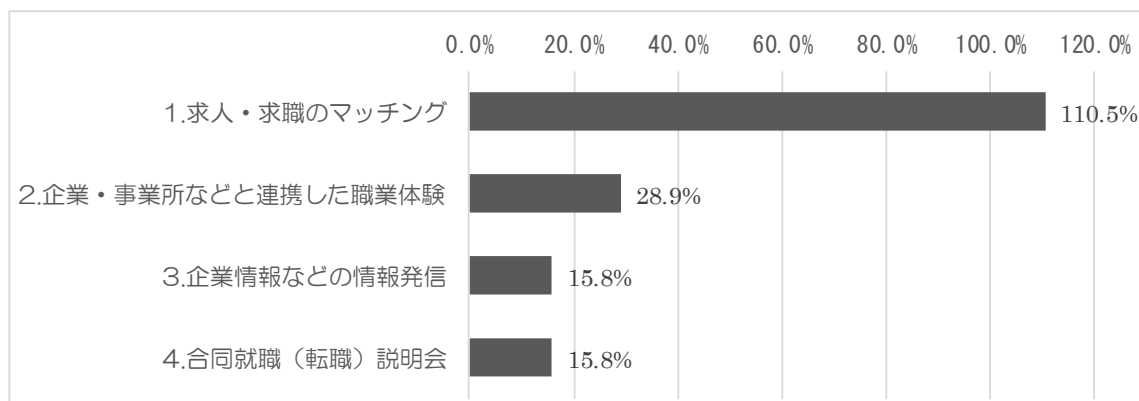


問 19. 『生産・技術連携（産学連携・産産連携）について行っていますか。』（n = 307）

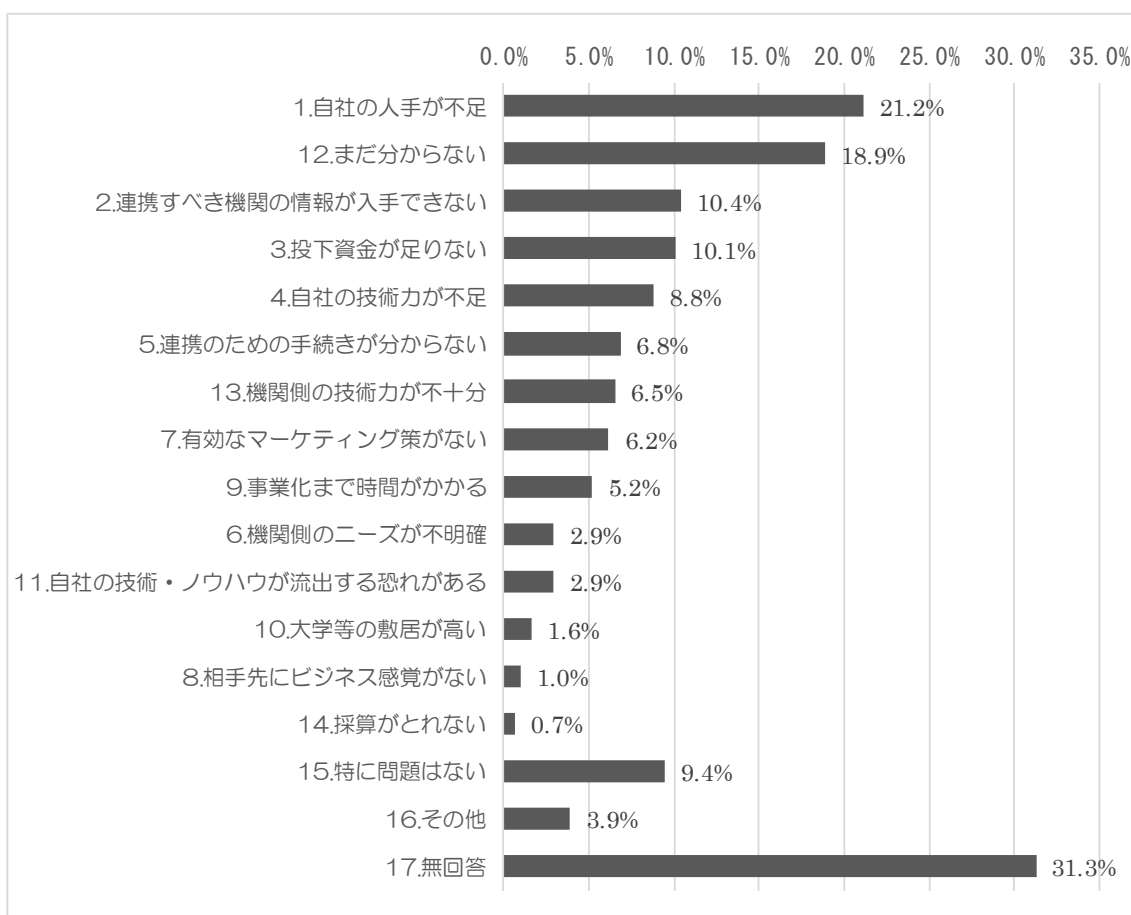


問 20. 『生産・技術連携（産学連携・産産連携）を行っている場合、相手先はどこですか。』

（問 19 で「1」の回答者） （n = 38）



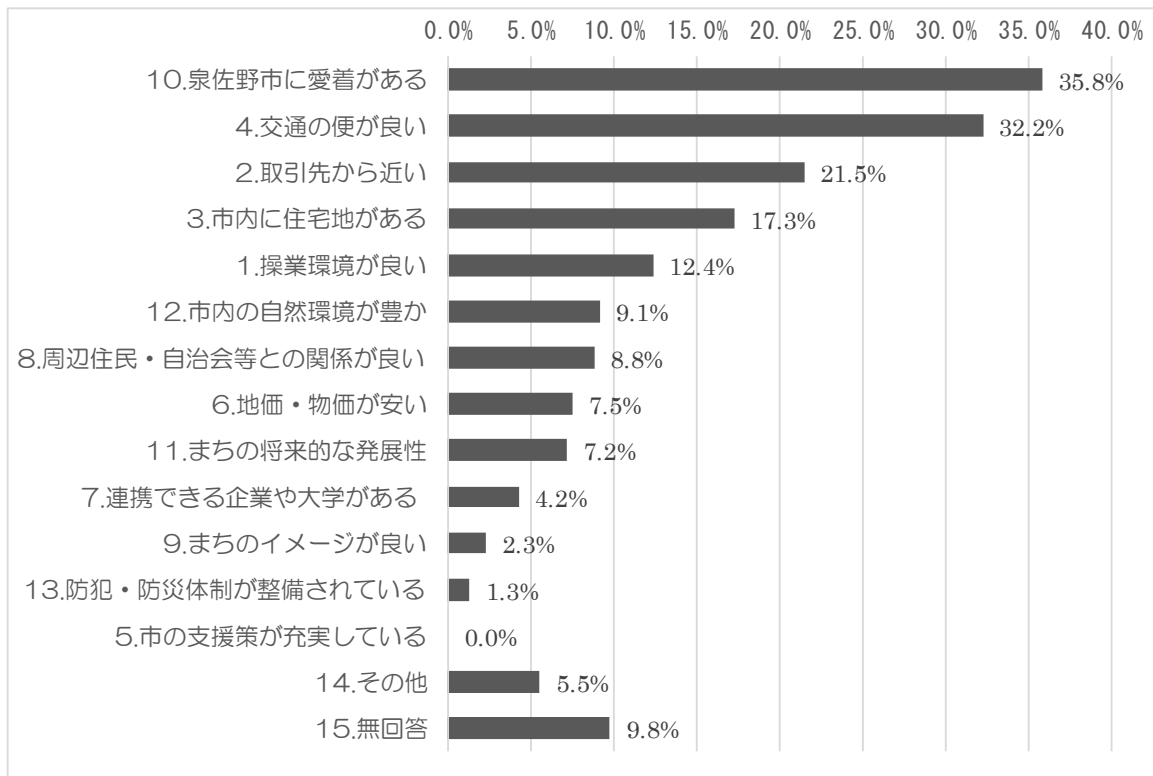
問 21. 『今後貴事業所が生産・技術連携（産学連携・産産連携）を行う場合、課題となることは何ですか。』（複数回答可）（n = 307）



(3) 泉佐野市について

問 22. 『泉佐野市で事業を続ける中で、泉佐野市がよいと思う点は何ですか。』（複数回答可）

(n = 307)

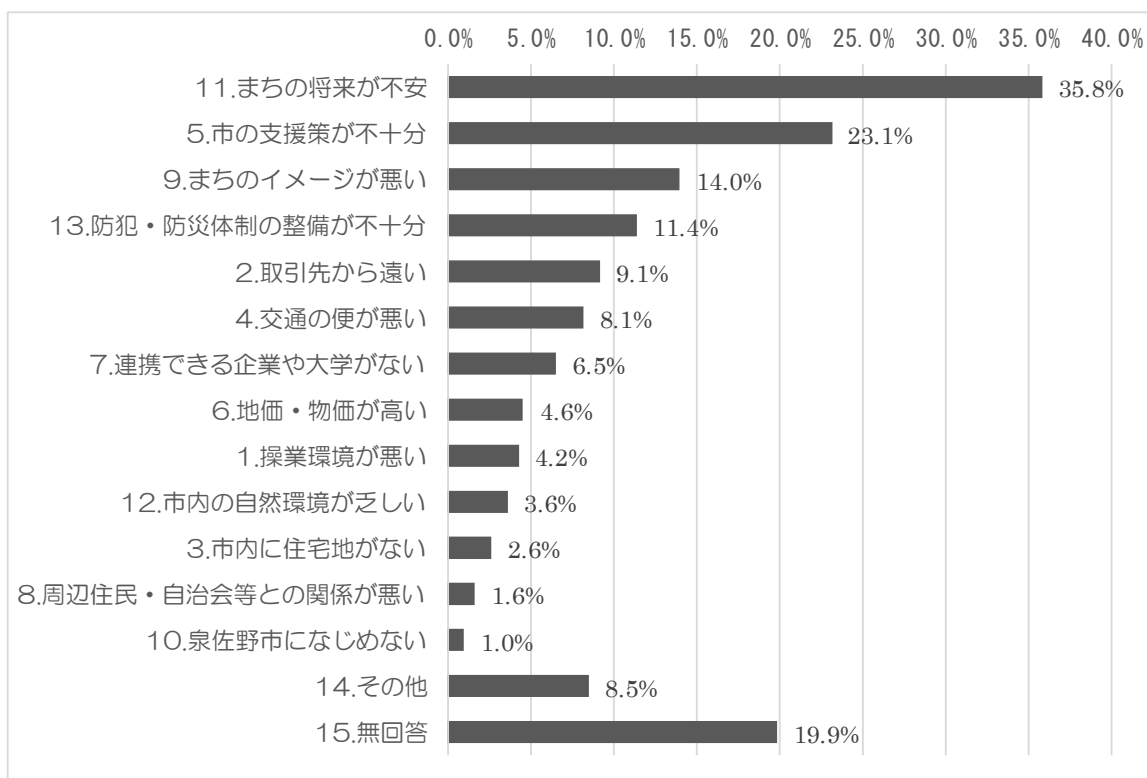


<自由コメント欄の主な回答>

①関空が近いので、海外の方々との交流がうまくいっている。

②関空・りんくうタウン中心の自治体運営は、関空・泉佐野市・泉州地区の発展に直結すると思う。

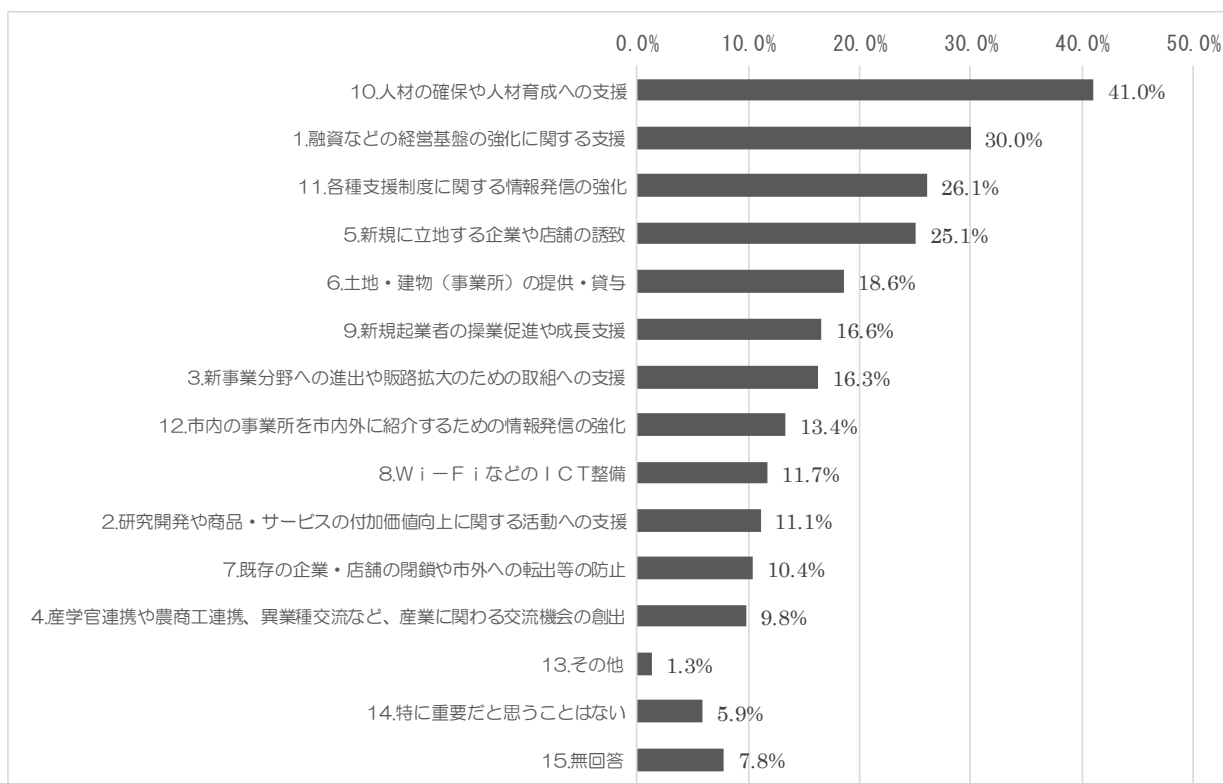
問 23. 『泉佐野市で事業を続ける中で、泉佐野市で足りていないと思う点は何ですか。』（複数回答可）（n = 307）



<自由コメント欄の主な回答>

- ①りんくう周辺の開発の遅れ、地場産業の衰退。
- ②商店街がシャッター通りにならない様、市の支援がもっと必要だと思います。
- ③海外からの旅行者の通過点だけになっている。

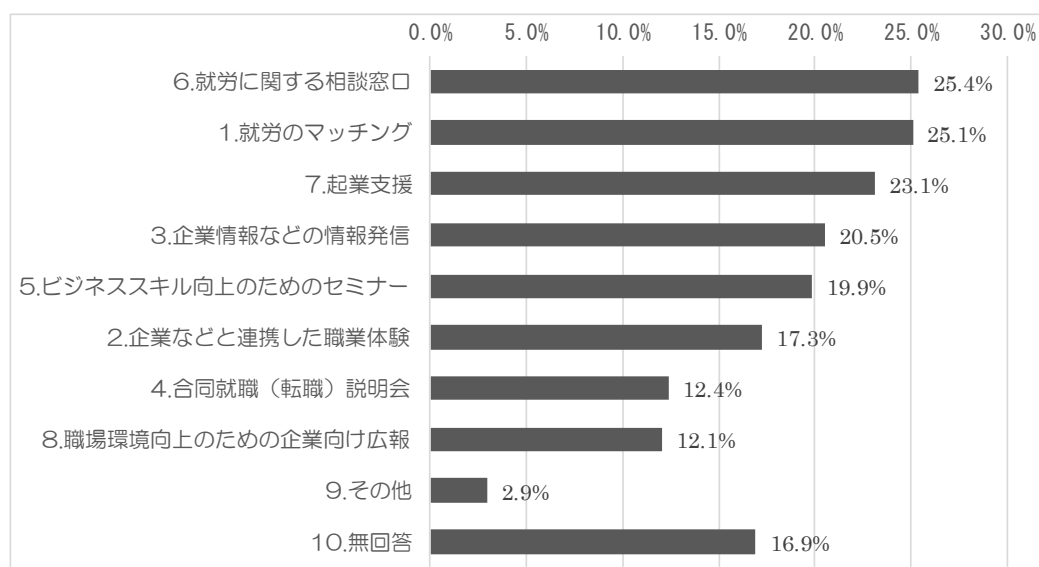
問 24. 『産業振興に関する行政の取組について、貴事業所が最も重要だと考えるものはどれですか。』（複数回答可）（n = 307）



<自由コメント欄の主な回答>

①地域での供給と需要が完結するシステムづくり。

問 25. 『泉佐野市で就労機会の向上等に向けて、次の行政サービスのうち、必要だと考えるものはどれですか。』（複数回答可）（n = 307）



問 26. 『泉佐野市が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるために、市としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。』

<主な回答>

- ①3人目、4人目の子育て支援策。
- ②古民家と農地活用、空家の低価での貸出。
- ③農業の活性化(貸し農園を増やす。社会人でも週末に学べる農業研修基幹の設置。外国人を研修するなど農業を通じた交流の活性化。)
- ④シャッター商店街となってしまうつばさ通、春日通商店街などの活性の手助け。店舗貸出の援助など。

4-1. 転出者アンケート調査

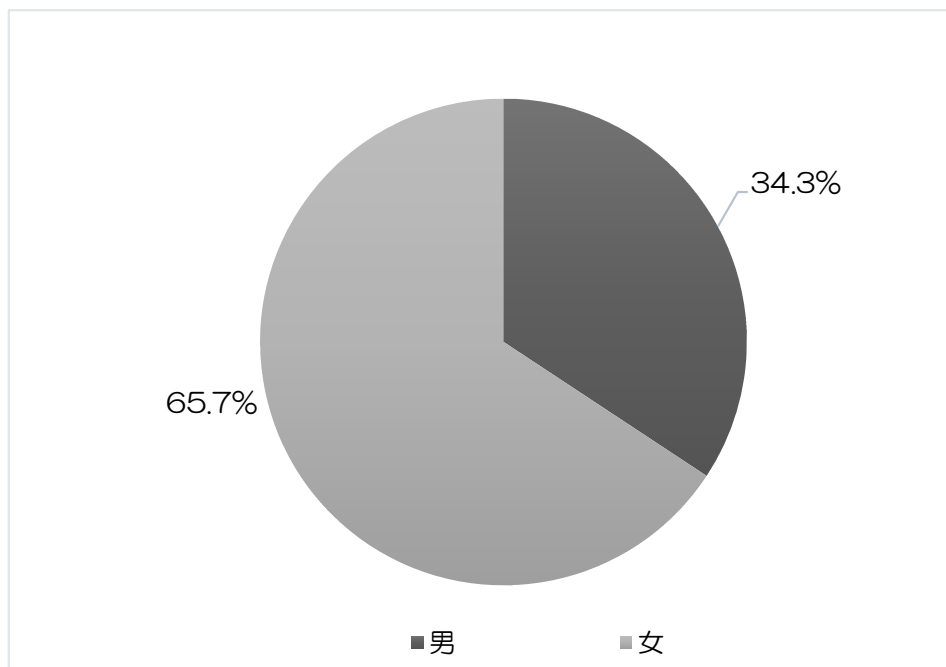
(対象：転出した市民（手続き窓口配布）)

①配布数・回答数・回収率

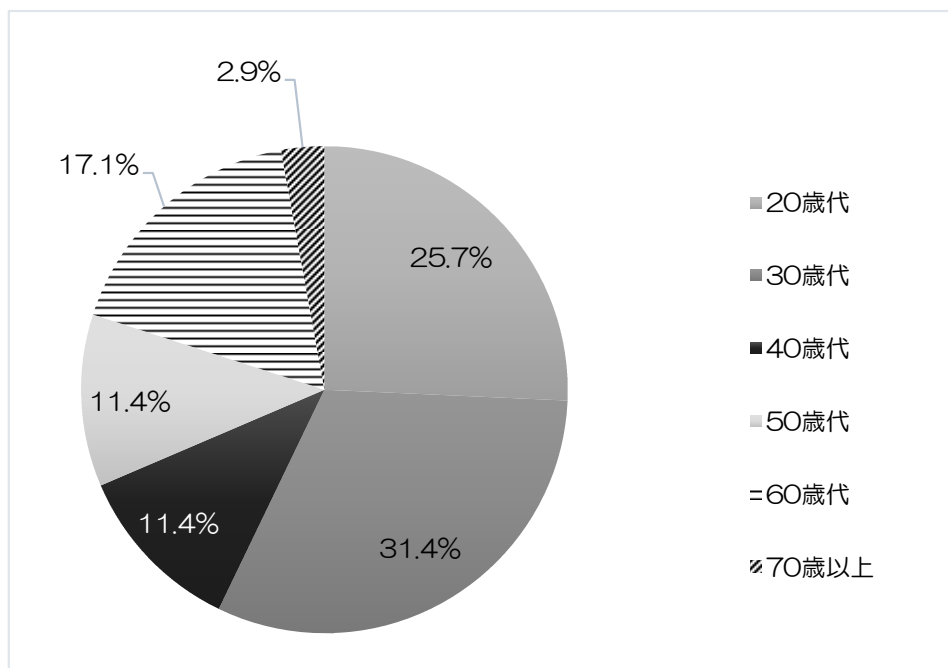
・配布数	296件
・回答数	35件
・回収率	11.8%

②回答者の属性について

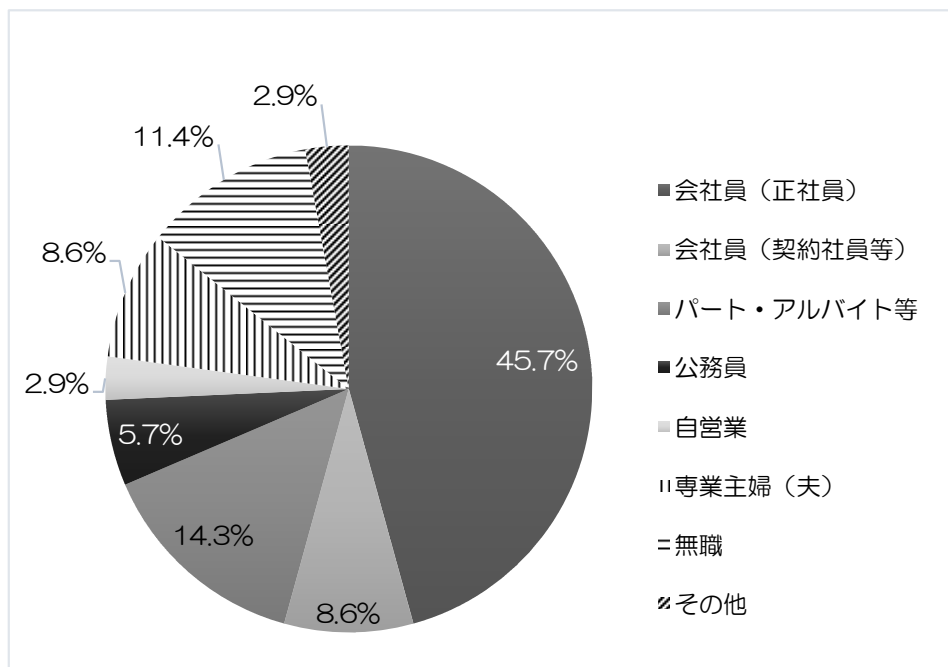
(1) 性別 (n=35)



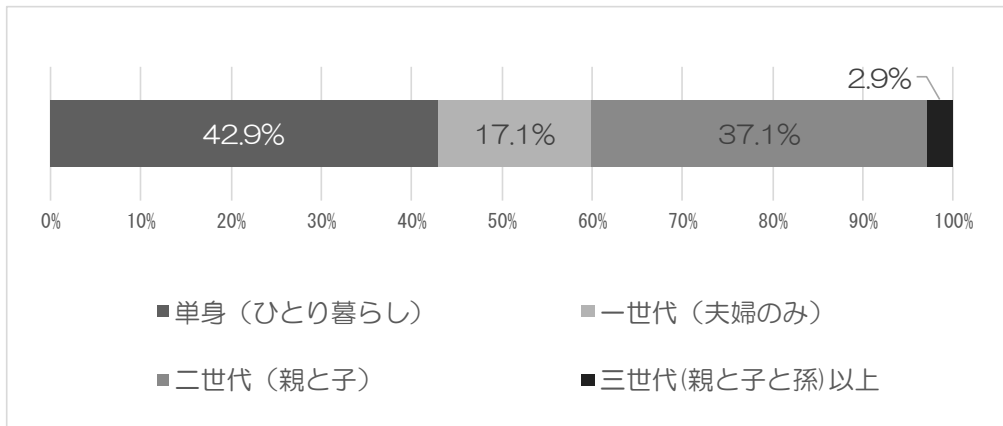
(2) 年齢別 (n = 35)



(3) 職業別 (n = 35)



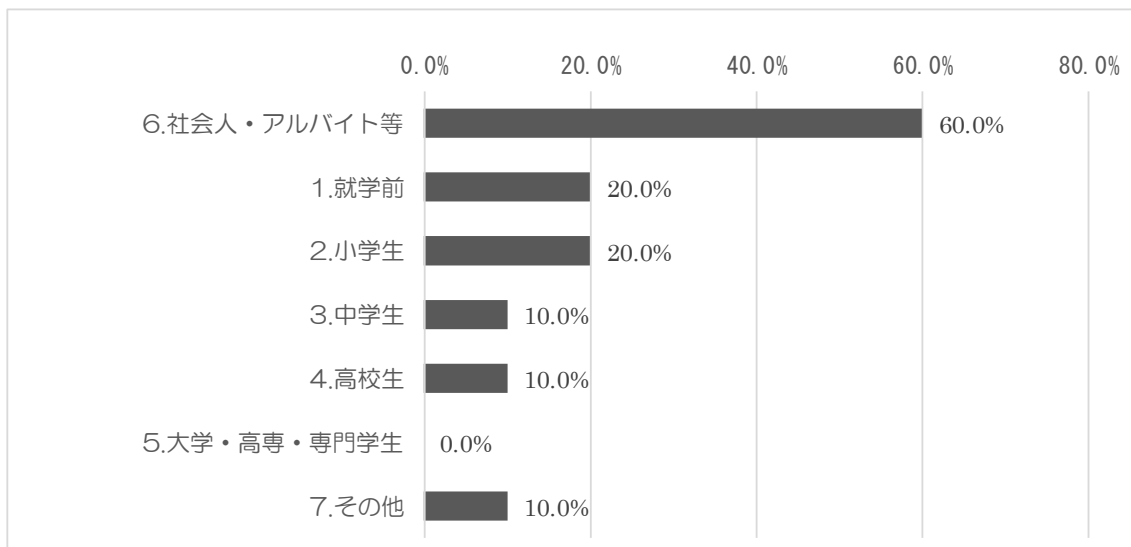
(4) 家族構成別 (n=35)



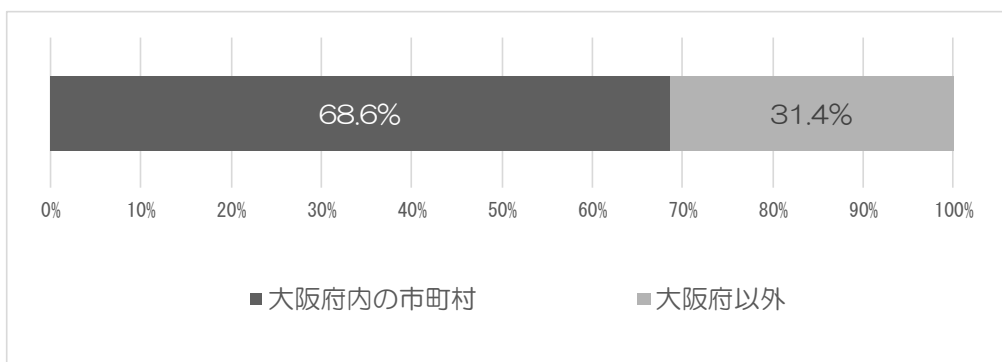
③設問別集計結果報告

(1) あなたご自身や、ご家族のことについて

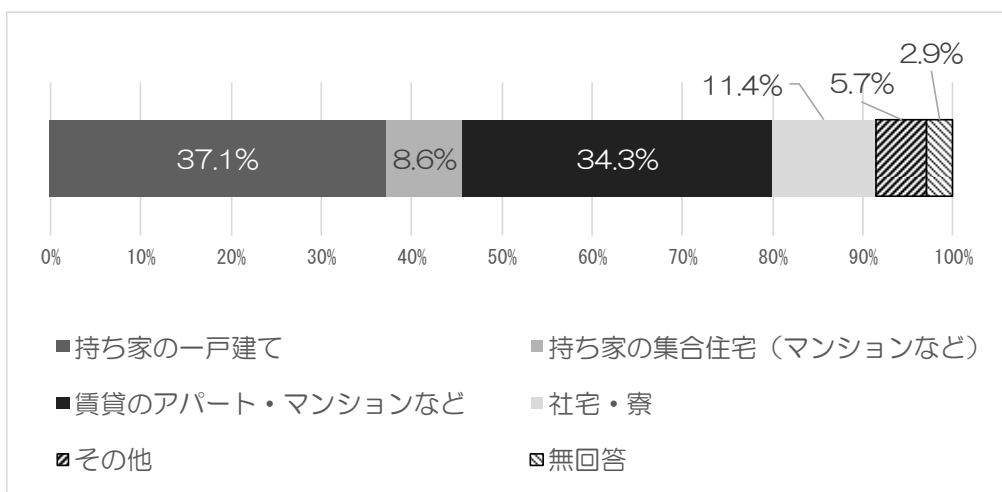
問5. 『お子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか。』 (n=10)



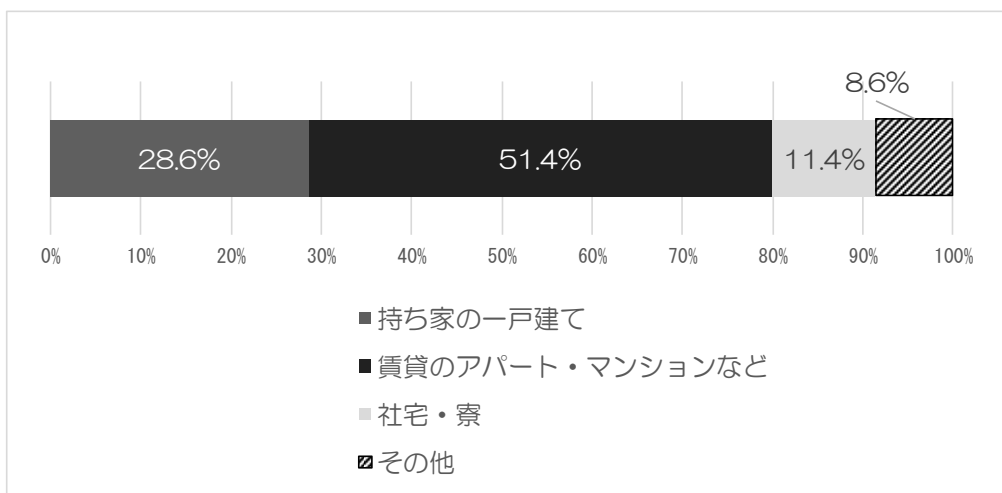
問 6. 『どちらへ転出されましたか。』 (n = 35)



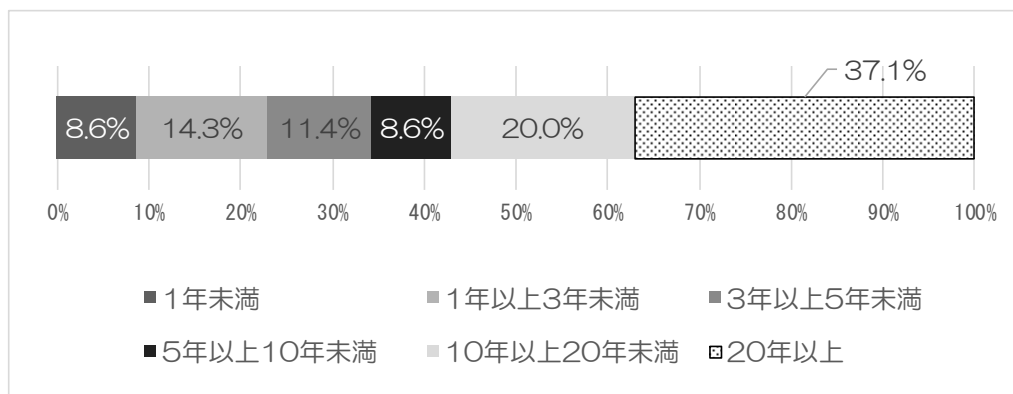
問 7. 『泉佐野市でのあなたのお住まいについて。』 (n = 35)



問 8. 『転出後のあなたのお住まいについて。』 (n = 35)

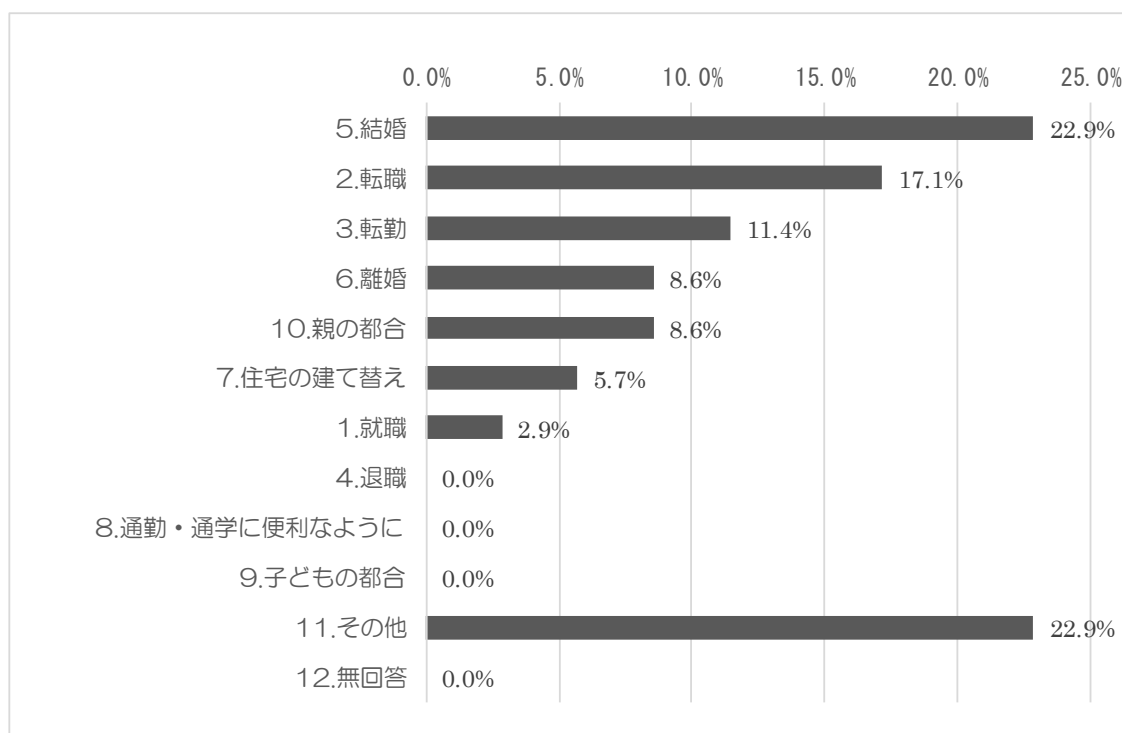


問 9. 『泉佐野市での居住年数は、何年でしたか。(通算の居住年数を合わせて)』 (n = 35)

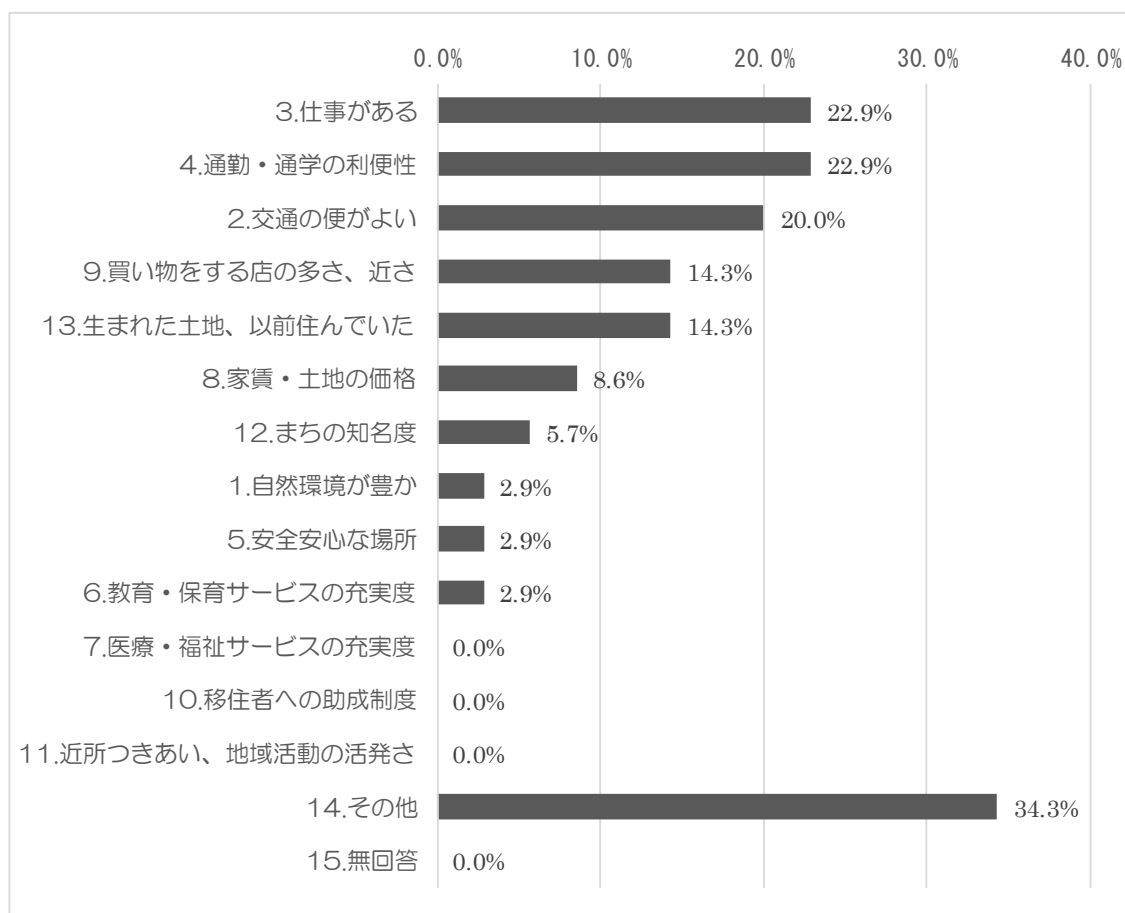


(2) 転出の理由について

問 10. 『転出することになった最も大きなきっかけは何ですか。』 (n = 35)



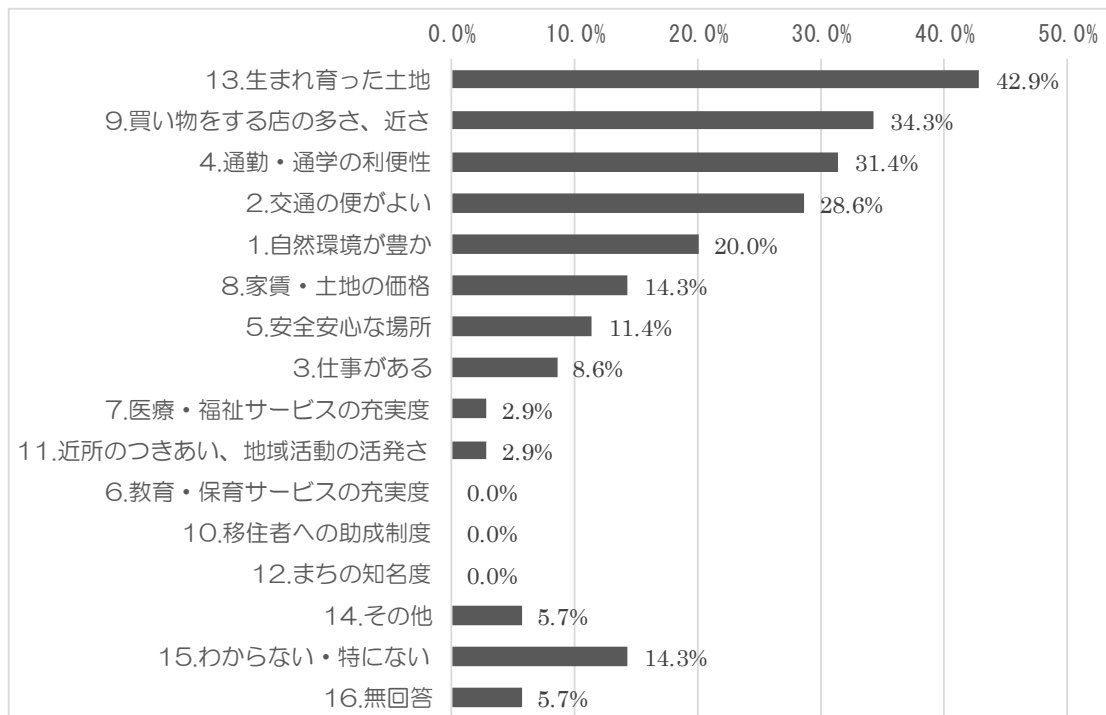
問 11. 『泉佐野市外に住まいを決めた主な理由は何ですか。』（3つまで回答可） （n = 35）



(3) 住みやすさについて

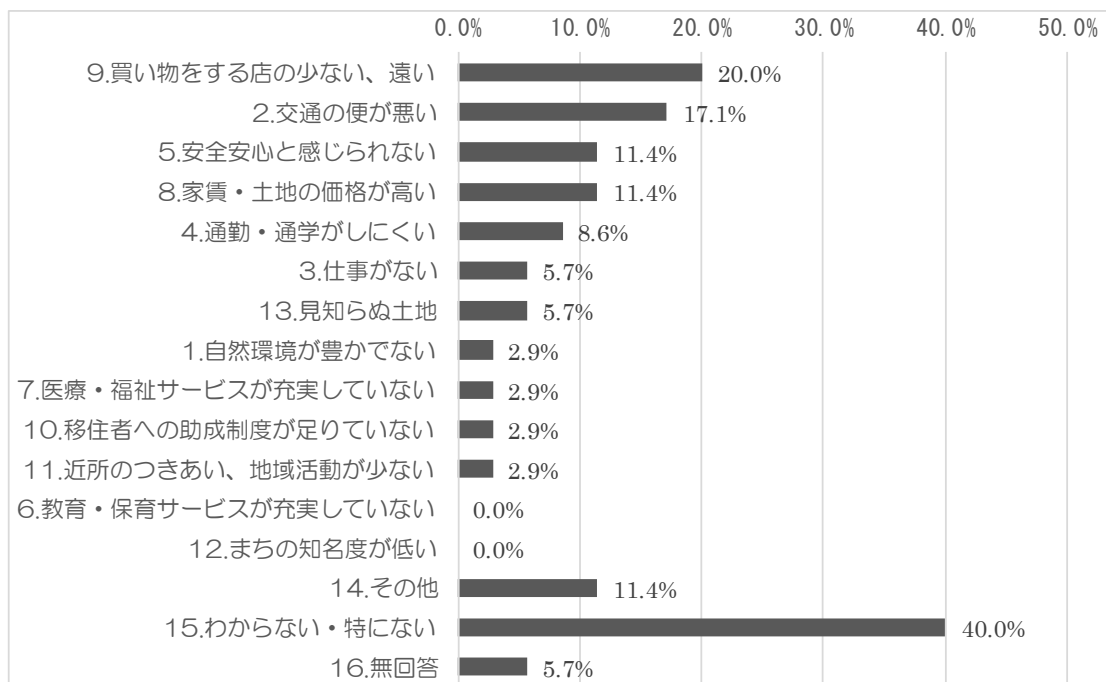
問 12. 『泉佐野市が住みやすかったと感じる点はどういった点ですか。』（複数回答可）

(n = 35)



問 13. 『泉佐野市が住みにくかったと感じる点はどういった点ですか。』（複数回答可）

(n = 35)



4-2. 転入者アンケート調査

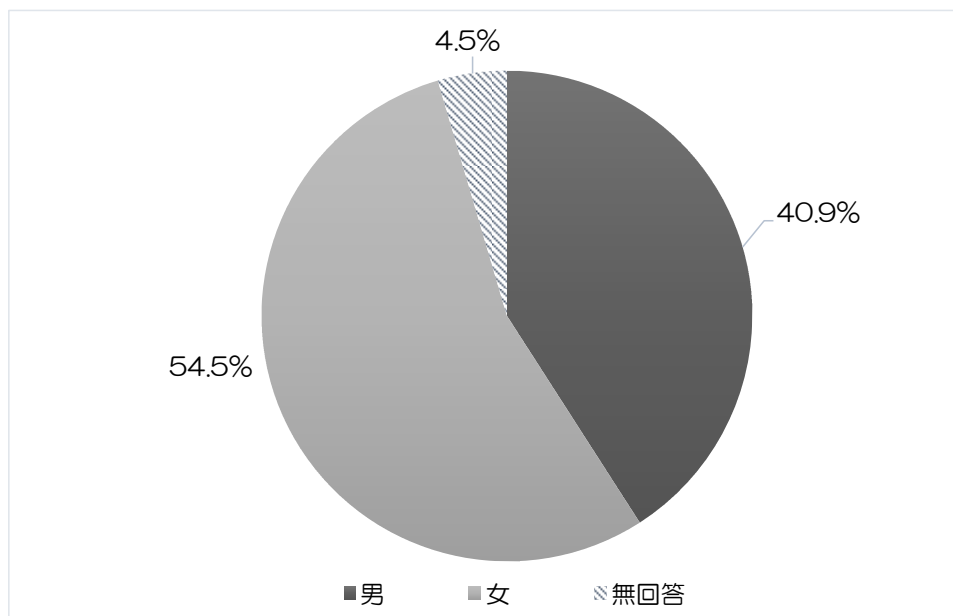
(対象：転入した市民（手続き窓口配布）)

①配布数・回答数・回収率

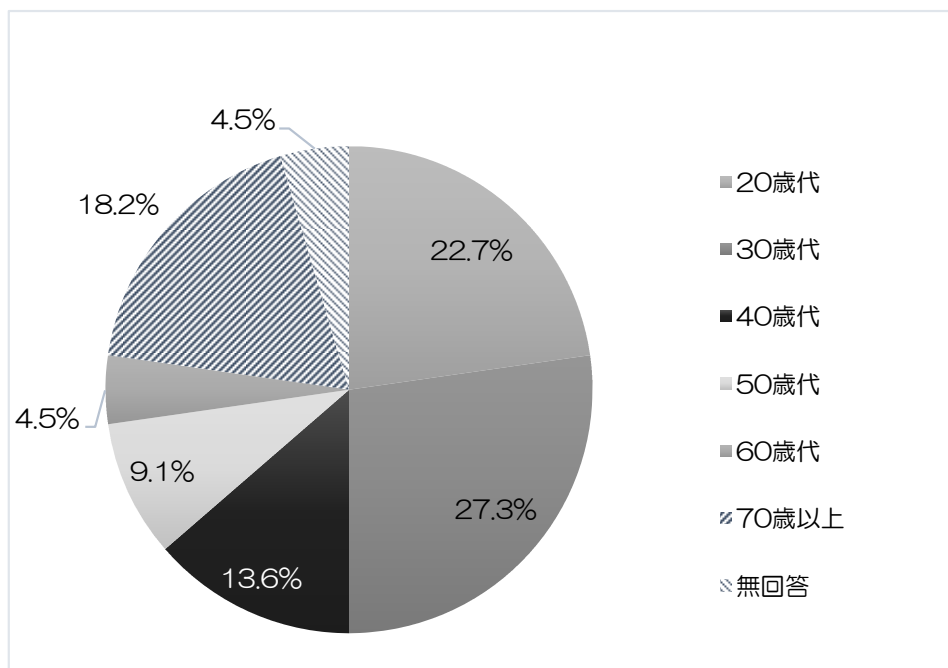
・配布数	197件
・回答数	22件
・回収率	11.2%

②回答者の属性について

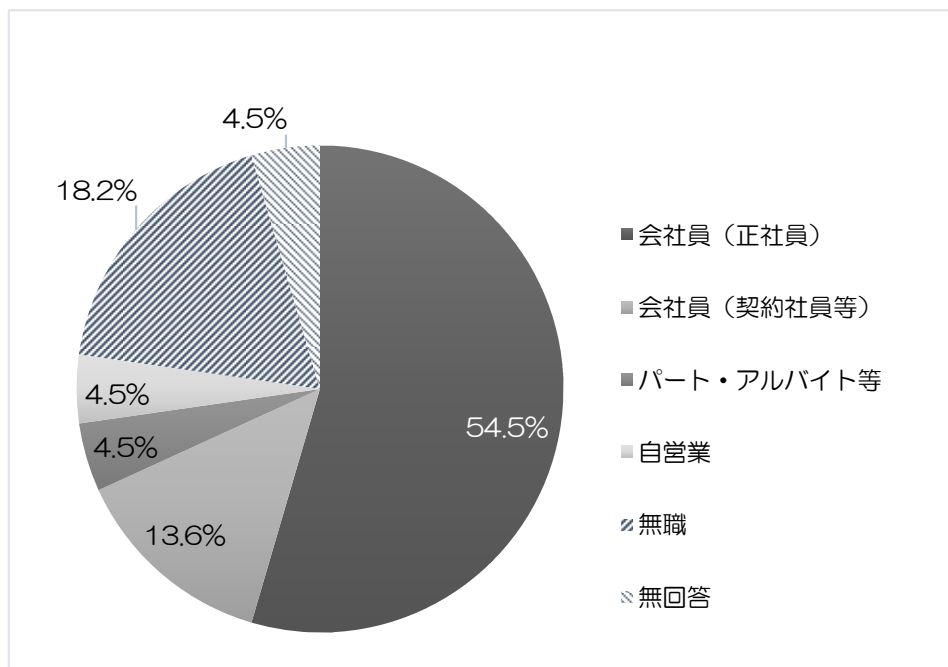
(1) 性別 (n=22)



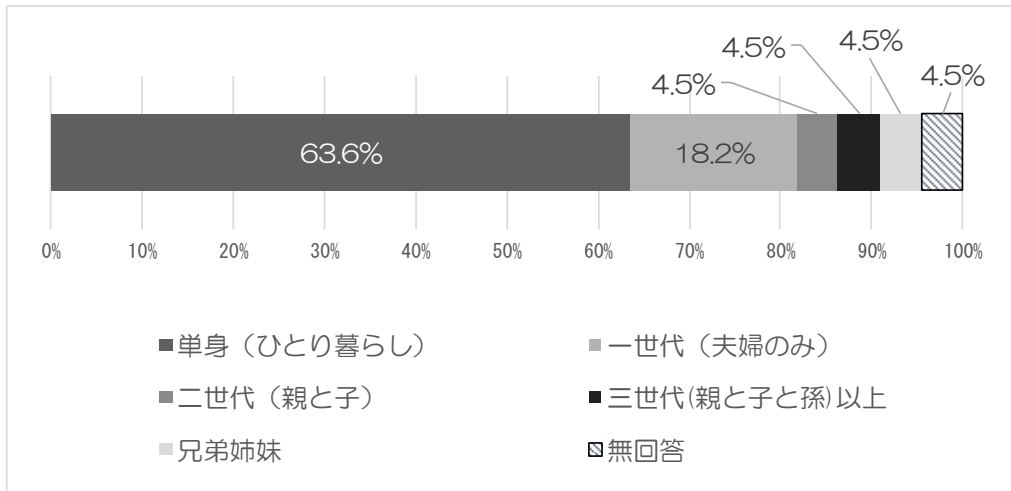
(2) 年齢別 (n = 22)



(3) 職業別 (n = 22)



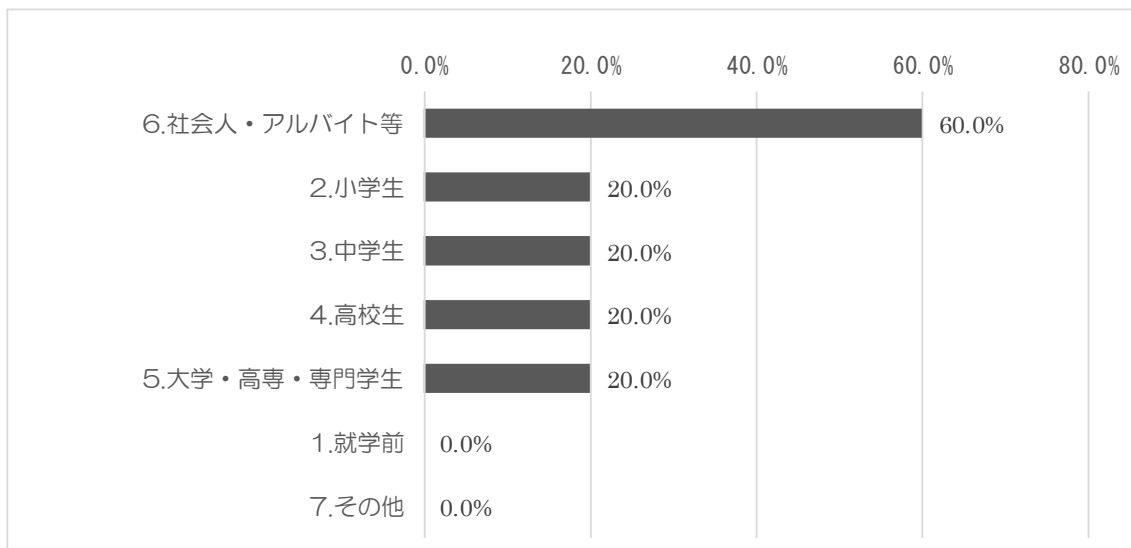
(4) 家族構成別 (n=22)



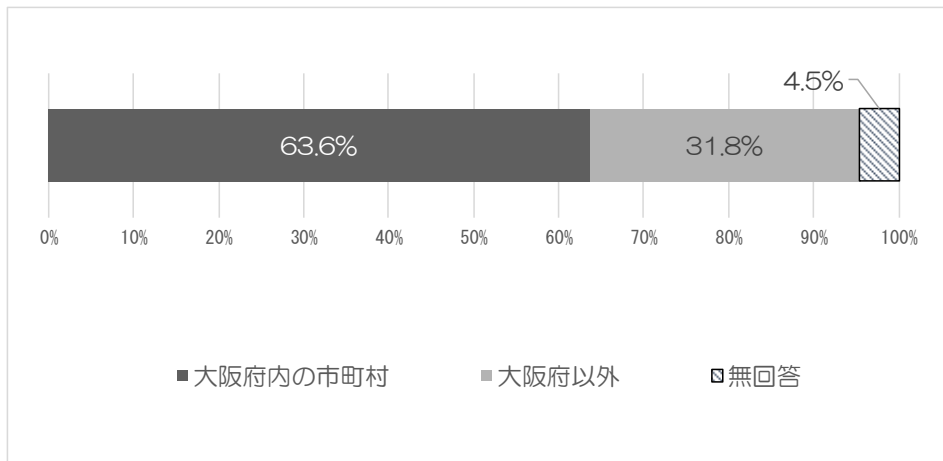
③設問別集計結果報告

(1) あなたご自身や、ご家族のことについて

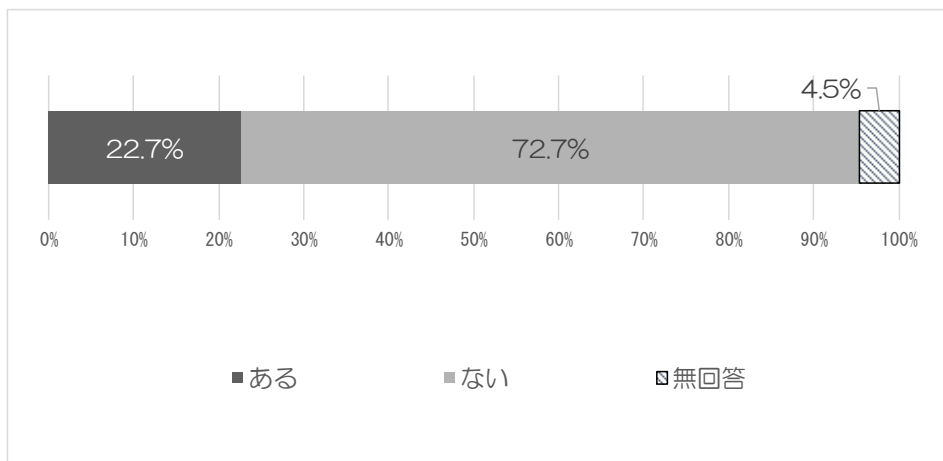
問5. 『お子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか。』 (n=5)



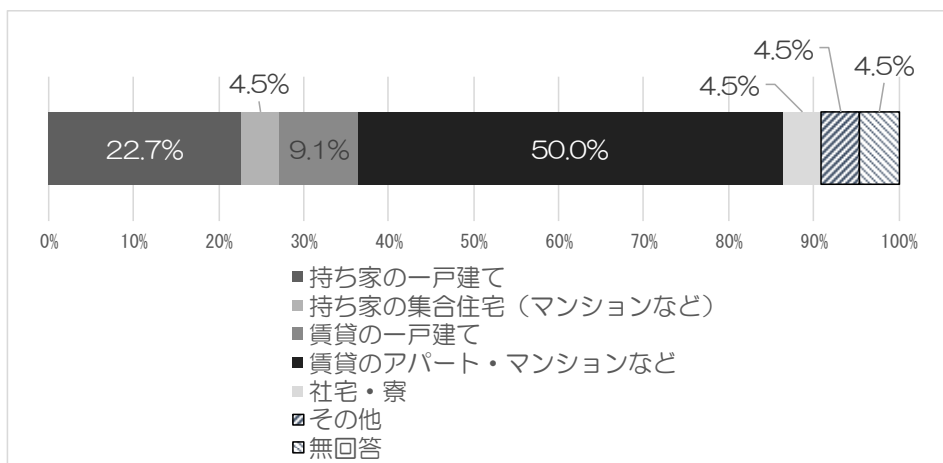
問 6. 『どちらから転入されましたか。』 (n = 22)



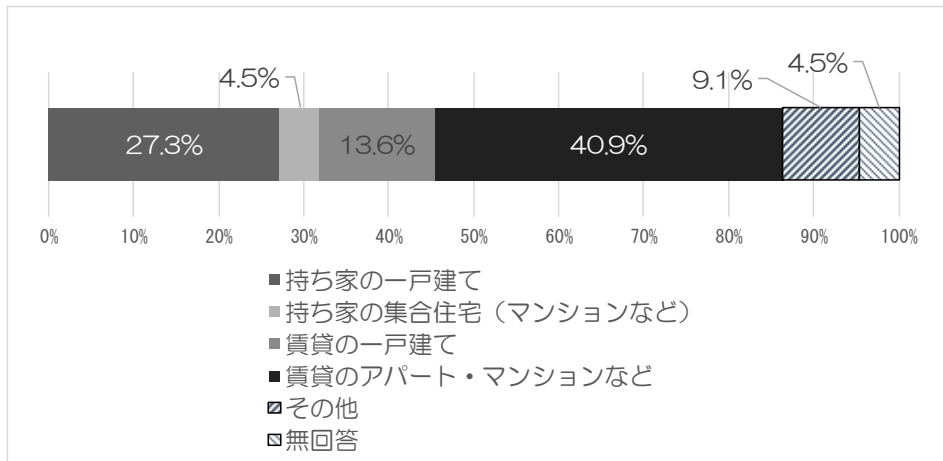
問 7. 『転入前に泉佐野市にお住まいの経験はありますか。』 (n = 22)



問 8. 『あなたのお住まいについて。』 (n = 22)

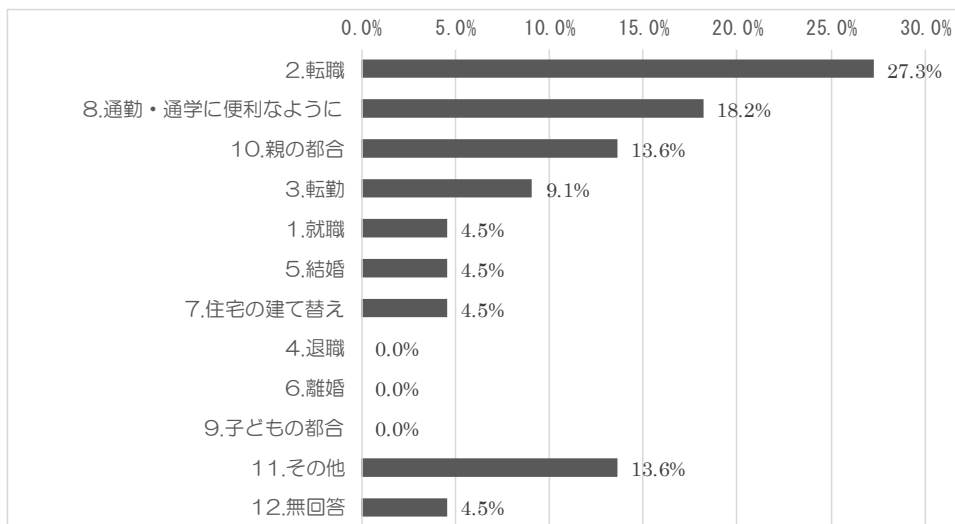


問 9. 『転入前のあなたのお住まいについて。』 (n = 22)

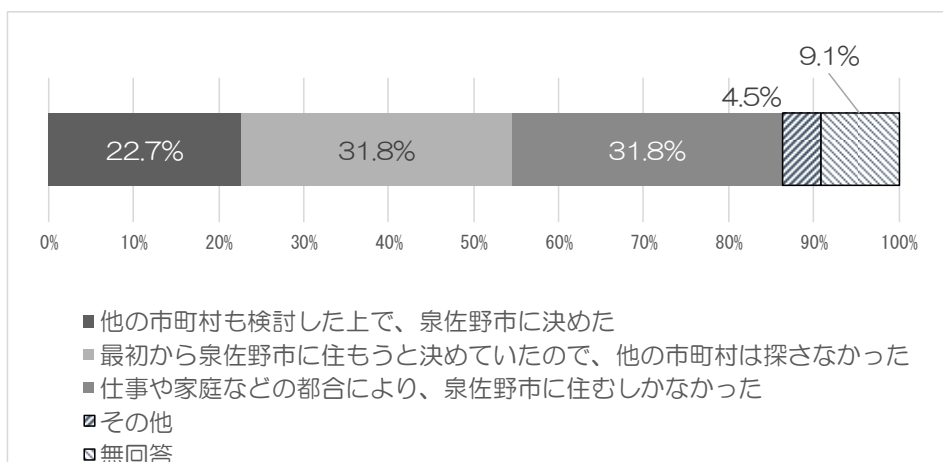


(2) 転入の理由について

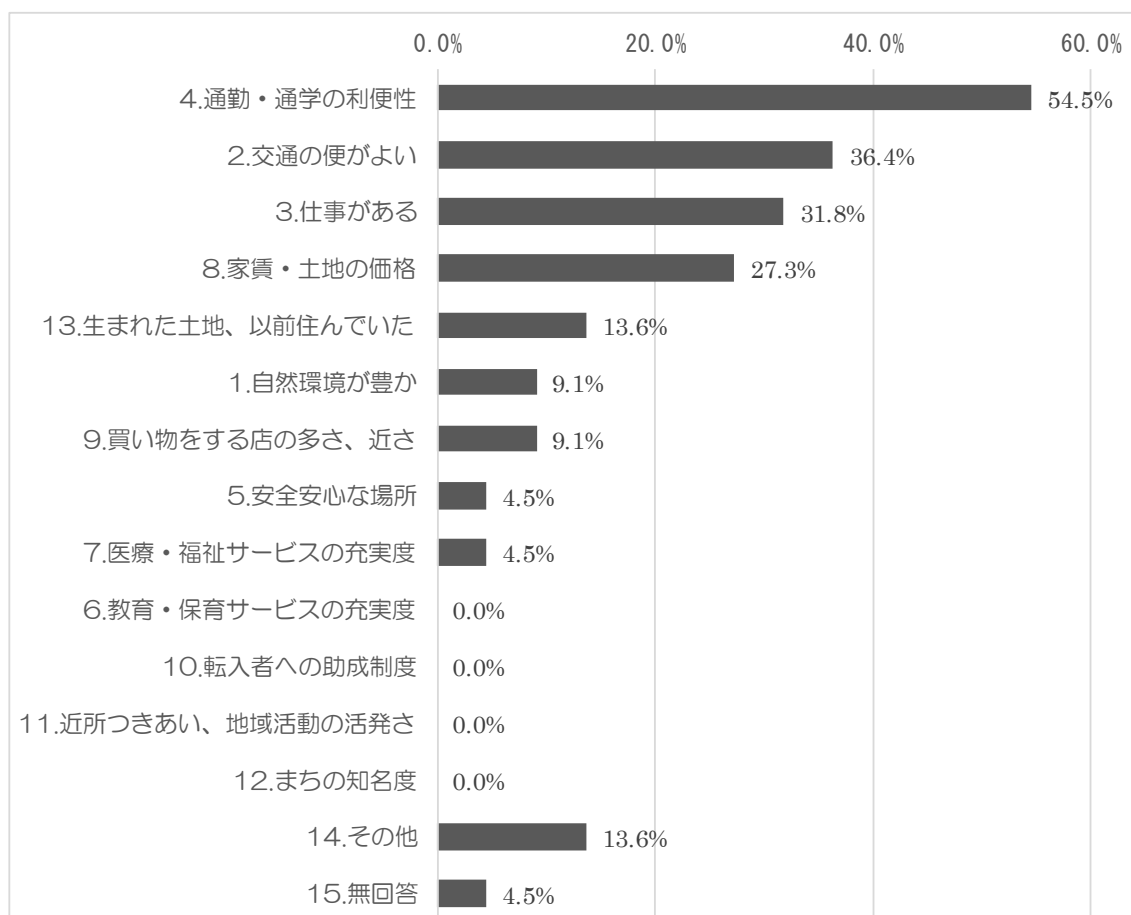
問 10. 『転入することになった最も大きなきっかけは何ですか。』 (n = 22)



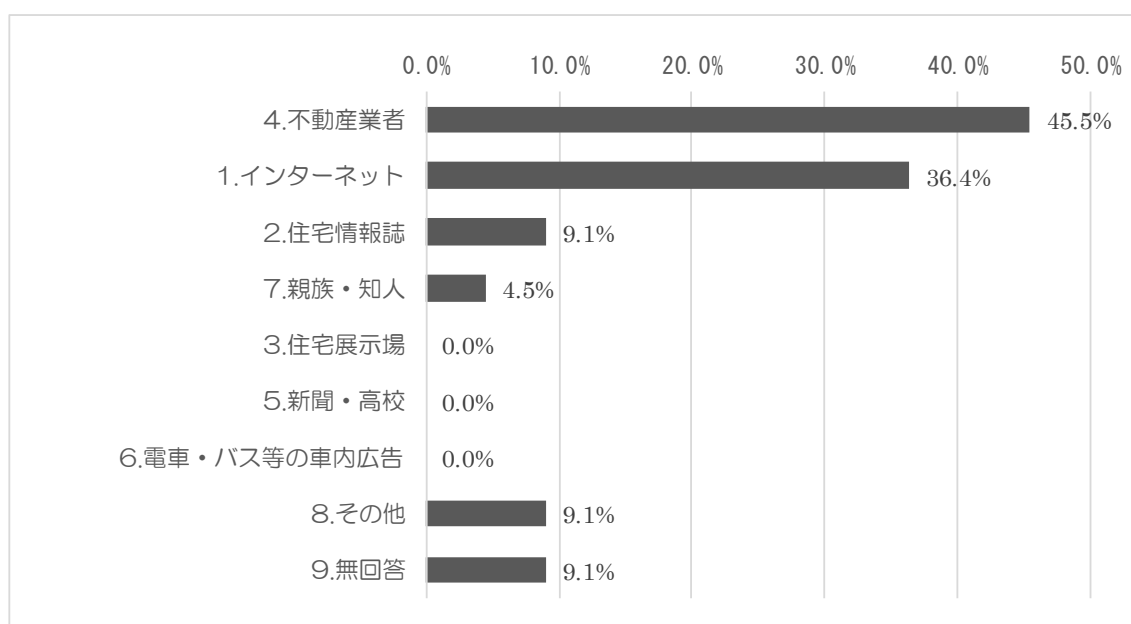
問 11. 『泉佐野市以外でも住まいを探されましたか。』 (n = 22)



問 12. 『泉佐野市に住まいを決めた主な理由は何ですか。』（3つまで回答可）（n = 22）

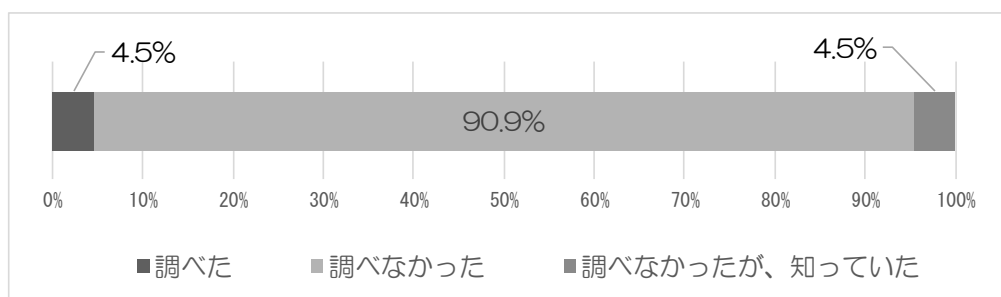


問 13. 『住まいを探したときの情報源は何ですか。』（3つまで回答可）（n = 22）

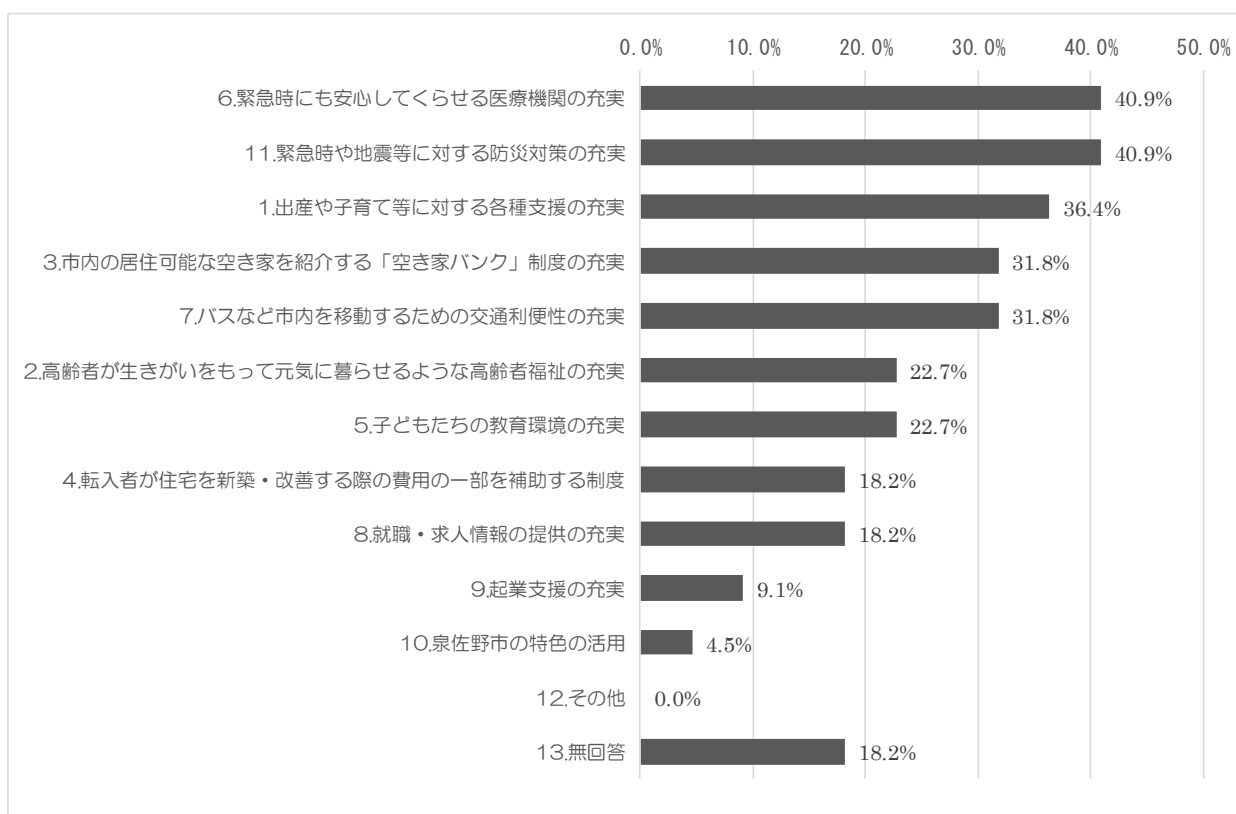


問 14. 『住まいを探したときに、泉佐野市の行政サービスや制度について調べましたか。』

(n = 22)



問 15. 『泉佐野市の居住者を増やすため、今後どのような移住・定住支援策に取り組んだらいいと思われませんか。』(複数回答可) (n = 22)



5. 中学生アンケート調査

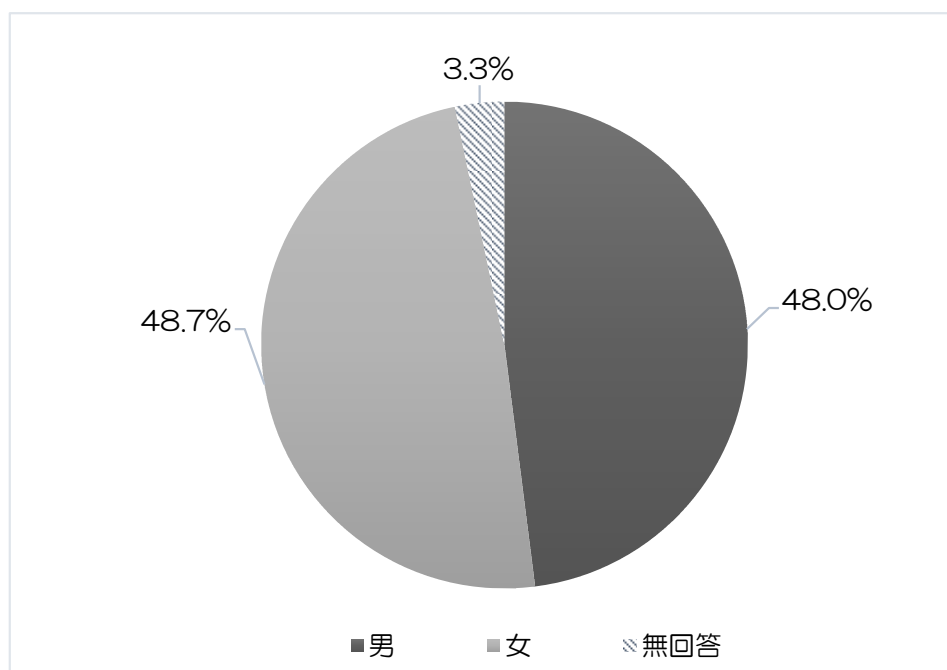
(対象：平成9年4月2日生～平成12年4月1日生)

①配布数・回答数・回収率

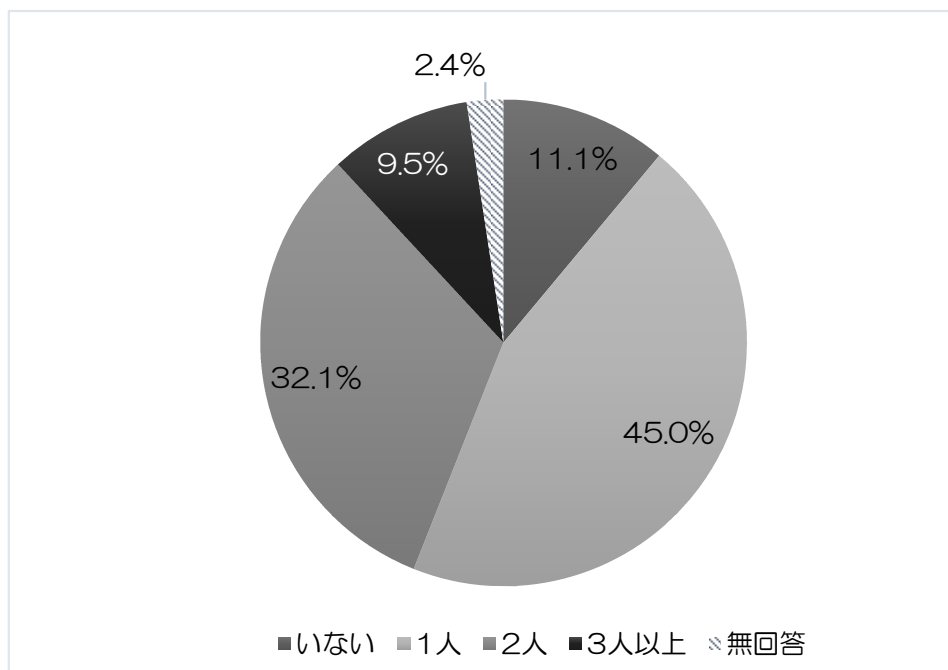
・配布数	1,040件
・回答数	823件
・回収率	79.1%

②回答者の属性について

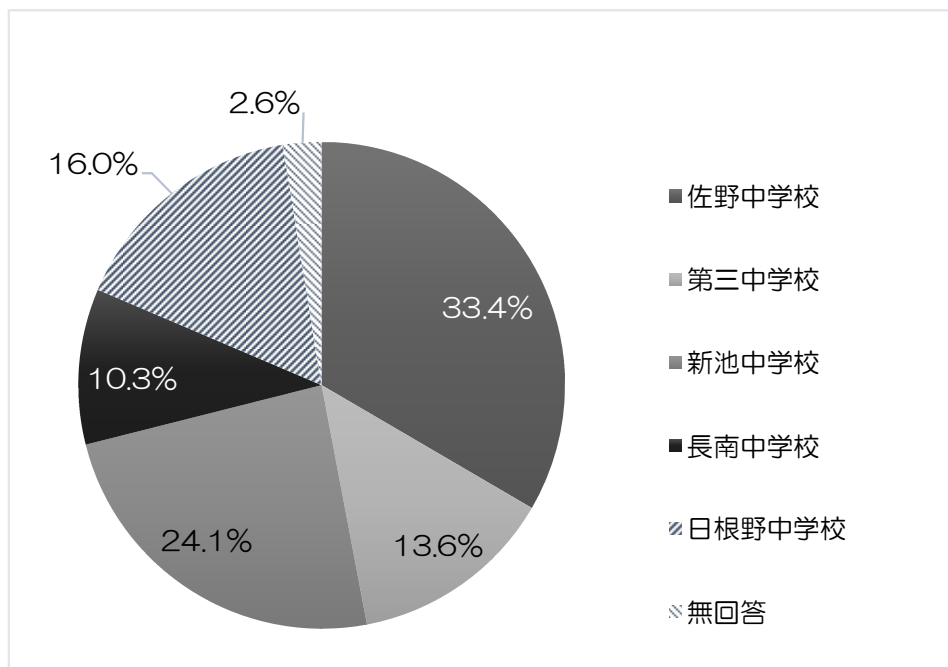
(1) 性別 (n=823)



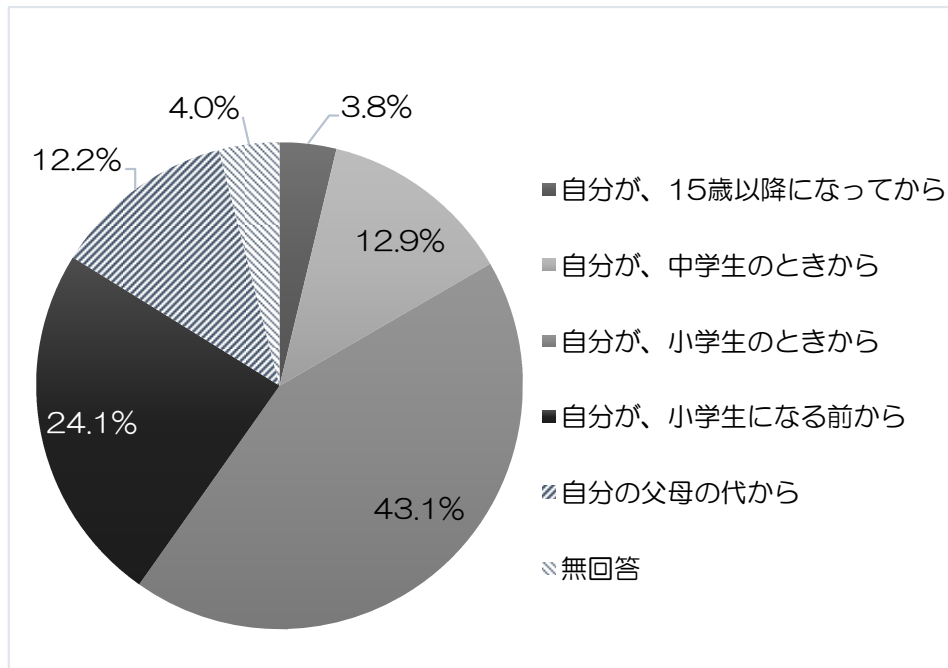
(2) 兄弟・姉妹構成別 (n=823)



(3) 通学校等別 (n=823)



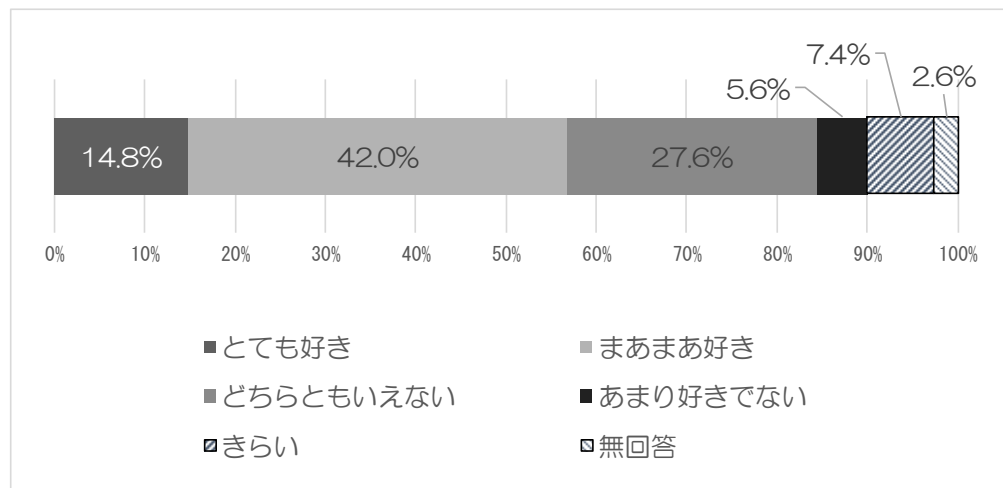
(4) 居住年数別 (n=823)



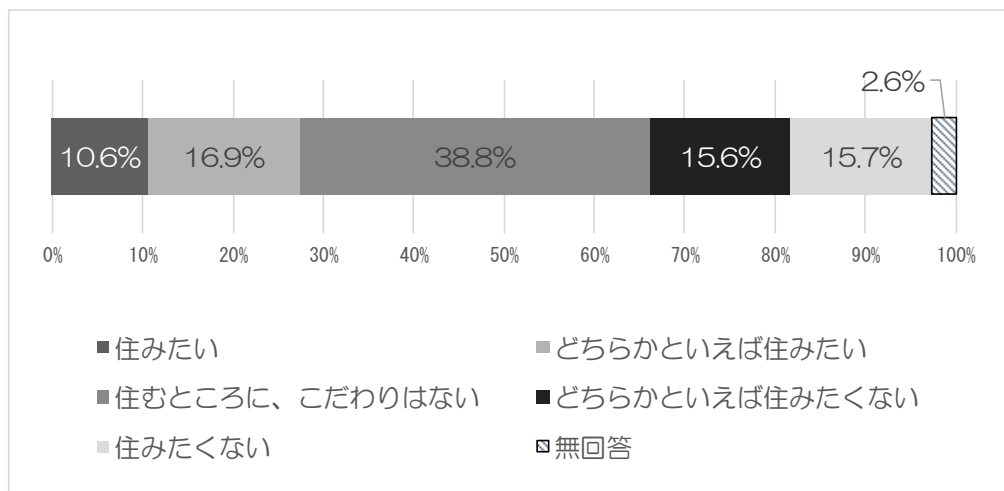
③設問別集計結果報告

(1) 泉佐野市について

問5. 『あなたは、泉佐野市が好きですか。』 (n=823)

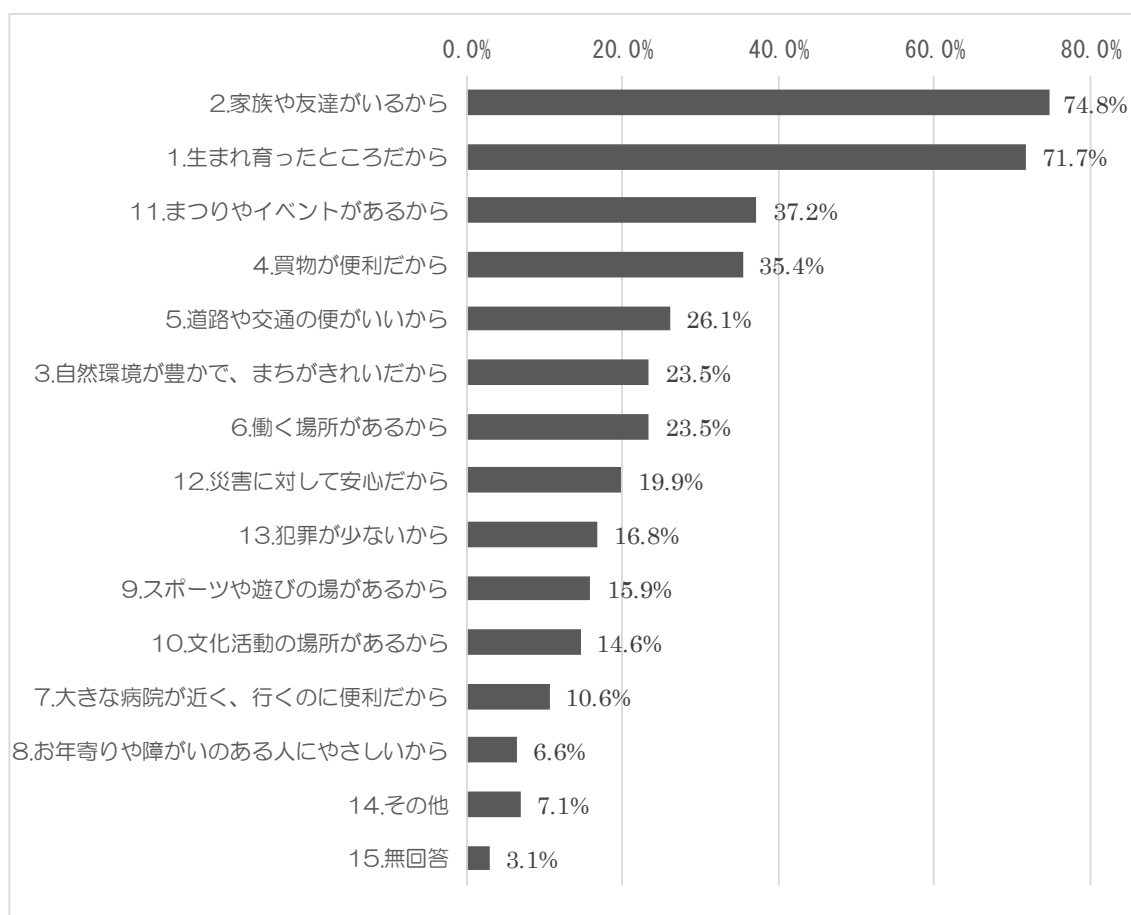


問 6. 『あなたは、将来も泉佐野市に住みたいと思いますか。』 (n = 823)



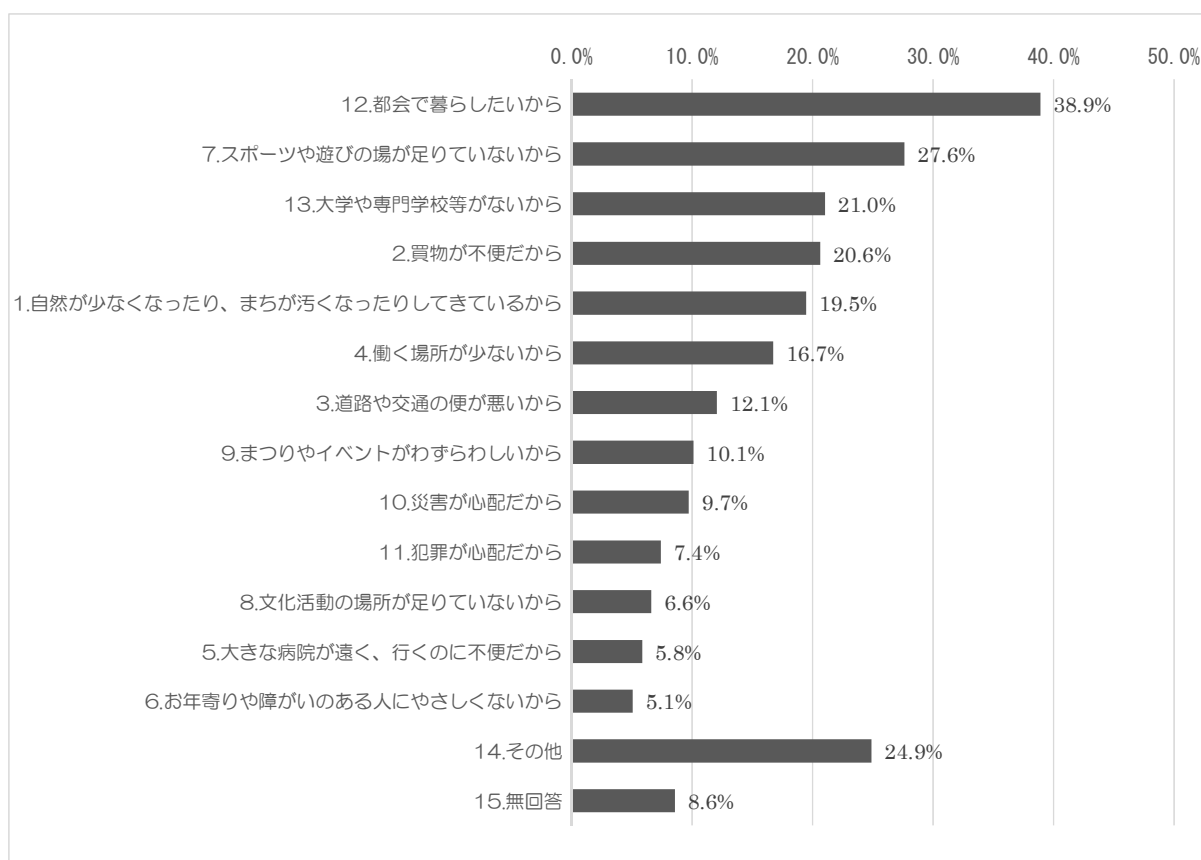
問 6-1. 『住みたい理由は何ですか。』 (複数回答可)

(問 6 で「1」、「2」の回答者) (n = 226)



問 6-2. 『住みたくない理由は何ですか。』（2つまで回答可）

（問 6 で「4」、「5」の回答者） （n = 257）



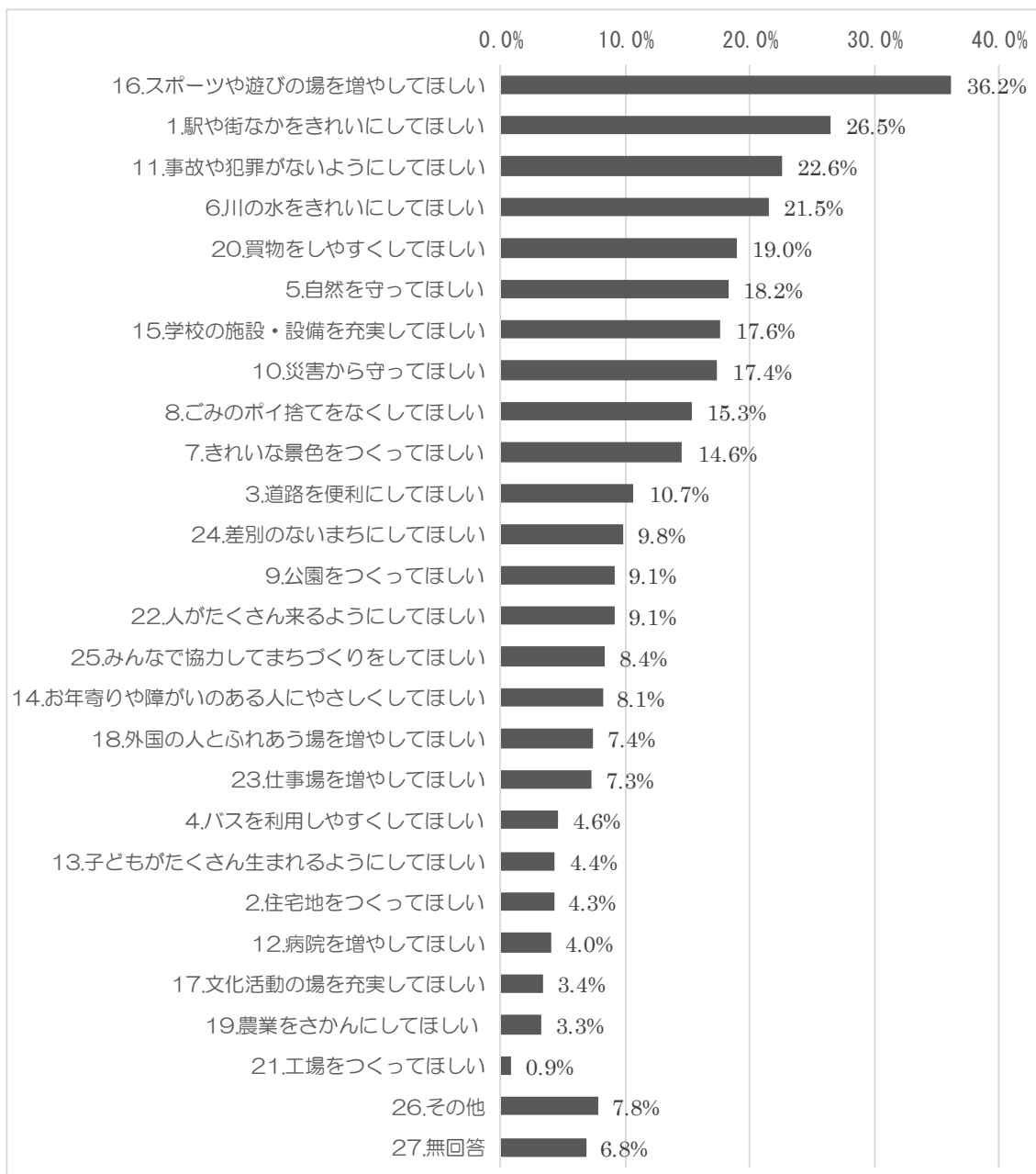
問 7. 『あなたが、泉佐野市で「自慢したい・次世代に伝えたい」と思うものは何ですか。場所、施設、イベント、産業、食べ物、人物、物語や方言など、何でも自由にあげてください。特別なければ、なしと書いてください。』

<主な回答>

- ① 関西国際空港
- ② ローカルなところでもないのに、すばらしい自然がある。
- ③ だんじり
- ④ 犬鳴温泉
- ⑤ りんくうタウン（花火、シークル、アウトレット）

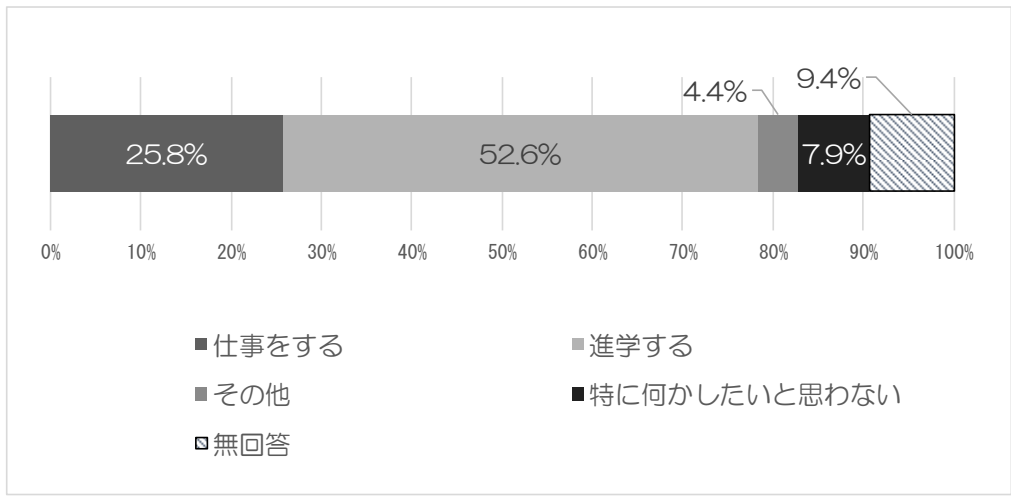
問 8. 『将来に向けて、泉佐野市にどのようなことを望みますか。』（3つまで回答可）

(n = 823)

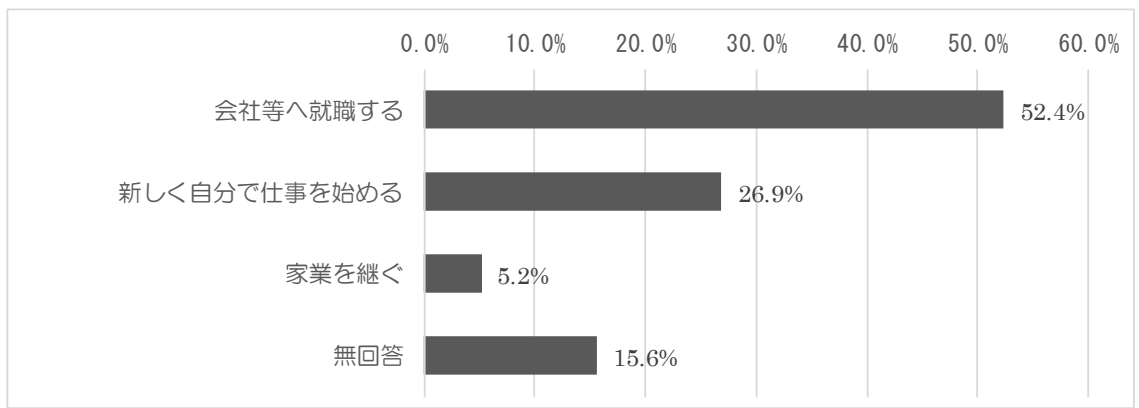


(2) 未来について

問9. 『あなたが、18歳になったら、どんな進路をとりますか。』 (n=823)

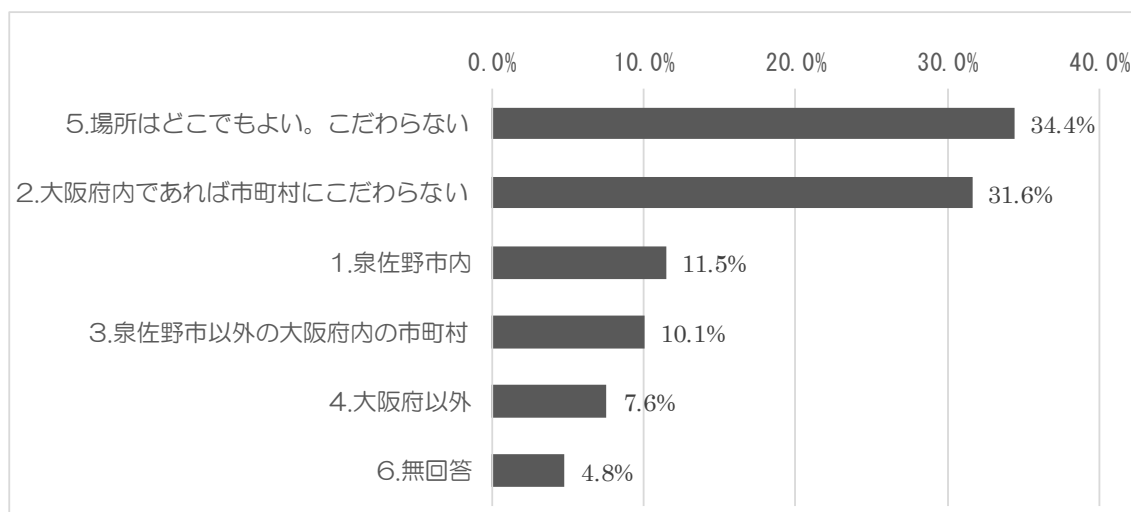


(問9で「1」の回答者) 『仕事をする場合の方向性』 (n=212)



問 9-1. 『仕事に就いたり、進学する場合、どの場所を希望しますか。』

(問 9 で「1」、「2」の回答者) (n=645)



問 10. 『最後に、2060 年までに泉佐野市が「こうなっていてほしい」、「こうしてほしい」、「こうしたらいいのに」ということがありましたら、1つだけ記入してください。』

<主な回答>

- ①2060 年にはゲートタワービルの 2 棟目が見たいな。
- ②泉州の中心地になって欲しい。
- ③借金が無くなって、公共施設の利用料が安くなって欲しい。